

Master Modelers

Vol.49

AFV特集

百戦錬磨のワークホース IV号戦車長砲身型

The Panzerkampfwagen IV with a long gun



- トリスター1/35改組 M号戦車D型 60口径50mm砲搭載試作車
- ドラゴンモデル1/35 M号戦車F2型/G初期型
- ドラゴンモデル1/35 M号戦車G中期型
- タミヤ1/35改組 M号戦車H型 初期設計案
- タミヤ1/35 M号戦車H型 砲塔設計案
- タミヤ1/35 M号戦車H型 砲塔設計案
- M号戦車長砲身型 バイカル写真

ユーロモデラーの超絶モデリング

- ドラゴンモデル1/35 T-34/85 ベルリン戦ジオラマ
- タミヤ1/35改組 T-34/76ドイツ軍Pz.Kpfw.747(I)

SHIPモデリング

- セベルモノクラム1/85 ノーチラス号
- アオシマ1/700 日本戦艦 山城1944
- 同発発表! ハセガワ1/350 戦艦 長門



AIRモデリング

- ミラージュ1/48 PZL P.23a カラス
- ハセガワ1/72 百式艦爆機 呑龍Ⅲ型甲
- エデュアルト1/48 ニューポール16ノアールP.D.Ⅱa
- トランベッター1/24 ホーカー ハリケーン Mk.Ⅱe Trop
- ドラゴンモデル1/48 メッサーシュミット Me262B-1a/U1





一步踏み込んだリアルな表現を存分に味わう

傾斜装甲で身を固めた低く精悍なシルエット。コンパクトな車体にオフセットして搭載された長砲身の主砲。第二次大戦末期にドイツ軍戦車部隊の主力となったヘッパアが、いよいよ1/35MMシリーズに加わります。大戦後半のドイツ車柄らしい洗練されたフォルムを忠実に再現するのはもちろん、車外装備品などはこれまでよりも一歩踏み込んだ実感の高い表現としました。ヘッパアのイメージを左右するザウゴブ防盾や砲架の装平カバーも複雑なフォルムを表情豊かに再現。車体上部のリモコン銃はポリキャプを使用した物に加え、俯仰も可能です。また、キャタピラは平緩なベルト式と1/48MM

シリーズでもおなじみの直線部分を一体とした連結組立て式の2種類を用意。しかも両者ともセンターガイドに肉抜ききのモールドを施してリアル感を一段と高めています。自然なポーズの車長の人形と個性的な「光と影」造形や冬季迷彩など4種類のマーキング、さらにイメージをつかみやすい大判のカラー迷彩塗装図も付きました。友軍と連携した待ち伏せ攻撃で大きな戦果を挙げ、大戦後半に登場した駆逐戦車の中で最も成功した一台と言われるヘッザー。組み立てやすさを徹底的に追求したキットだから、基本工作を平準しく済ませ、迷彩塗装や付属作りにも思う存分時間を振るって頂けることでしょう。

Jagdpanzer 38(t) Hetzer Mittlere Produktion

ジャッキは鋸の具やクランプまで
パーツ化して高効率の使い上がり



演劇団堂で試キタビは、
重量による読みまでリアルに表現
出来るとジュン・ジョン君の経験です。



鉄壁まで引パーツとした機銃やスライド金型を使用した厚板鋼。シャープな仕上がりは新機種の要所



繊細なボルト構造が大径の転輪や
駆動輪、推進輪にアタメントをします

キヤタビラは従来の通りの手廻りベルト式とパーツの
一掃化を求めた運転結実度式の2種類が製作中

1/35 ミリタリーミニチュアシリーズ
ドイツ駆逐戦車 ヘッツァー 中期生産型

新発売 3,570円(本体価格3,400円)

TAMIYA SHOP ONLINE ネットでかんたんショッピング。
充実したラインナップの中からお選びください。

tamiyashop.jp

●価格はメーカー希望小売価格です。●掲載されているモデルはキットを組立て、塗装したものです。●写真は実際の商品と色味が異なる場合があります。

TEL 054-283-0003 **静岡 03-3899-3765** **東京** 神奈川・東京都 営業時間：平日・8:00～20:00 土、日、祝祭日・8:00～17:00

株式会社タミヤ 〒422-8610 静岡県駿河区豊原3-7 [www.tamiya.com]

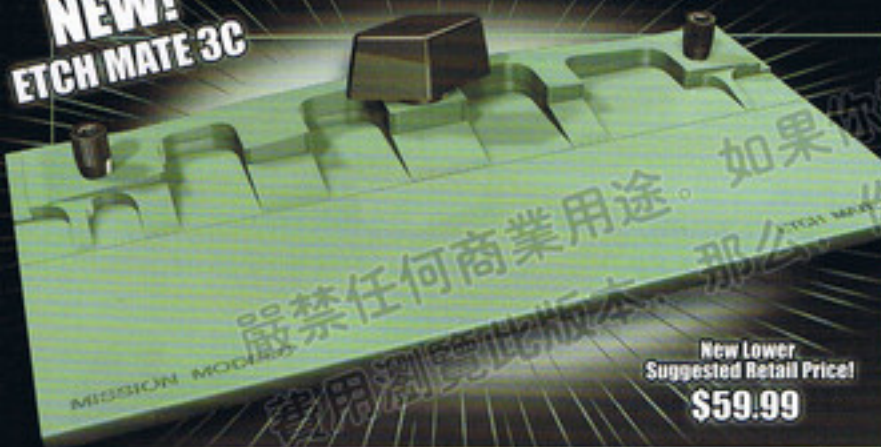
1/35 Military Miniature Series



MISSION MODELS

GREAT TOOLS BUILD GREAT MODELS

NEW!
ETCH MATE 3C



New Lower
Suggested Retail Price!
\$59.99

ETCH MATE 3C

Now 3 Clamp system for additional gripping pressure when you need it!
New high tech composite material replaces low-tech aluminum
Exclusive folding channel
300-degree reversible spring-loaded folding head
Non-reflective surface
6 1/2 x 3 1/2 unobstructed work surface
Pre-assembled, with folding blade and instructions
Create straight square foolproof folds each and every time
Quick efficient photo etch alignment
All surfaces utilized for folding
Excellent for all aspects of scale modeling
Works with all scales
90 day guarantee against manufacturing defects!
100% made in the USA

MICRO CHISEL

Machined stainless steel handle with rubber grip
Razor sharp machined stainless steel 2mm chisel tip
Removes seam lines, flash, and details without marring surface
Sculpt in wood, plaster, or modeling putty
Cuts through plastics, resins, epoxies, white metal, and much more!
Additional interchangeable tips sets available:
MIO-10: 1mm tip set MIO-11: 2mm tip set
MIO-12: Panel scribing tip set for square panel lines



GRAB HANDLER

Constructed from machined carbon steel
Black Oxide anodized finish
Laser marked in both inches and millimeters
Quick and easy to use
Bends brass, music wire, flat stock, and more
Create consistent perfect sized grab handles, grab irons, and Z bends every time
Ideal for all aspects of scale modeling:
Military, Railroading, Automotive, Ship Railings, and much more!



WWW.MISSION MODELS.COM
LOG-ON TODAY AND START BUILDING YOUR NEXT PROJECT TOMMORROW
AVAILABLE IN JAPAN FROM: **WWW.MSMODELS.JP**
M.S.MODELS
email: msmodels@softeil.ocn.ne.jp
Phone: 029-276-7858
Fax: 029-276-7858

WE STOCK:
ACCURATE ARMOUR • MODEL
VICTORIA • IWATA AIRBRUSHES •
VALLEJO • MINIARM • MASTERS
PRODUCTIONS • DRAGON •
TAMIYA • BRACH MODEL • PAN-
ZERSHOP • CROMWELL MODELS
ALL AT COMPETITIVE PRICES!

What is **FILBERT**?

Q:フィルバート筆、ってどんなの？

A:「いちばん塗りやすい」筆のかたちです。

シリウス モデルストブラシFB S ¥598(税込)

シリウス モデルストブラシFB M ¥840(税込)

シリウス モデルストブラシFB L ¥1,155(税込)

ブラモデルの表面は、塗料をまったく「吸いこみ」ません。

そこにうまく色を塗るには、塗料を「そっとのせてやる」ことが大切。

でも、普通の平筆や丸筆は構造上タッチが残りやすく、ムラが残ってしまいがち。フィルバート筆なら、エッジのかたよりもなく、塗料を「そっとのせてやる」ことかどなたでもラクにできるようになります。

あれ、俺ってこんなに巧かったっけ？

そんな体験を、すべてのモデルに。

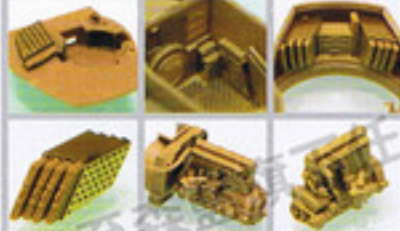
Tristar NEW ITEM!



●35032
38(t)戦車用
インテリアセット

トリスターの38(4)戦車3種はもちろん、
話題のマダーIII型にもお使いいただける。
エンジンとその周辺諸類、ミッション、
車体・砲塔内部すべて、無線機などの「フル装備」
インテリアキットです。

7月発売予定 予価¥2,625(税込)



エッジング完成品7枚組マガジンはピンセットでラックから取り出し、お好みの角度、トライスター調整の「肉厚調整」がもたらす効果に注目してください。

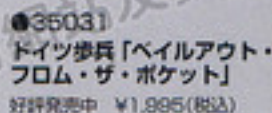


●35033
ドイツ砲隊銃セット

状態が選べるフルディティール
8月発売予定
予定¥2,100(税込) 価格変更

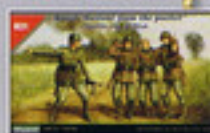


トリスター部とあるスール・アクサザリー
は超絶ジョーシム演習です！(笑) 実際、あ
よび演習が楽々であること、同時に演習
(ストリップはエッチング紙に引くことも
可也です。ワンセットで送る。



●35031
ドイツ歩兵「ベイルアウト・
フロム・ザ・ポケット」

好評発売中 ¥1,995(税込)



これまでレジン製ガレージフィギュア程度の選択肢しか
なかった負傷者救護のシチュエーション。ますます切れ
込みの鋭くなった、トライスターの最新作！



ウィンザー&ニュートン シリーズ7 筆 好評発売中

No.000		幅寸: 0.2mm・全長: 177mm	W1.218(個)
No.00	(短毛タイプ)	幅寸: 0.4mm・全長: 177mm	W1.270(個)
No.0	(短毛タイプ)	幅寸: 0.6mm・全長: 177mm	W1.333(個)
No.1	(短毛タイプ)	幅寸: 1.1mm・全長: 180mm	W1.459(個)
No.2	(短毛タイプ)	幅寸: 1.6mm・全長: 184mm	W1.609(個)
No.000	(短毛タイプ)	幅寸: 0.4mm・全長: 175mm	W1.197(個)
No.00	(短毛タイプ)	幅寸: 0.7mm・全長: 175mm	W1.226(個)
No.0	(短毛タイプ)	幅寸: 1.2mm・全長: 172mm	W1.280(個)
No.1	(短毛タイプ)	幅寸: 1.5mm・全長: 174mm	W1.302(個)
No.2	(短毛タイプ)	幅寸: 1.8mm・全長: 178mm	W1.310(個)

このスタンドが目印 ▶



有限会社 トライスタージャパン

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1

三省堂書店ビル8階

TEL/FAX 03-3233-0045/same

E-MAIL info@tristarjapan.com

トライスタージャパンのウェブサイトが軽くなります

www.tristarjapan.com

"Choi" Mode New Kits Review!!

SHIPIは伊400、AFVはUEトラクター、AIRはユンカースJu87B、そしてフィギュアは陸軍航空兵の“ちょい”モデ・キットレビュー!!

タミヤ1/350 日本特型潜水艦 伊-400

伊-400は太平洋戦争末期に登場した日本海軍の大型潜水艦。水上攻撃機 晴嵐3機を格納筒に搭載、パナマ運河の爆撃を計画していた“潜水空母”をタミヤが1/350のラージスケールでリリース!

日本海軍“潜水空母”がラージスケールで発進!



■タミヤ1/350 日本特型潜水艦 伊-400 ■インジェクションキット
■全長2040mm ■タミヤ

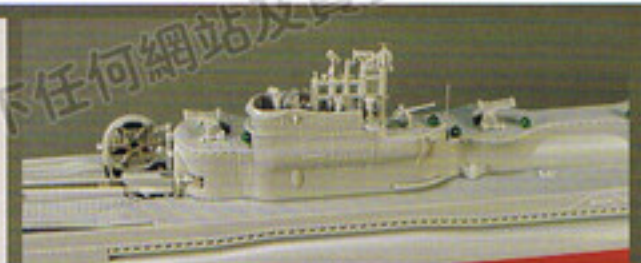


伊-400は第48回静岡ホビショーで注目を集めた新作の1つ。箱を開けてもそれを裏切らないパッケージデザインとなっていて期待感が高まる。キットは3色のブラで成型され、艦底は赤。エッチングパーツや展示台、ネームプレートシート、実艦解説付きの組立図も付属する。

製作は浮上状態（晴嵐はカタバルト搭載状態）と潜水航行状態（晴嵐は格納状態）を選択できる。潜水艦の例に漏れず伊-400もパーツは多くなく、

数時間でちょいモデ完成と予想していたが、エッチングパーツの加工、組み付けに多少時間を取られた。エッチングパーツに慣れた方なら問題はないと思われるが、エッチングパーツの初心者には組立図にあるエッチング工具を揃えてから組立に臨むのが良いだろう。

完成後はのっぺりとした印象のある潜水艦だが、この伊-400は晴嵐とエッチングパーツが良いアクセントとなり、見栄えは予想以上だ。[BT]



ドラゴンモデル1/72 チャレンジャー2 w/ドーザーブレード

現用MBTを代表する車両の1つ、イギリス陸軍のチャレンジャー2に新バリエーション登場。既に発売されている同キットにドーザーブレードの新パーツ追加。メカメカしい姿は完成後の見栄え良い!

CHALLENGER 2 w/DOZER BLADE



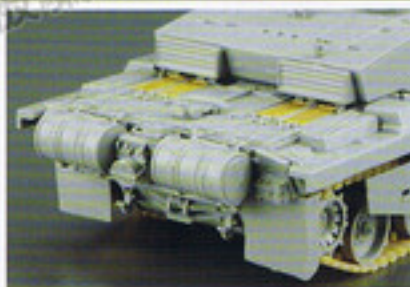
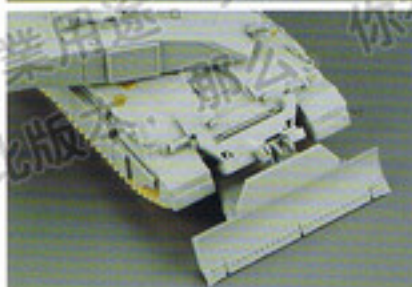
■ドラゴンモデル1/72 チャレンジャー2 w/ドーザーブレード
■インジェクションキット ■価格1575円 ©ハセガワ

本キットもドラゴンモデルの1/72スタンダードとも言うべきキットで、ディテールの再現度、組み立てやすさなどハイクオリティな内容。そのままストレートに組んでも十分な仕上がりとする。

説明書ではバックミラーA15、A16は逆に表記されている。また説明書に図示されていないが、砲塔上のFN・MAG (L7A1の亜種型L37A1) 機銃パーツA35には、弾薬ボックスA27を装着。また操縦手ハッチ前方左右の凹部にはヘッドライト(パーツA20)を、車体前面下部には牽引ホルルド(パーツA9)を装着しよう。ただし、A9の牽引フック部分は削り落とさないと、ドーザーパーツが付かなくなるので要注意。[S]

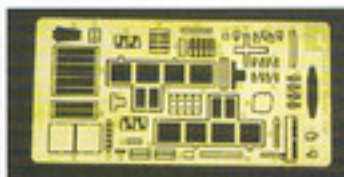


こんなチャレンジャーも魅力的!



ブロンコ1/35 英 ハンバースカウトカーMk. I

車種は多いのになぜかインジェクションキットに恵まれないイギリスAFV。ハンバーMk.I発売のアナウンスを聞き、待ちに待った英軍AFVファンが多いはず。ブロンコの新キットは期待通りの素晴らしい出来だ。



■ブロンコ1/35 英 ハンバースカウトカーMk.I
■インジェクションキット ■価格5040円 ©バウマン



イギリスAFV待望の新キットついに発売!

小型4輪装甲車といえど、細部はもとよりインテリアまでも精密に再現されているため、パーツ数は非常に多く、ディテールの再現度やモールドの仕上がりなど出来は秀逸。細部パーツはあまりにも細かいので破損や紛失には十分注意しよう。視察ハッチの可動部や工具の留め具、ラックなどはエッチングパーツで再現できる。

組み立てはキットのパーツのみで十分。改めてディテールアップの必要もないだろう。製作時に面倒なのは、至るところにある突き出しピン跡の処理くらい。また説明書の図示はやや分かりにくい(パーツNo.未表示や取り付け位置不明など)ので要注意。

キットにはレジン製フィギュアが1体と出来の良い小銃(リー・エンフィールドNo.4 Mk.I、トンプソンM1928A1、ステンMk.II)や英軍兵装備品(弾薬ポーチ、水筒、ホルスターなど)も付属。ところでボックスアートは「通ずる横」のワンシーンの様。乗員はマイケル・ケーンそっくり(笑)。[S]

タミヤ1/72 ユンカースJu87B-2/R-2スツーカー

タミヤ/イタレリのユンカースJu87BスツーカーはD-5/8型、G-2型をリリース済みだが、機首の大型ラジエーターが特徴のB-2型が新たに登場。増加タンクを装備したR-2も製作可能な初期タイプの登場は1/72ファンに朗報！



■タミヤ1/72 ユンカースJu87B-2/R-2スツーカー
■インジェクションキット
■価格1365円 ○タミヤ



北アフリカやロシアで活躍した初期型！



Ju87B/R型は機首下の大型ラジエーターが特徴。地中海方面や東部戦線で活動し、塗装バリエーションが豊富なため、リリースを待っていたファンも多いはず。

キットはこれまでの定評あるD型、G型のキットに新しくB型の機首などを新規に入れたもの。組立ては非常に簡単。主翼の上下を貼り合わせる前に、主翼下のラック、ダイブブレーキ、胴体下の爆弾ラックの穴を開けておくのを忘れないように。またパーツA10はラジエーター排気口を完全にふさいでしまうので、A42の裏に貼る方が実機に近いだろう。水平尾翼の支柱B15とB18は左右逆。B41の主翼根元フェアリングは箱絵を参考にうまく取り付けよう。

スツーカー自体が絵になる飛行機ということもあって、完成後の存在感はバツグン。初心者でももちろん、ベテランも楽しんで作れるはず。[T]

ローデン1/72 ドイツ Sd.Kfz.234/4バックワーゲン 7.5cm対戦車自走砲8輪装甲車

WW2末期、ヒトラー総統は「Sd.Kfz.234にPaK40 7.5cm対戦車砲を搭載し対戦車能力を強化せよ」との命令を直々に下し、通称「バックワーゲン」として生産が開始されたが、終戦までにわずか89両の生産に止まった。

製作だが、全般的に気になる点はプラの材質の軟らかさ。ナイフを使用する作業では、深く掘り過ぎないように注意が必要。PaK40のマズルブレーキには開口が開いていないので、ピンバイスなどのツールで開口しよう。タイヤやサスなどの黒プラで成型されたパーツはさらに軟らかい材質なので、車軸などの強度のかかる部分は真ちゅう線などに交換すると良いだろう。

完成すると対戦車砲の存在感が際立つ。戦闘室がオープンなのでやや淋しいが、他のキットからフィギュアをセットするとさらに良くなるだろう。[SU]

複製機の精力的なリリースで知られるローデンだが、1/72の8輪装甲車シリーズも地道に発表し続けている。今回の新製品は7.5cm PaK40を搭載した対戦車自走砲「バックワーゲン」。存在感あふれるキットだ。

総統肝いりの「バックワーゲン」！



■ローデン 1/72 ドイツ Sd.Kfz.234/4バックワーゲン
7.5cm対戦車自走砲8輪装甲車
■インジェクションキット ■価格1365円 ○ロウマン

エデュアルド1/48 WWII イギリス空軍パイロット車

スクランブルの緊迫感あふれるRAFクルー！



昨年、1/48「日本陸軍航空隊フィギュア」を発売したエデュアルドが、バトル・オブ・ブリテンをイメージした「WWIIイギリス空軍パイロット」をリリース。緊迫感あるジオラマ作りには欠かせないフィギュアセットだ。



■エデュアルド1/48 WWIIイギリス空軍パイロット
■インジェクションキット ■価格2100円
○ビームコーポレーション

1/48ではICMも同様のセットを出しているが、ICMがリラックスした雰囲気なのに対し、エデュアルドはスクランブル態勢で愛機に向かうパイロットと整備員をモデル化し、緊迫感のあるシーンが作れるようになっている。

キットはパイロット4体、整備員2体の計6体入りで、アクセサリは特に入っていない。いずれ

も走っていたり機体に飛び乗っていたり動きのあるポーズで、同スケールのスピットファイアやハリケーンに合わせてジオラマ展開を楽しみたい。

エデュアルドでは今後もさまざまなフィギュアセットが計画されているようで、どんなものが出てくるか大いに期待したい。[T]



今年3月に発売されファンを驚かせたタミヤ1/48イギリス巡航戦車クルセーダーのバリエーションキットが早くも発売された。ジオラマ展開が可能な5体のフィギュアも付属する。

対空戦車がフィギュアも付いて新登場!



組立て時の注意点としては、履帯の狭い履帯を左右に歪まないよう、タイヤキャストシャシーにホイールを直線に並べる。説明書の11番で接着するパーツB5、B8は、B36、B26に先付けするほうが楽。また13番ではデカールの選択をしてからのパーツ選択に注意すること。ワイヤーロープは流し込み接着剤を塗り、形を整えてから接

着するとラク。格闘下部にはバスケットが付くが、向きを間違えないように注意する。

フィギュアはイギリス兵4体、民間人1体（通称「ワインおじさん」）の計5体が付属。これらのフィギュアを使えば、すぐにシンプルなジオラマが展開できる。[SU]



■タミヤ1/48 イギリス クルセーダーMk.Ⅲ 対空戦車Mk.Ⅲ
■インジェクションキット ■価格2310円 ○タミヤ



レベル1/35 s.W.S&3.7cm Flak43

Sd.Kfz.6 5tハーフトラックの代替として開発されたs.W.Sは、さまざまな火器のプラットフォームとしても使用されたが、今回レベルがリリースした3.7cm Flak43を搭載した自走対空砲もその1つである。



■レベル1/35 s.W.S&3.7cm Flak43 ■インジェクションキット
■価格6510円 ○ハセガワ



大戦末期ドイツ 地上部隊の守護神!



このキットはイタレリの金型を利用したものとされる。足回りまでしっかりと再現され、履帯も組立て式で実感のある仕上がりとなるが、転輪や履帯が浮かないよう、じっくりと調整をして組み上げたい。

装甲が貼られた運転席内部も再現されており、ハッチを開状態にすることも可能である。Flak43にも多くのパーツを使用しディテールは

バッチリ。運搬時と射撃状態を選択することもできる。塗装例、デカールは4種類が用意されているが、なかには対空砲を搭載しない通常の運搬車として使われたであろうものも含まれている。なおキットにはフィギュアは付属していない。

完成すると全長は約20cm、パンター戦車とほぼ同じで堂々としたものとなる。また搭載されているFlak43の存在感もなかなかのもの。[BT]

タミヤ1/35 フランス陸軍 UEトラクター

1930年代のフランス陸軍が運用した歩兵部隊支援車両、ルノーUEトラクター。1/35ではミラージュホビーに次ぐリリースとなるが、タミヤらしく組み立てやすさと精密さを両立させたキットだ。

FRENCH ARMORED CARRIER UE



■タミヤ1/35 フランス陸軍 UEトラクター
■インジェクションキット ■価格2835円 ©タミヤ



組み立て簡単、仏蘭西タンケッテ!



キットには乗員2体、歩兵2体とドラム缶、木箱などのアクセサリが付属するほか、ヘッドライトとフックは各2種類が用意され、3種類の仕様で製作することが可能だ。

箱を開けると細かい部品とピンセットが目に入り構えてしまうが心配はない。なにしろ組み立てやすいのである。まず作りたい仕様を決定し装備品取り付け穴を開けよう。車体は箱組みだが、指

示通りに組んでいけばすき間なく組み上がる。一見裏側に見える履帯も、起動輪を可動にして指示通りに組み立てていけばすき間なく組み上がるはず。カーゴ部分はリヤフェンダー部分に差し込むのみで可動となっているので注意。

本誌42号で紹介したロケットキャリアーなど派生車両も多数あるので、今後の展開も楽しみだ。[BT]

ドラゴンモデル1/72 P-38ライトニング“パスファインダー”

最近のドラゴンモデルは既存製品を改良しリニューアルパッケージを行っているが、1/72 P-38ライトニングにも“ドループ・スヌート”に続く“パスファインダー”タイプが登場した。

本キットは爆撃任務を行うP-38ライトニング編隊を先導指揮するJ型ベースの“ドループ・スヌート”だが、以前リリースされたタイプとは異なる、AN/APG-15レーダーが追加された“パスファインダー”となっている。

クリアパーツの機首パーツの取り付けは、組立説明書の指示に従って胴体をカットする必要があるが、図がややわかりづらいので、各パーツをよく見て作業しよう。なお機首にはオモリを入れるのを忘れないように。

P-38自体がやや古いキットのため、バリや合いのよくない箇所はあるが、腰を据えて製作すれば、一風変わったライトニングのバリエーションをコレクションできる。[MF]



編隊を導く“爆撃先導者(パスファインダー)”!



■タミヤ1/35 フランス陸軍 UEトラクター
■インジェクションキット
■価格2835円 ©タミヤ



古鷹型リニューアルを行ったハセガワから、息もつかせず青葉型2隻がリリース。古鷹型と準同型艦ながら船体、艦橋など80%以上が新規開発という意欲的なキットで、日本重巡洋艦の魅力をあますところなく再現!

日本海軍重巡洋艦のスタンダード竣工!



■ハセガワ1/700 日本海軍重巡洋艦 青葉 ■インジェクションキット ■価格2310円 ○ハセガワ

キットは昭和19年10月のレイテ沖海戦時と、対空兵装を強化した昭和20年7月の最終状態の選択式。パーツは最新のキットだけあって非常にシャープ。特に舷側の汚水捨て管や艦橋横の吸気口の表現が良い。

ちょいモタは最終状態で製作。組立ての手順はインストの記載通りにせず、先に船体を作っておき、各上部構造物を作る毎に船体に取り付けていくようにしたほうが作業しやすい。細いパーツが多いので、パーツの切り出しや接着には十分注意しよう。

1歩1歩確実に組み立てていけば、スマートさと重厚さを兼ね備えた日本重巡洋艦ができあがる。マストを真ちゅう線に置き換えたり、プルワークを薄くしたりといった定番の追加工作で、見違えるような出来となるだろう。[T]



“大東亜戦争シリーズ”と銘打って1/16海軍搭乗員を発表したインダモデルズが、第2弾として陸軍航空兵をリリース。定評のある顔の表情、航空服のディテールなどは前作をしのぐ素晴らしい出来だ。

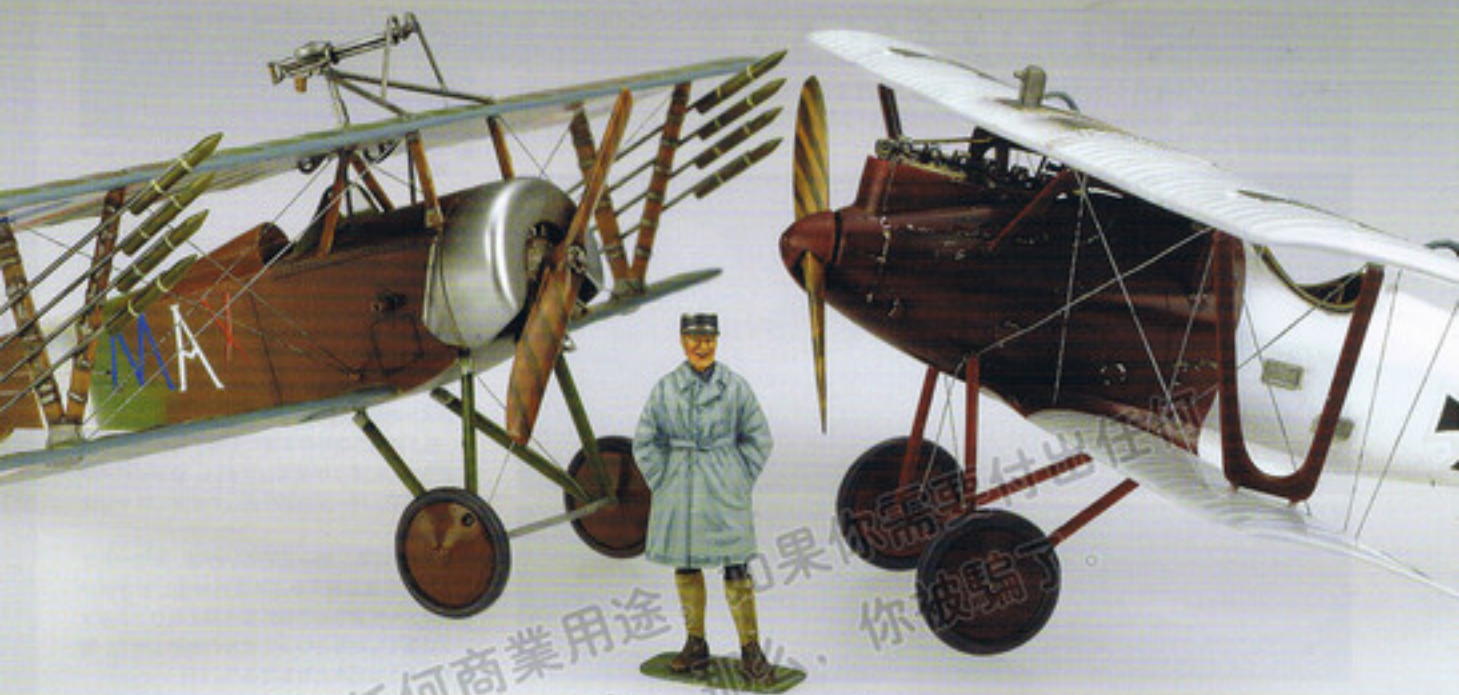
キットはレジン製で、パーツはベースを含めた5点、注型や脱パーツの合いも完璧で、初心者でも簡単に作れる。軍刀に両手を添えたポーズをモデル化しており、前作の海軍搭乗員も非常に良い出来だったが、今回の陸軍航空兵ではさらに磨きがかかり、より生き生きとした自然な表現となっている。

大型で塗りやすいので、ミリタリーフィギュア集の入門にも最適。塗装は苦手、という方のため、塗装済み完成品も同時発売(写真は原型師による彩色見本)。パッケージと解説書のイラストは前作同様上田信氏氏が担当し、これだけでも欲しくなる内容。

今後は自衛隊員、機動隊員なども予定しているとのこと。購入はインダモデルズ(0476-95-8077)またはミニチュアパーク(03-5807-8952)まで。[T]

問い合わせ先(順不同)

タミヤ	TEL: 054-283-0003 (FAX: 054-2899-3765) http://www.tamiya.com/
ハセガワ	054-626-8241 http://www.hasegawa-model.co.jp/
バウマン	03-3795-2666 http://www.bauermann.co.jp/
ビーバーコーポレーション	お近くの模型店にお問い合わせ下さい。
インターアライツ	045-569-2031 http://www.interallied.co.jp/
インダモデルズ	0476-95-8077 http://www.idm-parts.com/indamodel/
ミニチュアパーク	03-5807-8952 http://www.miniature-park.com/



CONTENTS

AFV特集

百戦錬磨のワークホース IV号戦車長砲身型

The Panzerkampfwagen IV with a Long Gun

- 12 60口径5cm戦車砲を搭載した試作車両
トリスター1/35改造 IV号戦車D型 60口径5cm砲搭載試作車/長谷川高純
- 17 長砲身7.5cm戦車砲を搭載した初の量産型
ドラゴンモデル1/35 IV号戦車F2型(G初期型)/石井俊二
- 22 数多くの改良を重ね大幅に進化
ドラゴンモデル1/35 IV号戦車G中期型/等々 肇
- 27 傾斜装甲車体を持つH型初期設計案
タミヤ1/35 IV号戦車H型 & ニューコンネクション1/35 H型クルップ社試作型/上田昌夫
- 33 IV号戦車シリーズの集大成
タミヤ1/35 IV号戦車H初期型/グスタヴォ・ゴンザレス
- 37 IV号戦車シリーズの最終生産型
タミヤ1/35 IV号戦車H後期型/七尾 明
- 43 戦車博物館のIV号戦車長砲身型ディテール写真

ユーロモデラーの超絶モデリング

- 113 ベルリン戦1945
ドラゴンモデル1/35 T-34/85 1944年型/ハビエル・フランコ
- 118 ドイツ軍捕獲仕様T-34/76
タミヤ1/35 T-34/76 & MG31/35 Pz.Kpfw.747(r)/アントニオ・マートン・テロ

春のAIR新製品モデリング Part.2

- 65 久々の1/24ニューキット製作!
トランベッター1/24 ホーカー ハリケーンMk. II c/Trop/K2
- 70 "ウィークエンド"はホンマに週末モデルやで!
エデュアルド1/48 ニューポール16/ファルツD.10a ウィークエンド/松本州平

AIRモデリング

- 68 ヒコーキモケイノスス"日本陸軍重爆トリオ"の一角
ハセガワ1/72 中島 百式重爆撃機 香蘭 II型甲/前島敏彦
- 62 ジオラマ野郎 佐藤太一のDiorama Life
ドラゴンモデル1/48 メッサーシュミットMe262B-1a/U1/佐藤太一
- 90 ユーロモデラーのお仕事
ミラージュ1/48 PZL P.23aカラス/ブルツェミスラウ・スクルスキ

Master Modelers

September 2007 Vol.49

SHIPモデリング

- 93 絶版キットを作り倒す!
復活の「The Legend」
レベルモノグラム1/85
"海底2万マイル"ノーチラス号/樋口眞三郎
- 76 戦艦 山城と西村祥治中將
/竹内規矩夫
- 78 最終状態の山城を
ハードディテールアップ!
アオシマ1/700 日本戦艦 山城1944/竹内規矩夫
- 81 開発発表、驚愕の戦艦モデル!
ハセガワ1/350 戦艦 長門

素組み、無塗装で新製品を紹介

- 3 "ちよいと" ニューキットレビュー!
○タミヤ1/35 フランス艦艇 UEトラクター
○ブロンコ1/35 美 ハンバースカウトカーMk. I
○レベル1/35 英 WW.55 3.7cm Flak43
○タミヤ1/48 イギリス クルセーダーMk. II 対空戦艦Mk. II
○ローデン1/72 ドイツ Sd.Kfz.234/4バックワーゲン 7.5cm
対戦車自走砲8輪装甲車
○ドラゴンモデル1/72 チャレンジャー2 w/ドーザーブレード
○トランベッター1/72 イタリア艦艇 C1アリエテ
○レベル1/72 SLT 50-3エレファント8 SaAnn.521
○ドラゴンモデル1/72 P-38ライトニング"バスファインダー"
○タミヤ1/72 ユンカースJu87B-2 242 スワール
○タミヤ1/350 日本特設潜水艦 伊-400
○ハセガワ1/48 日本海軍重巡洋艦 青雲
○インデモデルス1/16 大日本帝國海軍航空兵
○エデュアルド1/48 WW.II イギリス空軍パイロット

- 96 国内イベント・リポート
AFVモデラーの楽しいひととき! [第17回 東京AFVの会]
- 124 海外イベント・リポート
ポーランドの模型イベント
[SWIAOWID MODELING MEETING 2007]
- 49 おすすめ新刊・洋書
- 52 新製品情報
- 106 読者のページ
- 109 プレゼント
- 112 定期購読のお知らせ



百 戰 鍊 磨 の ワ ー ク ホ ー ス

IV号戦車長砲身型

The Panzerkampfwagen IV with a Long Gun

1937年11月に生産初号車が完成したIV号戦車は、当初、支援戦車として開発された。しかし、戦況の趨勢により、1942年3月、長砲身7.5cm砲を搭載したことによりIII号戦車に取って代わりドイツ軍主力戦車の座に就くことになる。1945年4月末までのIV号戦車の生産総数はおよそ8500両、この数値はもちろんドイツ戦車の中では最多生産数である。そしてそれら生産車のうち、実に約85%が43口径または48口径7.5cm砲を搭載した長砲身型だった。いかにドイツ戦車部隊にとってIV号戦車長砲身型が無くてはならない存在だったことがわかる。今回は、終戦までドイツ軍主力戦車として活躍したIV号長砲身型の発展を模型で見ていく。

百戦錬磨のワークホース
IV号戦車長砲身型
THE *Panzerkampfwagen IV*
with a long gun



IV号戦車D型

L/60 5cm KwK39搭載試作車

Pz.Kpfw.IV Ausf.D trial model with L/60 5cm KwK39



60口径5cm戦車砲を搭載した試作車両

IV号戦車の火力強化対策として、最初に試みられたのが、D型に60口径5cm戦車砲を搭載するプランである。この提案は独ソ戦以前、つまり「T-34ショック」以前の1941年2月19日に陸軍の会議においてヒトラーが直接、III号戦車の火力強化とともにIV号戦車にも同火砲を搭載することを兵器局に厳命したことによる。同年末にIV号戦車D型の主砲を60口径5cm KwK39に換装した試作車が完成しテストされた。元々、砲塔容積に余裕があるIV号戦車への5cm戦車砲の搭載は何の問題もなかったが、III号戦車の例を見るまでもなく、60口径5cm戦車砲をもってしても対ソ戦には不十分であった。ほどなく火力強化案は併行して開発が進行していた7.5cm戦車砲搭載案へと移行した。



- トリスター1/35 ドイツIV号戦車D型/潜水戦車
- シタデル1/35 Kw.K.39 60口径50mm戦車砲
- 製作・文：長谷川高周
- Tristar 1/35 German Panzerkampfwagen IV Ausf. D
- Zitader 1/35 Kw.K.39 L/60 50mm Barrel for Pz.Kpfw.IV Ausf.M&K & Pz.Kpfw.IV Ausf.D
- Modeled & Text by TAKAO HASEGAWA



トリスターD型の発売当初はいろいろ議論を醸し出したフェンダー上のモールドだが、「潜水戦車」版では改修されたパーツがセットされている。

砲身はIII号戦車J後期型から使用が始まった60口径5cm KwK39に換装。

主砲基部の駆逐器カバーは24口径車身搭載の通常のD型と変わらない。

IV号戦車D型の長砲身型といえば、イギリスのボービントン博物館に展示されている43口径7.5cm KwK40を搭載したタイプが有名です。本誌Vol.27において石井優二氏がトリスター1/35のD型を改造した記事が掲載されています。そこで今回は、同じD型ベースの長砲身型でも少し変わった車両を紹介しようと考え、III号戦車と同じ60口径5cm砲を搭載した試作車を製作しました。

ベースとしたキットはD型の決定版といわれているトリスター社のもの(後に新規パーツ

を追加した「潜水戦車」版)です。作例は、このキットにシタデル社の改造パーツ「Kw.K.39 60口径50mm戦車砲」(品番SA-3505)を組み込んでいます。シタデルのパーツは真ちゅう製で、GSIクレオスのIII号戦車M、K型、そしてトリスターIV号戦車D型用となっています。そう、このパーツはIV号D型の5cm搭載型を再現するための改造パーツなのです。パーツの仕上がりは高精度。マイナー車両の改造パーツ類を多数手がけているシタデル社らしい、マニア心をくすぐる製品といえます。な

お、同社のHPには今回の車両への丁寧な製作ガイドが載っています。作例も同製作ガイドを参考にしました。

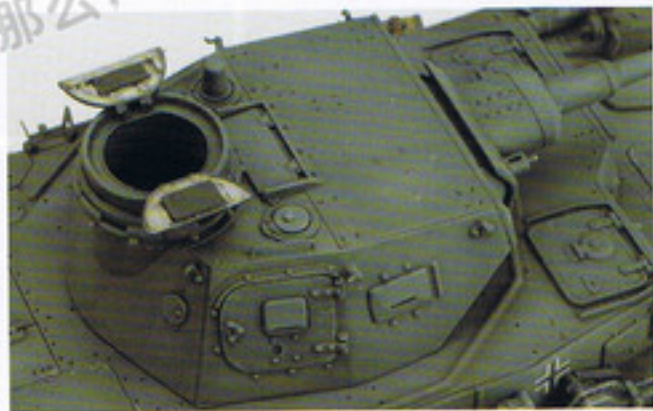
<http://www12.ocn.ne.jp/~zitader/sa3505.html>

製作

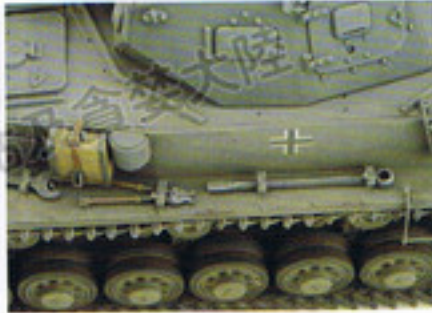
シタデルのパーツの取り付けは実に簡単で、IV号D型のパーツB-14に、2mmの穴を開け差し込むだけです。ちなみにドラゴンのキットを使用する場合は、砲身のパーツを途中で切



IV号砲塔に5cm砲は細く見える。III号M型～N型への火力強化とは逆行しているし、なんとも不思議だ……。



キットは車載工具などの小物パーツも非常に良い出来。



断する必要があります。ベースに使用したトリスターのキットは、本誌では何度か取りあげています。過去の作例記事と重複する部分もありますが、注意点を記しておきます。

まず5cm砲搭載型について、あまりにも情報がないので、前述のようにシタデル社のHPを見ました。それによるとこの車種は、車体下部正面の装甲が50mmとなったタイプが用いられているそうです。それはE型の特徴でもあります。最終生産ロット68両のうち1両が使われたようです。

従って、前面下部をE型に近づけるため、

0.5mmのプラバンを張り増厚。パーツA-2、A-3の減速器内側のリベットは上の2カ所を削り、補強板パーツE-5は取り付けませんでした。なお、キットの組み立て図工程1のS-28という表記は誤っています。正しくはS-11。また工程4のS-31は差し込む向きが逆です。

車体上部はフェンダーのモールドが良いI-1を使用。本来は潜水戦車用として新規追加されたパーツですが、通常のD型用として使用しても問題はありません。ただし吸排気グリルの蓋のストッパーがないので、エバーグリーンのプラ材を切り出して再現しています。フェン

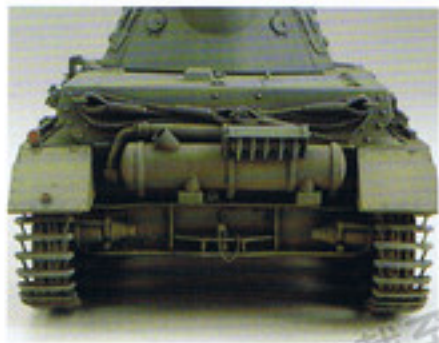
ダー後部も、出来の良いI-11、12を使用。こちらは防水シャッターI-20、21の受けの部分を削り落としました。

工程8のC-42と43は左右が逆。カギ穴が外側へ向くのが正解。工程8のC-1、2、3、4は左右が逆。工程12-3の吊り上げフックE-8の基部はパーツH-2です。装備品の弾D-27はフェンダーへの収まりが悪いので、本誌Vol.44の石井氏のIV号D型潜水戦車の作例に倣って柄の部分を3mm短くしました。

足掛けステップと履帯工具はアベールのエッチング「GERMAN MEDIUM TANK



このキットで苦労するのは、足回りのパーツが多く、組み立てが大変なこと。もっともその分、ディテール、モールドの仕上がりは申し分ない。



戦車兵はトリスター「ドイツ歩兵セットvol.1」、兵士はドラゴン「Blitzkrieg in the West France 1940」のフィギュアを使用。

Pz.Kpfw.IV Ausf.D. Vol.1-basic set」(品番35185)を使用。タグローブは2本にするため、タミヤの「IV号戦車車外装備品セット」のパーツとカラヤの金属ワイヤーを使っています。履帯は組み立てが簡単なドラゴンのマジックトラックにしました。何の問題もなく、トリスターのキットに合わせることが出来ます。ちなみに枚数は片側103枚です。

■塗装

最近では下地塗装としてタミヤの缶スプレーをよく使っています。車体上部にジャーマン

グレー、下部にダークアースを吹き付けていますが、一気に色が乗るのでとても楽です。その後、アクリルカラーをエアブラシで吹いていきます。明部にはニュートラルグレー+ミディウムブルー+デッキタンを吹き、フェンダー周辺にはミディウムグレー+パフを吹いて埃っぽさを表現しました。

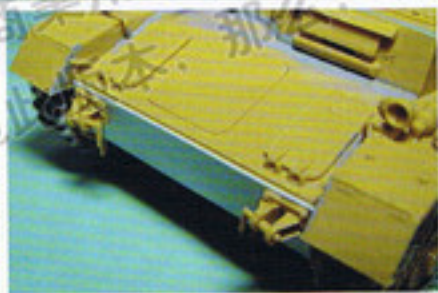
さらにエナメルカラーカーキドラブ+ハルレドでウォッシング。ハンパロールのマットシーグレイ+カモフラージュグレーでドライブラシ。今回は試作車輦という事でチッピングやダメージ表現は控えめにしました。

■フィギュア

フィギュアは、演習地にて新兵隊の性能を確認している姿をイメージしてチョイス。黒服の戦車兵は、トリスターの「ドイツ歩兵セットvol.1」のものに、同社の他の頭部を組み合わせています。また、指差しポーズの兵士は、ドラゴンの「Blitzkrieg in the West France 1940」のものを使っています。



車体前面に0.5mmプラバンを張って増厚。



牽引ホルドのチェーンはアベールのエッチングパーツを使用。



主砲はシタデル社の真鍮製「Kw.K.39 60口径50mm戦車砲」に交換。



履帯はドラゴンD型のマジックトラックを使用した。



機関室側面排気グリルの蓋のストッパーをプラバンで追加。



IV号戦車D型長砲身改修型を作りたい方は必見!

IV号D型の長砲身型といえば、43口径7.5cm KwK40搭載型が有名だ。本誌Vol.27において石井優二氏がトリスターのD型キットを大改造。製作の詳細についてはぜひVol.27号記事をご覧ください。また当該、後ページ掲載のボービントン戦車博物館の展示車の写真も参考に。





Pz Kpfw IV Ausf. G early production model

IV号戦車F2型 (G初期型)

長砲身7.5cm戦車砲を搭載した初の量産型

IV号戦車の火力強化策として暫定的にIV号D型に60口径5cm砲が搭載されることになったが、まだ威力不足なのは否めず、7.5cm砲の開発が併行して進められた。7.5cm砲は当初、33口径として設計がスタートしたが、その後、34.5口径～40口径～46口径と紆余曲折し、最終的に43口径として1942年初頭に完成する。43口径7.5cm KwK 40は当時、生産中だったF型に直ちに搭載されることが決定し、1942年3月からKwK 40を搭載した長砲身型の生産が始まった。かつては24口径単砲身型はF1型、40口径長砲身型はF2型と呼ばれていたが、最近ではF型ベースの長砲身型はG型と表記するのが一般的になっている。

- ドラゴンモデル1/35 IV号戦車F2(G)型
- 製作・文：石井隆二
- 協力：シェパード、バウマン
- Dragon Models 1/35 Pz Kpfw IV Ausf. F2 (G)
- Modeled & Text by YULI (SOH)



“出来が良く、作りやすい”と好評のドラゴンモデル、スマートキットに待望のIV号戦車の長砲身型が加わりました。これまで数多くのIV号戦車のキットを作ってきましたが、これほどストレスなく製作できるキットは初めてです。金型を駆使して再現されたパーツのおかげで、これまでなら追加工作やエッチングパーツを使用しなければ表現できなかったディテールの仕上がりも素晴らしい、キットは申し分ない内容になっています。

■製作

製作は説明書の指示に従って進めました。足回りは同社のIV号D型よりもパーツ点数が少

ないので、組み立ては楽です。履帯を履かせた後の接地もきれいに決まります。もちろん、ディテールの再現度は完璧です。

履帯はマジックトラックで、モールドの出来が良く組み立てやすいのはもちろんのこと、左右の異なった履帯を使用するため、間違わないように成形色を変えるという細かな配慮もなされています。

車体上部は溶接跡などのモールドを再現するために各パネルごとに分割されていますが、ズレることなくカッコリと組み立てることができます。クラップはすべて開閉可能で内側のビジョンブロックはクリアパーツで再現されています。作例は砲状態と閉状態の両方を再現して



車体前面に予備履帯や転輪を載せてみた。履帯はこのF2型が履いているものとはタイプが異なるが、そこは常套図案で。



キットの車載工具の出来は秀逸。こうした小物も丁寧に塗装しよう。



クラッペは別パーツ、裏側までちゃんと再現されているので、オープン状態に。

砲塔内部はこんな感じ。ハッチから見るとは十分であろう。

みました。

車外装備品はハンドル付きのクランプまで再現された秀逸なものですが、個人的な好みでアペールのエッチング「German clasps & clamps」(品番35A93)のパーツを使用。また、装備品に付いている三角ストッパーはモデルカステンのパーツに交換しています。

キットの出来が良く、手を加える箇所もほとんどないので、少し装備品を追加することにし

ました。今回はプラストモデル(取り扱い:シェブロン)から発売されているレジン製のIV号戦車用積載物セット「Stowage Panzer IV C/D/E」(品番BL35087K)を使って車体前面と機関室に荷物を積んでいます。履帯はF2型のものとは違いますが、完成後の見栄えを優先して使用しました。

砲塔はキューボラやハッチ内側はもちろん、インテリアの主要パーツもセットされていま

す。せっかくなので、ハッチやクラッペは開状態としました。

■塗装

塗装はキット説明書の塗装例の一つ、Pz.Abt.204, 22.Pz.Div. Russia 1942を選択。基本色はパンツァーグレーでアフリカ向けのサンディブラウンで迷彩が施されています。



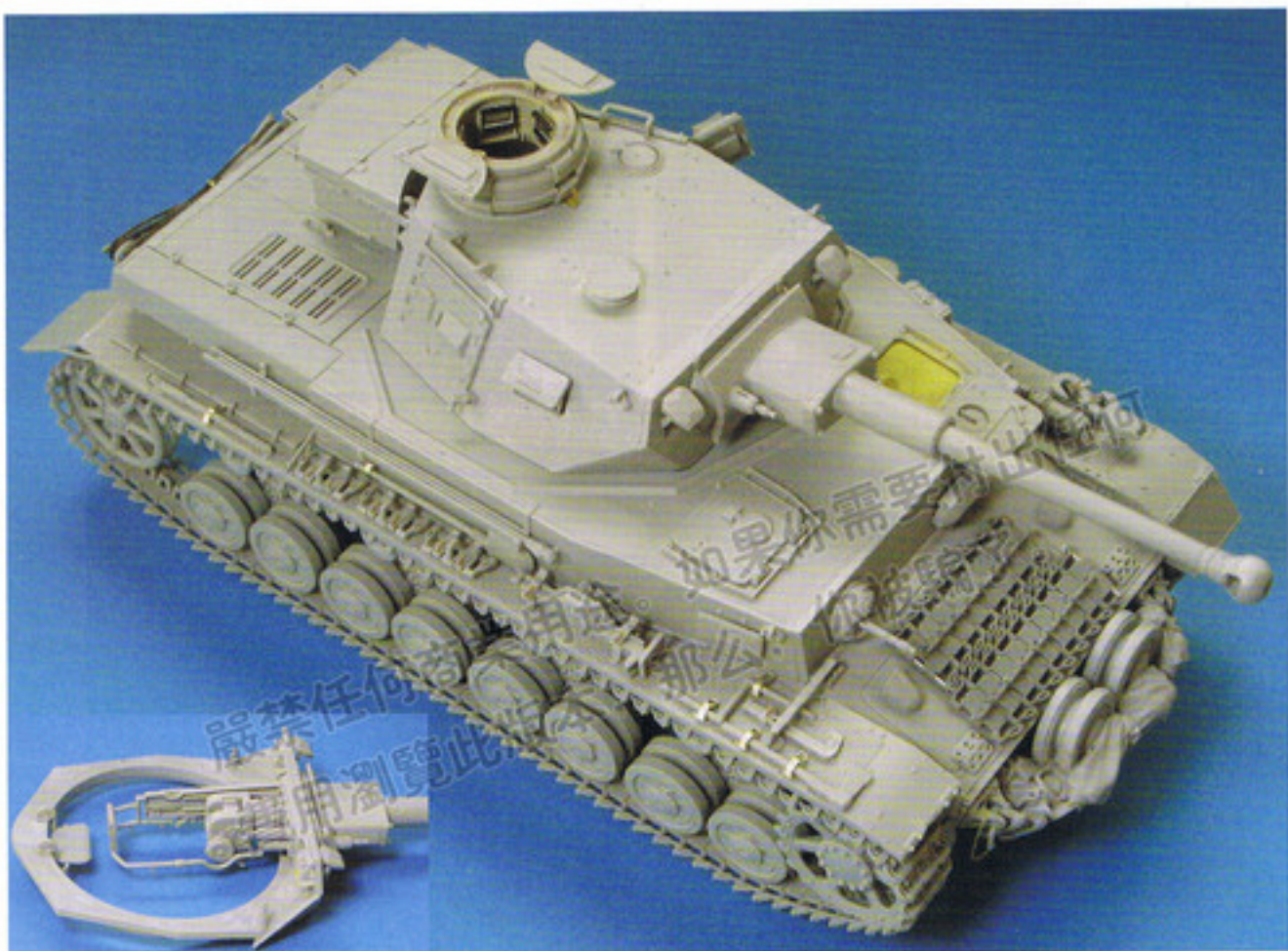
側面ハッチも裏側のビジョンブロックまで再現。こうして開けた状態にすると完成後の見えええし。



作業はいつもどおり、タミヤのスーパーサーフェイスを全体に吹いた後、アクリルのダークブラウンで下地を塗装。パンツァーグレーはタミヤアクリルのジャーマングレーをベースにホワイトやクリアイエローを混ぜて使用。サンディブラウンはデザートイエローとフラットフレッシュを1:1で混ぜ、これにホワイトとクリアイエローを少量加えたものを使っています。

転輪のゴムや装備品の塗り分けはヴァレホアクリルカラーを使用。エイジングは油彩のバーントアンバーとセピア、クラシックアンバーを使って染めるように行いました。足回りの泥や埃はMIGパウダーとターペンタインを使っています。最後にハンプロールのマットコートに少量のパールイエローを混ぜたものをターペンタインで希釈して吹き付け、フィルターをかけて仕上げました。





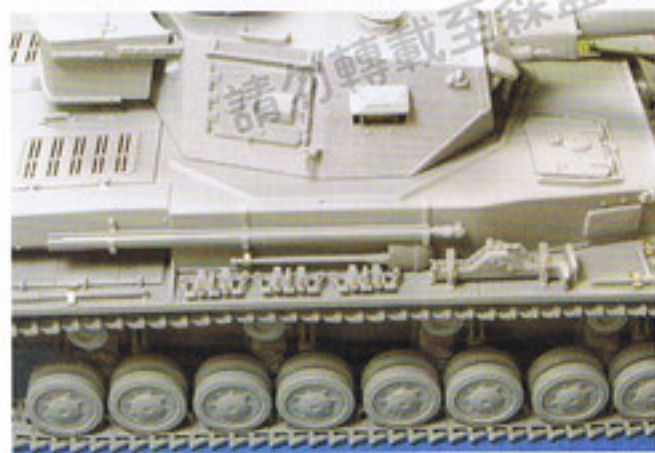
キットには、砲尾や車長用シートのパーツがセットされている。



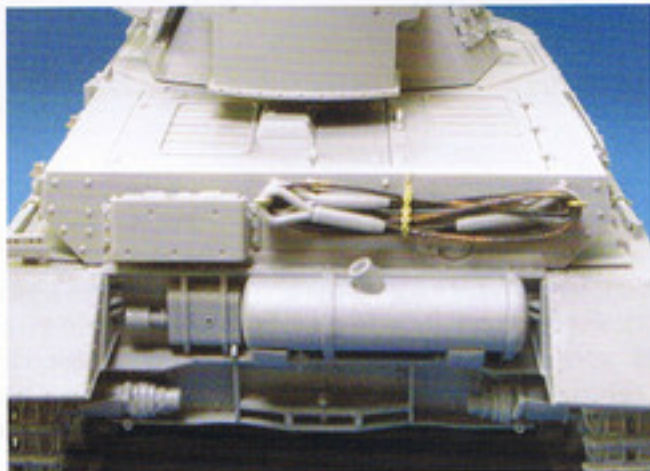
キューボラやハッチ、クラッペの内側はこんな感じ。ビジョンブロックはクリアパーツで再現されている。

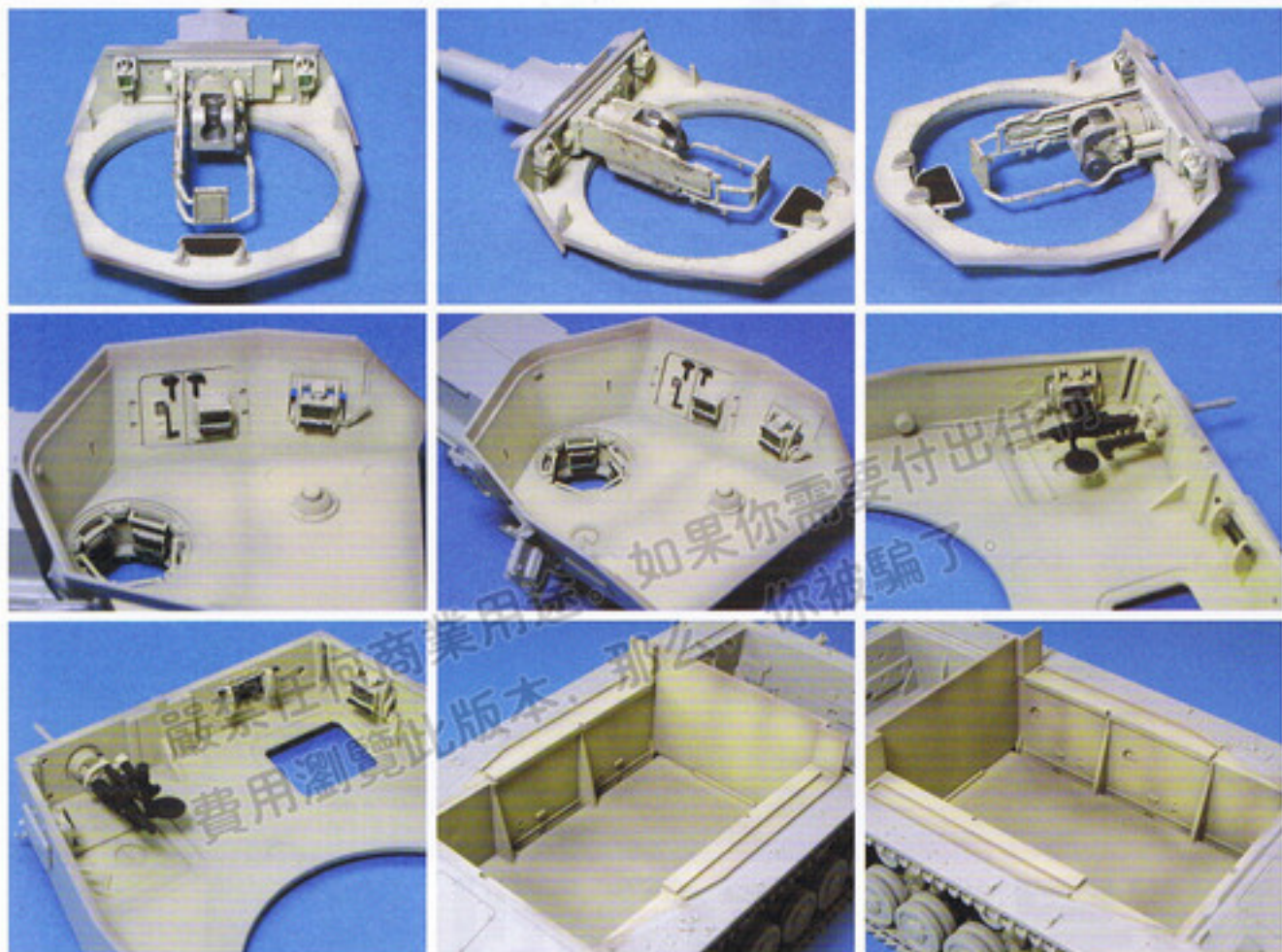


車体前面の予備履帯や転輪は、プラストモデルのレジン製パーツ「Stowage Panzer IV C/D/E」(品番BL35087K)を使用。



キットのOVMパーツには留め具もセットされているが、作例はアベールのエッチングを使用。





車体前面の裏側のMG34や操縦手視察装置、クラッ
ペも再現されてる。

戦闘室内は空っぽ。完成後見えないから、まっいいか。





百戦錬磨のワイルドホース
IV号戦車長砲身型
THE *Panzerkampfwagen IV*
with a long gun

IV号戦車G型

数多くの改良を重ね大幅に進化

Pz.Kpfw.IV Ausf.G middle production model

1942年3月末から生産が開始された、7.5cm KwK40を搭載したIV号戦車の長砲身型は、当初、F2型と呼ばれていたが、同年7月からG型という制式呼称が与えられた。戦況が日々激変していた時期に登場したG型は、IV号戦車シリーズ中、もっとも進化を遂げたタイプといえる。防御力強化のため砲塔前面右側と左右のクランプを廃止、車体前面に増加装甲板追加、砲塔/車体側面にシュルツェン装着、さらに車載工具位置変更や備品の変更および追加、車体側面にエアクリナーを装備するなど、絶えず改良が加えられていき、G型の最終期生産車にいたっては、次の量産型H型とほぼ同じ仕様といえるほど発展している。G型は初期のF2型を含め総計1820両が造られた。



■ドラゴンモデル1/35 IV号戦車F2(G)型
■製作・文：野金 聖
■協力：バウマン
■Dragon Models 1/35 Pz.Kpfw.IV Ausf.G
■Modeled & Text by HAJIME OGISANE



1942年5月から一部の車体に対し車体上部前翼装甲板に30mm厚の増加装甲板が装着されるようになった。

ドラゴンモデルズより発売されたIV号戦車F2(G)型は、もう既に皆さんご存知かと思いますが、本当に素晴らしいキットで、数あるIV号戦車のキットの中でも決定版と言えるほど良く出来ています。

キットの中に使用しない部品がいくつかあるのですが、それらはまさにG型仕様の部品ばかりなのです。つまり、今後バリエーション展開で発売されるであろうG型ですが、今回は一足早く不要部品をフルに活用しG中期生産型を作っていました。

■製作

キットは、説明書通りに組んでいけば問題なく仕上がります。エッチングパーツもいくつか

付属していて、その都度ブラ製とエッチング製、どちらかのパーツを選ぶようになっています。こういった場合、大抵エッチングパーツを選びがちですが、素晴らしい成形と金型技術によりブラ製の部品はエッチングパーツを必要としないほどの出来に仕上がっています。

作例でも一部エッチングパーツを選んだ箇所がありますが、ブラ製の部品でも十分だと思います。ちなみに今回の作例では、両フェンダー後部の吸気グリルカバー、左フェンダー後部泥除け上の反射式尾灯、3角形のフェンダー支持架はエッチングパーツを使用しています。

さて、G型への改造ですが、F2型から始まるG型は、生産時期によって各所に様々な改修が施されており、さらにそれらの改修点が混在



ライトはノテックライトから左右2基のボッシュライトに変更。



砲塔側面前部のクラッペは使用しない。開口部はブラバンで整形。



中期～後期生産車の一部の車両ではH型同様の1枚開き式キューボラ・ハッチを採用。



マズルブレーキは、シングルバフル式からダブルバフル式に変更。



主砲基部の駆逐器カバー右にアンテナ掛けが付く。



キット付属のスモークディスチャージャーを取り付けた。

していることも珍しくありません。よって、作り始める前にも程度改修点を決めておいたほうが、作業がスムーズに進行すると思います。

作例は、G型の中でも中期の一部に見られる砲塔左右側面に3連式スモークディスチャージャーを装備したタイプとしました。

以下、今回改造するために手を加えた箇所です。

○ノテックライトは使用せず、ボッシュライト

を左右フェンダーに装着。

○車体上部前面の増加装甲板をブラバンで自作し追加、合わせて溶接跡も再現。

○操縦手、無線手用の両ハッチは中央に信号弾用小ハッチがないタイプ(パーツB17、B18)を使用。

○左側フェンダー中央に付く予備転輪ラックをブラバンにて自作。

○予備転輪ラック装着に伴いレンチの位置を右フェンダー後方に移動。

○クリーニングロッドを4本組みの物(パーツC10)に変更。

○車体後部は冷却水交換用の蓋が付いているタイプ(パーツE27)を使用。

○車体後部の補助エンジンマフラーは排気口が上向きタイプ(パーツB28)を使用。

○主砲は48口径7.5cm KwK40、マズルブレーキは一部車両に見られた左右にエラの張ったタイプとするためアベールのマズルブレーキ付き金属製砲身(German 75mm Barrel



クリーニングロッドは4本組みのパーツを使用。

右ファンダー後方にレンチを移動。排気グリルのカバーはエッチングパーツを使用。

車体左側面に予備転輪ラックが付く。



for KwK40 L/48 with early model muzzle brake for Pz.Kpfw.IV, Ausf.G late - Ausf.HJ (品番35L46)に交換。

○主砲基部横に付く簡易アンテナ除けを真ちゅう板にて自作。

○砲塔前面は右側のクラッペがないタイプ(パーツB3)を使用。

○不要パーツとしてキットに付属しているスモークディスチャージャー(パーツG4、G11、G3、G2)を使用。発射装置裏側には簡単に配線を追加。

○砲塔左右側面のクラッペは廃止されているので、クラッペ(パーツG1、G21)は使用せず、開口部をプラバンで塞いだ。

○砲塔上面の信号弾発射用小ハッチ(G9)は使用せず、開口部を埋める。

○キューボラのハッチは、左右両開きタイプから1枚ハッチに変更。プラバンでハッチを自作し、取っ手はエッチングパーツのストック品から使用。

キットでは不要部品として同封されているパーツをフルに活用して作ったG型ですが、かな

りがらりと印象が変わりました。特に砲塔側面のスモークディスチャージャーと48口径の主砲が何よりも印象を変える大きな要因になっています。いろいろと手を加えましたが、元々の出来が非常に良いキットですし、さらにG中期型以降のパーツが入っていたので、今回の改造はさほど大変ではなく、非常に楽しめました。

戦車が完成したら、次は乗員。IV号戦車の行軍シーンで良く目にする乗員の配置でフィギュアを作成しました。ストック・パーツの中から、



戦車兵はストックしているパーツを寄せ集めて製作。一部エポキシパテを使ってポーズをつけている。



各パーツをチョイス、一部エポキシパテを使いポーズ決めをしています。

作例のように様々な形のハッチに合わせポーズ決めていくのは結構面倒なのですが、ミニアート1/35「German Tank Crew」(品番MA35003)や「German Tank Crew, Winter 1943-45」(品番MA35021)、また近々ドラゴンより発売される「ドイツIV号戦車クルー」(ちなみに静岡ホビーショーで実物を見ましたが出来は非常に良い物でした)を使えば、苦勞せずに雰囲気バッチリのフィギュアを

乗せることができます。

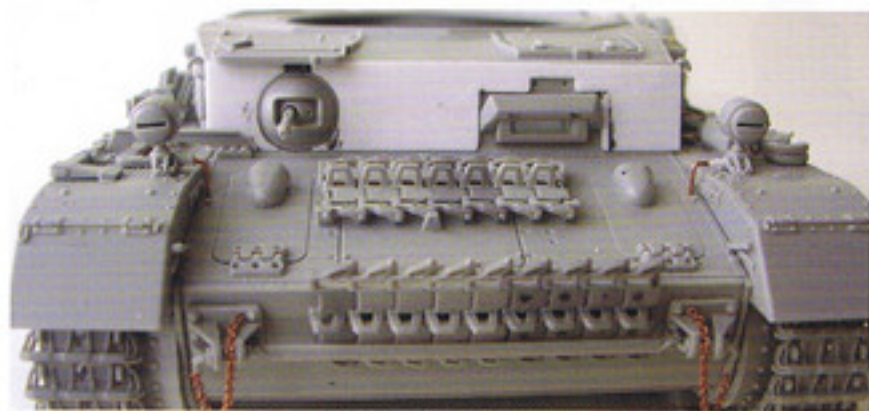
■塗装

塗装は、いつものように基本塗装をタミヤアクリルで、その後のウェザリングをタミヤエナメル、一部にパステルを使い仕上げました。サーフェイサーを吹き付けた後、下塗りとして車両全体にグレーを吹き付けています。今回の基本色はミディアムグレイにバフ+デッキタン+ブラウン少量を加え、最後にダークイエローを加えて黄色味を調節しながら作りしました。

この基本色を車両全体のトーンのがっぺりとしなないように吹き付け基本塗装としています。

履帯、転輪、車外装備品等の塗装は、エナメルの筆塗りで行い、履帯にはこの時点でパステルを使い、汚し塗装まで済ませておきます。

その後は、全体にエナメルで作った基本色にホワイトを混ぜし明度を上げながら3段階ぐらいに分けドライブラシを施しました。仕上げに塗装の剥がれた表現やスス汚れ、雨垂れ等の汚し塗装を行い仕上げています。



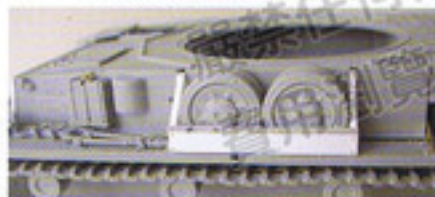
左右フェンダーにはキット付属のボッシュライトを装備。車体前面の増設装甲板はプラバンで自作した。



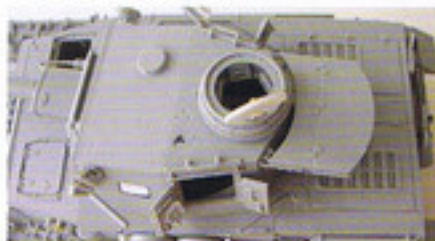
キューボラの1枚開き式ハッチはプラバンで自作。



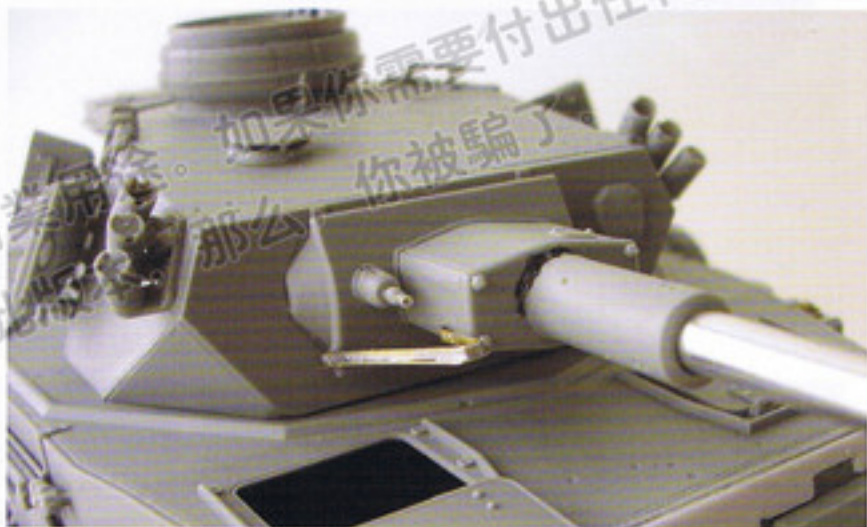
砲身は、アベールの金属製パーツを使用。先端のマス
ルブレーキは、内部も完全に再現された逸品。



予備転輪ラックはプラバンで製作。



キューボラ前の信号弾用ハッチはプラ材で塞いだ。



砲塔前面パーツは左側のみクラッペを装備したものを使用。アンテナ除けは真ちゅう板で自作。



車体を後方から。左フェンダー泥除け部
の反射式尾灯はエッチングパーツを使用。



Pz.Kpfw.IV Ausf.H early plan model by Krupp

IV号戦車H型

クルップ社初期設計案

開発当初に予定された傾斜装甲車体のH型

1942年12月、IV号G型に続く量産型(つまりH型)では大幅な防御力強化を図ることが兵器局より提示された。この要求に答えるべくクルップ社は傾斜装甲を取り入れ戦闘室から車体前面の形状を変更した設計案を1943年1月に提出する。しかし、重量増加に伴う変速機への負荷が大きいことが判明しキャンセルとなった。仮にクルップ社設計案が採用された場合の計画値での車重は28.1t、それに対し実際に生産されたH型量産車の車重は25t、わずか3tの差でしかない。後に火力強化のために開発されたIV号戦車/70(A)の車重が28tだったことを考えると、車体の防御性能が大幅に向上できるのであれば、変速機を改良または換装してでもクルップ社の初期設計案を採用する価値はあったように思えるのだが……。

- タミヤ 1/35 ドイツ IV号戦車H型(初期型)
- ニューコネクション 1/35 IV号戦車H型クルップ社設計案
- 製作・文: 上野昌典
- 協力: M.S.モデルズ、バウマン
- Tamiya 1/35 German Pz.Kpfw.IV Ausf.H early version
- New Connection Models 1/35 Krupp Pz.IV H prototype
- Modeled & Text by AKIO UEDA

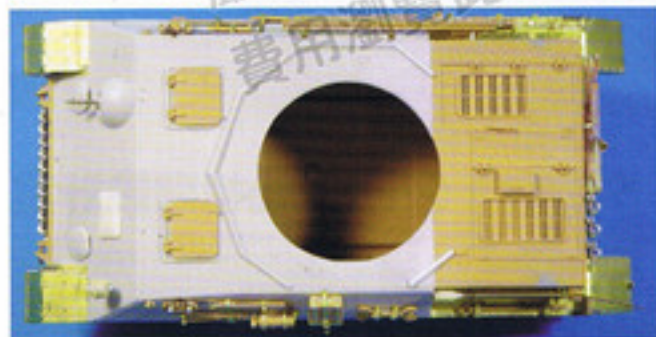
今回製作するのは、IV号戦車の中ではもっとも外観が変化しているH型の初期設計案です。この設計案を作るための改造キットがニューコネクションモデルから「Krupp Pz.IV H prototype」(品番NC35128)として発売されています。パーツはレジン製の車体上部と操縦手用クラッペのみ。ベースキットの指定は特にありません。タミヤ、イタレリのH型またはドラゴンモデルのJ型から選択しましょう。作例は、タミヤのH型を使用しました。

製作の参考資料は、「PANZER TRACTS No.20-1 Paper Panzers」と『月刊グランドパワー2002年12月号(特集: IV号戦車H/J型)』のイラスト等です。

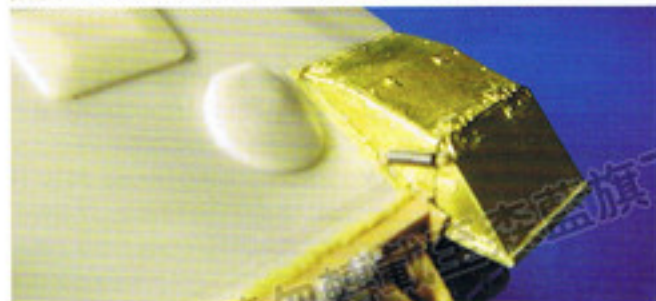
製作

「PANZER TRACTS」の図面は、H型中期以降の車体、駆動輪となっていますが、作例は設計案が採用されていれば、H型は当初からこ





操縦席など車体内部前方。インテリアは車体上部パーツを接着する前に後装しておく。



フロントのフェンダーはアペールのエッチング、固定用のスプリングはブレイブモデルの「極小スプリング」を使用。



履帯および予備履帯はフリウルのメタル製造結式を使用。



砲塔のシュルフェンはアペールのエッチングパーツで再現。

のデザインとなるはずだったことを考え、H型初期の車体、起動輪としました。

車体下部および足回りはタミヤの説明書に従い組み立てます。履帯はフリウルのメタル製造結式可動履帯「PZ III/IV」(品番ATL04)を使用。フェンダーは、アペールの「Fenders for Pz.Kpfw.IV(NewTYPE)」(品番35A81)を組み立てシャシーに接着、滑り止めのプレートは車体上部、機関部の位置決め後、最後部

のみ長さを含ませ使用しました。

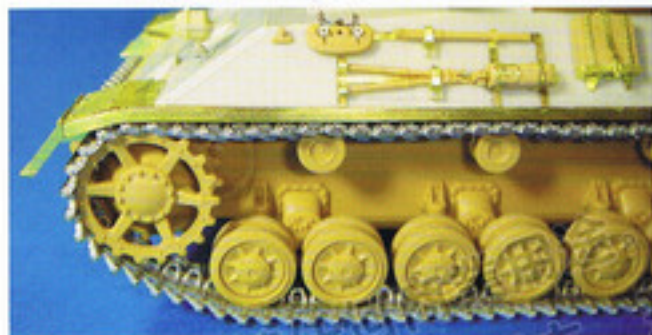
車体上部C51は、後半の機関室部分を使用するため丁寧に切断。切り離した機関室に左右グリルB20、B21と後部パネルB19を組み付けます。この後、機関室部分にニューコネクションの車体上部前半部を取り付けるわけですが、タミヤの車体下部に長さを含ませるためレジン製車体前半部の後を3mmほど削り、車体前部との位置関係を確かめながら調整し

ました(レジンパーツなので個体差があると思います)。

レジン製車体前部とタミヤの機関室を結合した後、機関部パーツの前部を削りターレットリングを繋ぎました。車体前後の継ぎ目と段差はアルテコの瞬間接着剤で埋めサンディング。車体下部と上部の前方にできる隙間は、1mmプラバンで処理し溶接跡はタミヤのエポキシパテで再現。同時に接合時に削り取った、



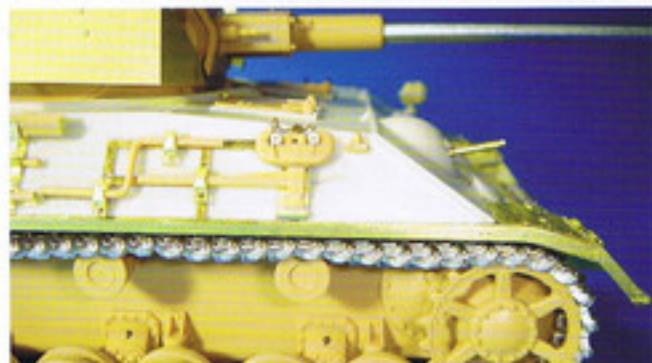
砲塔のディテールアップにもアベールのエッチングを使った。



足廻りはタミヤのキットをそのまま使って組んでいる。



工具の留め具はアベールやボイジャー、フェンダーはアベールのエッチングを使った。



砲塔天板や主砲基部スリッパ上のボルト穴はバッシュモデルズの「0.6mm・0.9mmスリッパヘッド」を組み込んで再現。



後部アンテナはアドラーネストの「WWⅡドイツ軍2mアンテナ」、後部の牽引ケーブルはカラヤの「Pz.III/Pz.IV tanks & SPGs」を使用。

ターゲットリング後方のブラッシュガードはプラストラクトの1.5mm三角棒で復元しています。

車体の基本形はこれで完成です。細部の製作に移ります。フロントとリアの泥よけはアベールのエッチングパーツを使用。泥除けにはブレイブモデルの「極小スプリング」(品番A1&A2)を追加。また、上部の操縦手、無線手ハッチ用ヒンジはハッチB38、B39と隙間が

生じるので、ヒンジのモールドは削除し、タミヤのヒンジを移植しました。

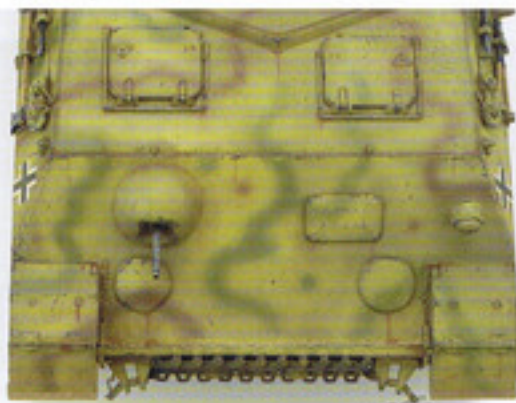
前面のポールマウントにはアドラーネストの「WWⅡドイツ軍MG34(後期型)7.92mm車載機関銃銃身」(品番ANM-35002)を、後部アンテナは同社「WWⅡドイツ軍2mアンテナ」(品番ANM-35008)を使用しました。

OVMはタミヤのキットに付属しているパーツを主に用い、取り付け具などはアベールの

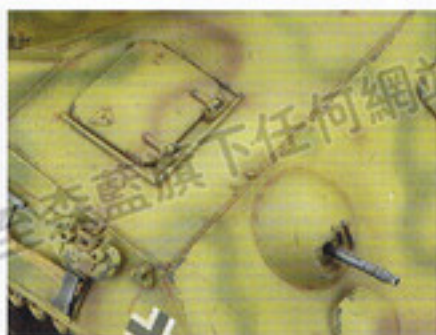
エッチングパーツ「Pz.Kpfw.IV Ausf.H」(品番35012)を使用しディテールアップしました。前面のボッシュライト基部はドラゴンのバンターD型より流用、ライト本体はモデリングアーティザンモリのレジンパーツ「ドイツボッシュライトセット」(品番MGP17)を使用。クリーニングロッドおよびその止め具はボイジャーモデルの「WWⅡドイツIV号戦車後期型用砲身クリーニングロッド」(ME-A057)を用い



車体前部は防御力を高めるためパンターD/A型に似たデザインの傾斜装甲を採用している。



車体前面左側には後継手用視察グラスを配置。その下の円形パネルはブレーキ点検用パネル。



マズルブレーキは左右に広がった初期タイプを装備。

ました。

作例では、OVMの装着方法は、車体形状がよく似たパンターD/A型を参考にラックをショウモデリングのパンター用エッチングパーツを加工しアレンジしています。後部牽引ケーブルはカラヤの「Pz.III/Pz.IV tanks & SPGs」(品番TCR08)を使用。さらにアペールのエッチングチェーンで左右ケーブルを束ねています。

砲塔は、タミヤのキットをストレートに組んでいますが、天板のボルト穴をバッシュモデルズの「0.6mm・0.9mmスクリューヘッド」(品番P35-001 & P35-003)を組み込んで再現。さらに、キューボラ上部にピンバイスで水抜き穴を開きました。砲塔の細部は前述のアペールのエッチングパーツでディテールアップ。砲身はアペールの「German 75mm Barrel for KwK 40 L/48 with early model

muzzle brake for Pz.Kpfw.IV Ausf.G late-Ausf.H」(品番35L46)、シェルツェンは同社「Turret skirts for Pz.Kpfw.IV」(品番35A06)を使っています。

■塗装

本車が量産、実戦配備されていれば1943年頃なので、ダークイエローベースの3色迷彩としました。まずタミヤのスーパーサーフェ



車載工具の装飾は、車体形状がよく似たパンターを参考にしてみた。



イサーで下地処理を行っています。足回り、車体下部にGSIクレオスMr.カラーのダークイエローとウッドブラウンおよびタミヤのダークアースを缶スプレーで軽く混ぜ吹きして下地塗装、上部は調色した影色でエアブラシで影付けしました。

その上からMr.カラーのダークイエロー+ライトカーキの基本色で影を残しながら吹付け、ハイライトは基本色+クリサイエロー+ホワ

イトで光の当たる部分に吹き明暗を強調しています。迷彩は『PANZER TRACTS』誌に掲載されているH型の実車写真を参考にダークグリーンとレッドブラウンの帯状パターンとスポットを描いたものとししました。

仕上げは、油彩によるエイジング、タミヤエナメルにてドライブラシ、チッピングを施し、顔料やGSIクレオスのウェザリングカラーセツトにて追加の汚しを行い仕上げています。



傾斜装甲は車体前部のみで、車体後部、機関室周りは前生産型のG型と変わらない。



砲塔はH型そのまま。よって基本パーツはタミヤのキットを使用。



砲塔のディテールアップは市販のパーツ類を使った。



砲塔シュルフェンはやはりエッチングパーツの使用が効果大。車体後面はH型の量産型と変わらない。



百戦錬磨のワークホース
IV号戦車長砲身型
THE Panzerkampfwagen IV
with a long gun



■タミヤ1/35 ドイツIV号戦車H型(早期型)
■製作・文：グスタヴォ・ゴンザレス
■Tamiya 1/35 German Pz.Kpfw IV Ausf.H early version
■Modeled & Text by Gustavo Gonzalez

Pz.Kpfw.IV Ausf.H early production model

IV号戦車H初期型

IV号戦車シリーズの集大成

G型に続き、1943年5月からはH型の生産が始まった。H型は当初から48口径7.5cm KwK 40を搭載し、砲塔周りと車体側面には対成形炸薬弾用のシュルツェン、車体側面にエアフィルターを標準装備していた。これらはほぼ併行して生産が続行していたG型の最後期生産車においても採り入れられている。H型で新たに加えられた改良点は、最終減速機の改善と砲塔上面の装甲をG型までの10mm厚から前部16mm厚、後部25mm厚に強化したことである。またH型においても生産中に改良や生産性向上のための簡略化などが行われており、車体前面の装甲を50+30mmから80mm厚の1枚板に強化、操縦手/無線手用クラッペの廃止、起動輪や誘導輪、上部転輪、ダンパーの構造変更などが適宜実施されていった。H型はいわばIV号シリーズの集大成であり、1944年2月までに計2322両造られている。



キットはストレートに組んでいる。塗装でリアル感を演出。



最近のAFVモデリングはエッチングパーツや金属砲身、連結可動履帯など多種多様なパーツでディテールアップすることが当たり前のようになっています。しかし、出来の良いキットなら、そのキットの持ち味を上手く活かすような製作方法もモデリングの楽しみ方の一つだと思います。

私が選んだタミヤのIV号戦車は素晴らしい

内容のキットです。リアルなペイントを施せば、ディテールアップせずとも完成後の見栄えは十分です。そこで、キットそのものは「アウト・オブ・ザ・ボックス」、ストレートに組み立て、ペインティングやジオラマの製作に時間を掛けてみました。

IV号戦車の塗装

塗装の工程は大きく3段階に分けることができます。まずエアブラシ、そして次にアクリル塗料を使ったブラッシング、最後に油彩でのウェザリングです。まず下地色となるタミヤアクリルのパンツァーグレーを薄く2層コートするようにエアブラシ。そしてパンツァーグレーに異なる他色を加え、ハイライトやシャドウを入れていきました。こういった場合は、塗料をか



泥汚れは、濡った泥と乾いた泥、さらに固着の具合に強弱を付けている。



白で冬期迷彩を施したH型。



なり希釈し、エアブラシは圧力を落として行っています。サビた感じの汚れを表現する際はタミヤのクリアオレンジを使用すると効果的です。

次は冬期迷彩の白塗装です。白の彩度が過度に強くなるのを避けるためホワイトにブラウンを数滴加えて行っています。この混色はどの場合にも適用できるとは限りませんが、ところどころ白塗装が色落ちした部分には効果的

です。また汚れが流れ落ちた状態は、レッドとブラウンを混ぜ希釈した塗料をエアブラシを使って縦に筋状に描いています。

白迷彩の場合のチッピングは2通りの方法で行いました。最初は一般的な方法で、細筆を使って下地色より明るい色でチッピングを描き込んでいます。2番目のやり方は、綿棒に基本色より暗い色を染み込ませ、ランダムにスポット状に付けていく方法です。綿棒を使うやり方

は、細筆を使用するより作業が早くできますが、微調整が難しく、またやり過ぎに注意しなければなりません。

チッピングの後にヴァレホ・アクリルを使ってフィルタリング。セピアカラーを使ってサビた汚れを、また下地色のパンツァーグレーと迷彩色のホワイトの境目周囲の色調を整えるためにバイオレットカラーを使用しました。さらに油彩のレッドオキサイドでウォッシングして



機関室上面は乗員や歩兵などが跳乗するため、白塗料落ちや汚しを強くしている。



マフラーはサビた感じを、また車体下部の汚れは激しく。

サビた感じを表現しています。

排気管のサビた表現はMIGプロダクションのビグメントを使用。また、土・泥汚れも同ビグメントで行っています。まず湿った泥はグロスパーニッシュでビグメントを固着させて再現。その後、直接ピンからビグメントを取りリタッチして乾いた泥を表現しました。さらに湿った泥を強調したい箇所にはより暗くよりツヤのあるビグメントで、逆に乾いた状態を強調し

たい場合は明るく乾いたように見えるビグメントを使用しています。

■ジオラマベース作製

ベースはコンパクトですが、建物を配置し、高さを出すことによって、空間的な広がりを演出しました。建物はプラスモデルのストラクチャーを使用。建物や石などベースのディテールはヴァレホアクリル塗料で塗装、ハイライト

やシャドーを付けています。雪はアンドレアミニチュアズ社のマテリアルを使用。水と木工ボンドで混ぜて固着させてました。

■フィギュア

戦車兵は3体ともウォーリア社のレジン製キットを使い、ヘッドのみホーネット社のパーツに交換しています。塗装にはヴァレホアクリル塗料を使いました。



ウォーリア社のレジン製フィギュアを使用。ヘッドはホーネット社のパーツに交換。



■タミヤ1/35 ドイツIV号戦車J型
■製作・文芸志 阿部 隆
■協力・バリエーションモデルズ、トライスター、ファインモールド
■Tamiya 1/35 German Panzerkampfwagen IV Ausf. J
■Modified & Text by MEI NANAHOSE

IV号戦車J後期型

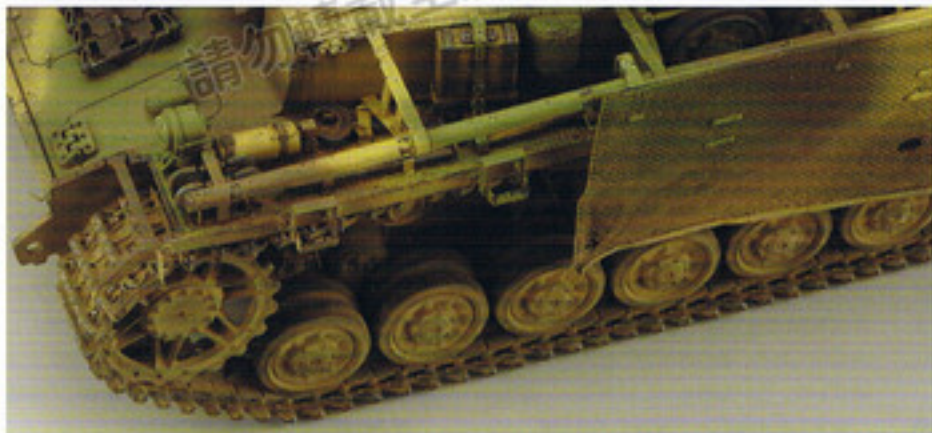
IV号戦車シリーズの最終生産型

Pz.Kpfw.IV Ausf.J late production model

IV号戦車シリーズの集大成といわれるH型に続いて生産されたのがJ型である。J型の最大の特徴は、砲塔旋回用エンジンと発電機を撤去し200L容量の燃料タンクを増設することによって、H型における短所の一つだった航続距離の短さを改善したことである。J型は1944年2月から生産が始まり、翌1945年4月末までに3150両が造られた。この生産数はIV号シリーズ最多を意味する。J型においても生産中に多くの改良が加えられていったが、それらのいくつかは生産性向上のための簡略化だった。生産数の多さはそうした徹底した簡略化のおかげである。生産性の良さは兵器にとって重要なファクターであり、簡略化といっても性能低下を意味するものではない。むしろ、J型では砲塔前面/側面のクラッペの廃止、ベンチレーターカバーの強化、機関室上面の装甲板の増厚といった防御面の改善や近接防御兵器の装備など兵器としての進化が見られる。



最終期生産車の一部の車両では、ブレーキ点検ハッチの吸気口を廃止し、そこに取っ手が付く。



シュルツェン支持架の組み立て、取り付けは慎重に。常時仮組みしながら行うこと。

加工しやすいエッチングを活かし、フロントフェンダーはダメージを受けた状態に。



砲塔前面のクラブは生産途中で溶接止められ、さらに最後期生産車では廃止されている。キューボウのハッチがスライド回転式になっていることがJ型の特徴。

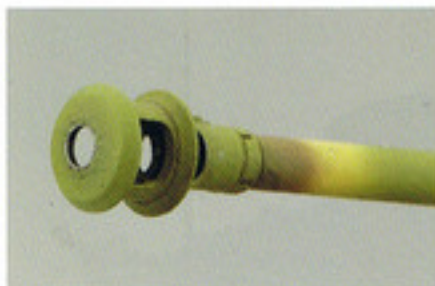
J型においても生産時期によって、その姿が細かく変化しています。今回の作例は、J後期型で金網式シュルツェン「トーマシールド」を装備した車両を再現しました。後期型といえば、ドラゴンモデルのキットが存在しますが、同社初期のキットで少々手が掛かりますから、タミヤの傑作キットであるJ初期型を使用しました。

ところで、カール等の自走砲を除いて、通常

の戦車キットの中で一番多くディテールアップパーツを使えるのは、ティーガーではなくパンターでもなく、IV号戦車長砲身型です。編集部から「今回は改造の上、ハードディテールアップで。それで必要なパーツは？」とのこと。半ば冗談半分で考えられるだけのパーツリストを示したら、後日どっさりとパーツの束が届きました。うーん恐るべし編集部……(泣)。

使用した主なパーツは次の通りです。

- トライスター1/35『ドイツIV号系車両ホイールセット』(品番35014)
- アベール エッチング製ディテールパーツ『Pz.Kpfw.IV, Ausf.J』(品番35013)
- アベール エッチング製フェンダー『Fenders for Pz.Kpfw.IV』(品番35A09)
- アベール エッチング製砲塔シュルツェン『Turret skirts for Pz.Kpfw.IV』(品番35A06)



金網状シュルツェン「トーマシールド」はエッチングで再現。素材が柔らかいので、変形など取り扱いに注意。



○アベール エッチング製車体側面シュルツェン「Side mesh screens "Thoma Schild" for Panzer IV, Ausf. J, StuG. IV-late, Jagdpanzer IV/70(A)」(品番35A66)

○アベール 金属製砲身「German 75mm Barrel for KwK40 L/48 with late model muzzle brake for Pz.Kpfw. IV Ausf. J late-J final」(品番35L48)

○アベール エッチング製OVM取り付け器具

「German clasps & clamps」(品番35A93)

○アドラズネスト 金属製銃身「MG34(後期型) 7.92mm車載機銃銃身」(品番ANM-35005)

○モデルカステン 連結履帯「IV号戦車後期型タイプA」(SK-17)

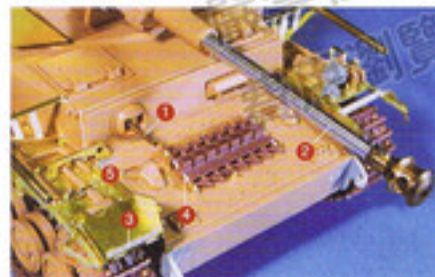
○ブレイブモデル「極小スプリングA-1」

○パーフェクトメタルSR 真ちゅう製アンテ

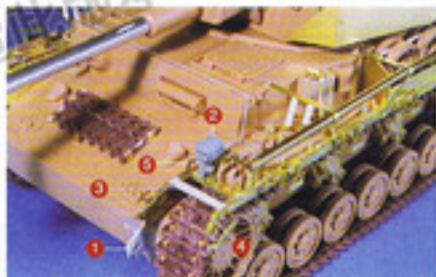
ナ「ドイツ2mアンテナセット(5本入り)」(品番35024SR)

○ファインモールド 「ドイツ軍戦車用ペリスコープセット2」(品番MG-09)

IV号J後期型は、車間によってその仕様になりバラつきがあります。作例はあくまでもその一例です。製作する際はディテールを十分チェックしてください。



1: アドラーズネストの金属製銃身。2: アペールの金属製銃身。3: フロントマッドガードの裏側のヒンジを作製。4: 予備履帯の連結ピンを追加。5: 最終期生産車では取っ手に変更される。



1: 牽引ホルドをプラバンで作製。2: ボッシュライトはドラゴンのパーツ使用。3: フェンダー内側の支持架はプラバンで作製。4: ボルトの取り付け穴を開孔。5: ライトコード追加。



1: 上部固定具は上端より少し下にずらして装着。2: 写真とは異なったアタッチメントも見られる。3: 小は0.4mm径丸棒、大は0.5mm径の六角棒の横切りでボルトを追加。



1: 支持架下部の取り付け位置が異なるので、スチール部分をプラバンで自作し調整。2: 手続アンテナは伸ばしランナーで作製。3: 溶接跡をプラペーパーで追加。



1: 吊り上げフックは削って形状を修整。2: 防盾の機銃スリプはドラゴンのパーツ流用。3: 最終期生産車では前面のクラブを廃止した車体もある。



1: キューボラ周囲の防弾板はプラバンで作製。2: 砲塔の溶接跡をプラペーパーで追加。3: 防弾板の支持架用切り欠きの位置はアペールのエッチングは間違い。4: 雨トイの補強板はない。

■製作

まず、上部転輪を片側4個から3個に変更します。キットの上部転輪基部を削り取り、トリスターのホイールセットに含まれている基部のパーツを付け直します。その際、削り取る前に基部のラインを車体側に引いておき、付け直した基部の位置が上下にズレてしまわないように注意しましょう。サスペンション等はト

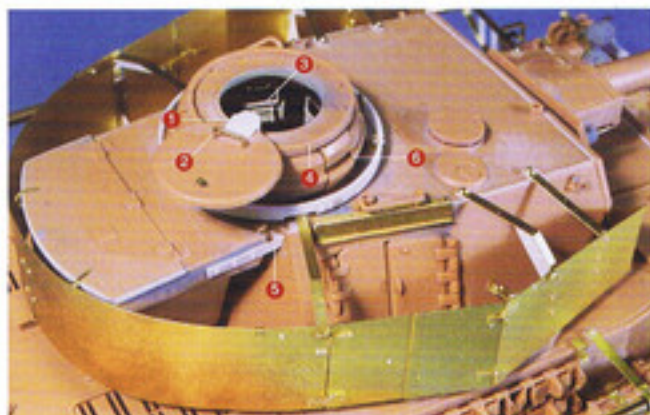
リスターのパーツに変更。ただし、下部転輪は好みからタミヤのパーツをそのまま使いました。

車体前部の牽引用ホルドは、側面板に一体成型されたものになっています。そこで、実車写真を参考にプラバンで作成。車体後部の形状が変更された牽引装置も同様に作り替えました。

細部のディテールアップは前述のアペールの

エッチングパーツを使用。ただ、アペールのIV号J型用エッチングパーツ(35013)は、同社の比較初期の製品で、OVM固定用のクランプがかなり大きいので、その部分は同社のクランプセット(35A93)を使っています。

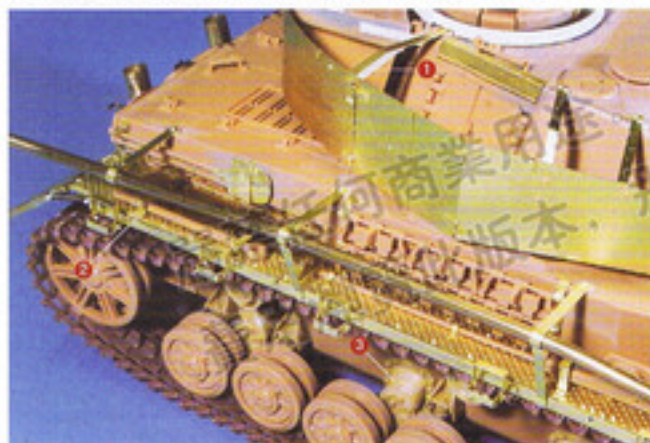
J後期型の特徴である簡型マフラーも同エッチングパーツ(35013)に付属しているもの。平面のパーツを焼きなまして筒状にハンダ付け。フィンの取り付けは、底の部分にエボキシ



1:ハッチ基部をプラバンで作製。2:取っ手を真ちゅう線で作。3:ビジョンブロックはファインモールドのパーツ。4:キューボラ上部に水抜き穴を開く。5:ゲベックカステン取り付け板をプラバンで作製。6:塗装後、視察孔内に透明プラバンを張った。



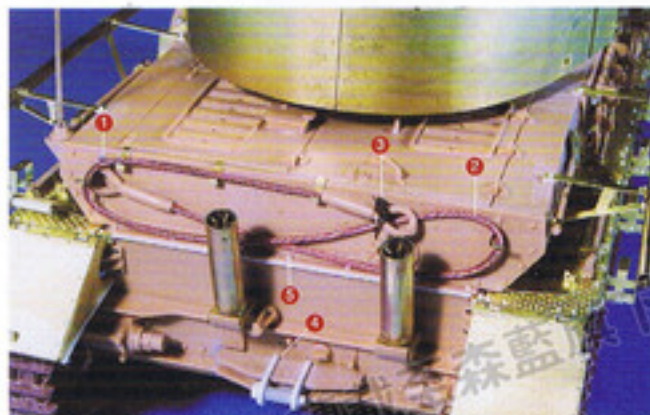
1:リアマッドガードの固定スプリングはブレイブモデルの極小スプリング使用。2:アンテナはパーフェクトメタルSRのパーツを使用。3:手前転輪ラックの固定シャフトはプラ棒で作製。



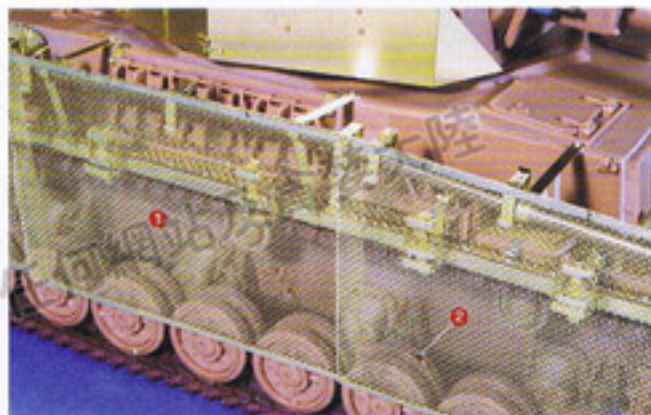
1:支持架の角度を変更し、ステーをプラバンで作。2:車載工具などの留め具はアペールのエッチングパーツを使用。3:サスペンションはトリスターのIV号転輪セットより。



1:排気口グリルの一番前の量は切り詰めてサイズ調整。2:排気管は斜めになるように取り付ける。3:排気管ステーをプラバンで作製。



1:牽引ワイヤー取り付け具はプラバンで作製。2:カラヤの0.9mm径金属ワイヤー使用。3:チェーンはビットロードの極細チェーン。4:牽引ホルダーはプラバンで作。5:ボルトを追加。



1:トーマシールドはアペールのエッチングセットを使って再現。2:被弾・ダメージ跡を表現した。

バテを詰め、フィンのパーツを突き刺しながら位置の調節を行いました。

砲塔の車長キューボラ周囲の防弾板は、プラバンを加工して作り直しました。このパーツはアペールのエッチングセットにも付属していますが、実車はある程度厚みがあるので、サイズのみそのパーツを参考にして作成しています。

砲塔シュルツェンの取り付けは、結構大変です。取り付けは、まず後部の2枚をキットパー

ツのカーブに合わせて加工。次にそのシュルツェン・パーツに前側の支持架を接合し、砲塔に取り付けます。ただし、その支持架はそのまま相対と少し山形になりますが、Ⅲ号と違い、Ⅳ号の場合は水平ですから、支持架の内側のステーを作り直して修正しておきます。後部のシュルツェンの取り付けが終わったら、側面のドア部分をプラバン等で後部に仮止めし、前部のシュルツェンをドアの位置に合うように装

着。最後にドアのヒンジ部を付けて完成させました。

さて、最大の難関が車体側面の金網状シュルツェン「トーマシールド」です。これはかなりの根性と忍耐力を必要とします。シールド側の取り付け部と、車体側が合うかを常に確認しながら組んで行かなければなりません。また、メッシュの部分がかかなり柔らかく脆く出ており、一旦、面の両側に瞬間接着剤が付いてしま



履帯はモデルカステンのIV号戦車後期型タイプに変更。



H型～J型において車体後面のレイアウトも大きく変わっている。



筒状の排気管、大型牽引ホルドは後期生産車の特徴。

うときれいに剥がすことは極めて困難。そのため、シールド外側に取り付けのパーツは、必ず内側のすべてのパーツの位置が確定してから接着することをおすすめします。

■塗装

パターンが比較的大きめの後期3色迷彩です。IV号戦車といえば、ダークイエローベースの印象が強いのですが、J型後期の実車写真

には、基本色がグリーン系になっているような車両があります。そこで、今回はダークグリーンをベースとしました。

ダークグリーンはタミヤのアクリルカラーのXF58オリーブグリーンにホワイト、グレー等で明度を上げています。レッドブラウンはXF64レッドブラウン+XF59デザートイエローと少量のブルー。ダークイエローはXF59デザートイエローに等量のXF2フラットホワイ

トを混ぜた色で塗装しました。今回は、大戦末期の車両として、通常よりも若干暗めに調色しています。

エナメル系でウォッシング、細部の塗装、チッピング等をした後、一旦ツヤ消しクリアーを吹きます。その後、パステル類でウェザリングと光沢部分の塗装を行い、別に塗装していたトーマシールドを車体に装着。最後に、その接合箇所等をリタッチして仕上げました。



イギリス・ボービントン戦車博物館に展示されているIV号D型の長砲身型。

百戦錬磨のワークホース IV号戦車長砲身型 THE Panzerkampfwagen IV with a long gun



写真家・撮影：ゲオルグ・パドストリュー、遠藤真樹
翻訳：カズミ・スラウ・スクルスキ
Photos by George Papadimitriou, Masatsugu Shiwa
Special thanks to Przemysław Skuśki

The detail photos of the IV Ausf. D & H

戦車博物館のIV号戦車長砲身型

IV号戦車D型長砲身改修型



主砲は24口径長砲身7.5cm KwK37から43口径長砲身7.5cm KwK40に換装。



車体前面側面には増加装甲板を装着。



砲塔にはシュルツェンを装着。



車体前部上面。



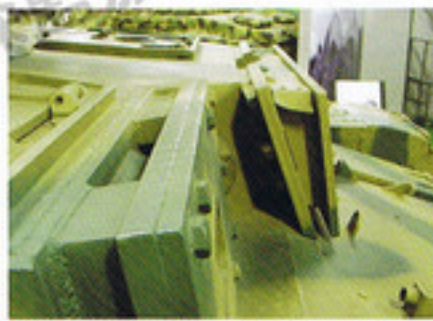
左側フェンダーの前部内側。フロントマッドガード固定用の小スプリングは欠損。



車体前面。主砲防護の駐退器カバー右にはアンテナ除けが装着されている。



車体前面左側の操縦手室前面の増加装甲板(30mm厚)。車体上部前面の増加装甲板の取り付け方がよく分かる。





車体前部右側に配されている無線手携器用クラブ。



右フェンダー前部。弁やクランクの留め具が付いている。



右フェンダー上には予備短棒の留め具、アンテナケースの下にはストップの留め具を配置。



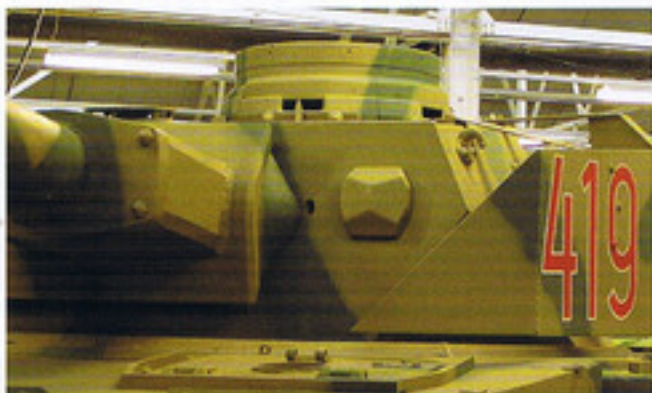
車体右側面に設置されたアンテナケース。



車体左側面には予備輪ロックを設置。



車体右後部。



砲塔右後部のシュルツェン。



砲塔側面(右側)ハッチの内側。



砲塔右後部。



車体後部。



駆動輪内側やダンパー、サスペンションマウントなどが分かる。

IV号戦車H型



スイス、ツーンの戦車博物館に展示されているIV号H型中期生産車。パーツの欠損が多く、転輪の一部はIII号戦車のものを装着、また上部転輪、履帯もオリジナルとは異なっている。



セルビア、モンテネグロの首都ベオグラードにある軍事博物館に展示されているIV号H型前期生産車。こちらの車両も多くのパーツが欠損している。



車体前部左側。フロントマッドガードの固定スプリングなどが損壊している。



車体左側のフロントマッドガード。写真のダークグリーンは車体はスペイン、ゴロン装甲博物館の展示車。



左フェンダー前部のボッシュ・ライト。



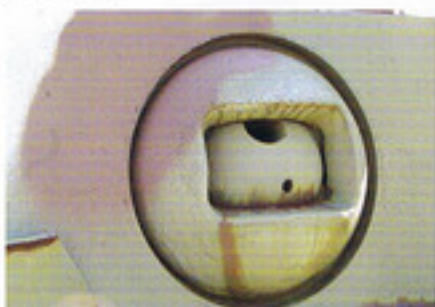
操縦手視察孔。



操縦手視察孔の装甲パイザーを隠した状態。



操縦手ハッチを開けた状態。



無線手室前面のMGボールマウント。内部のマウントが90°回った状態になっている。



MGマウント。向かって右はMG34の銃身用開口部。左は照準孔。



車体上部前方左側面。1943年6月以降の生産車からは操縦手/無線手用クラブが廃止された。



車体左側面の予備転輪ラック。



車体後部左側面の排気グリル。前方より見る。



車体後部右側面の排気グリル。後方より見る。



車体後面。



後面中央下部。牽引用ピンと冷却水排水口のキャップ、マフラーなどが欠損。



後面左側の牽引ソック。



後面右上部に設置された冷却ファン接続解除用ハッチ。



車体後面右側。



後面下部の誘導輪取り付け部/履帯テンション調整装置。



駆送器カバーと防護。



KwK40のマズルブレーキ。



主砲基部の駆送器カバー。



砲塔前面左には主砲照準口と砲手用クラッチを配置。



砲手用クラッチを開けた状態。照準口は用トイなし。



砲塔左側面のハッチ。



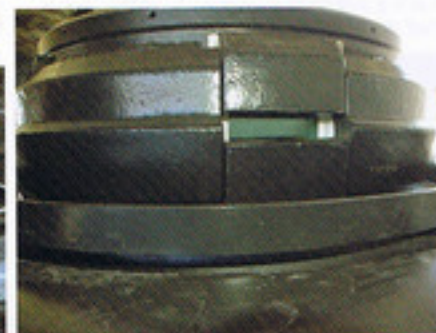
砲塔右側面のハッチ。



砲塔右側面の前部ハッチ。



砲塔上面の車長用キューポラ。



キューポラの視察孔。



キューボラ上面。



砲塔左後部のシュルツェン部。



砲塔後部のゲバツカステンとその固定板。



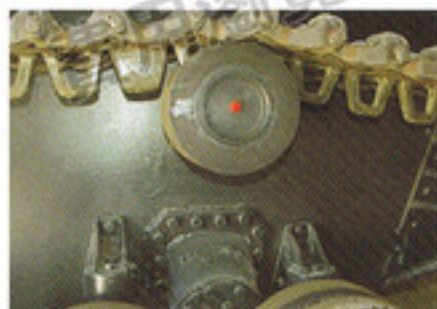
フランクフルト展示車の砲塔後部。後部左側にピストルポートが付いているH初期生産車の砲塔を撮影。



駆動輪付近。履帯、上部転輪はオリジナルではない。



ボギー式サスペンションと転輪。



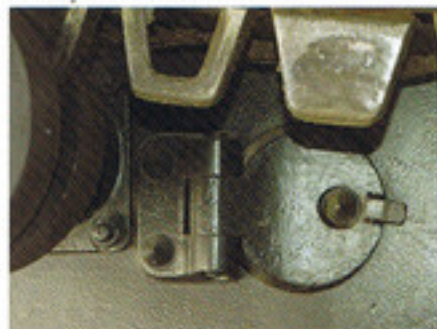
ゴムリム付き上部転輪。1943年10月からの生産車はゴムなし鋼製タイプに変更された。



浴槽構造の誘導輪。同じく1943年10月以降は鋳造式の誘導輪が導入される。



ボギーサスペンションのマウント。



車体下部側面の燃料給油口のハッチ。



車体下底。



板バネ式ボギーサスペンションの裏側



車体前部上面のブレーキ点検ハッチを開けた状態。写真は車体左側。



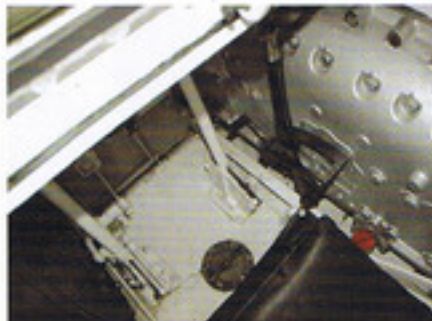
ハッチを開け隣接手帳を見たところ。



隣接室の前面。視察装置が見える。



トランスミッションと左側ブレーキユニット、換向レバーの上部が見える。



操縦手席の足下。



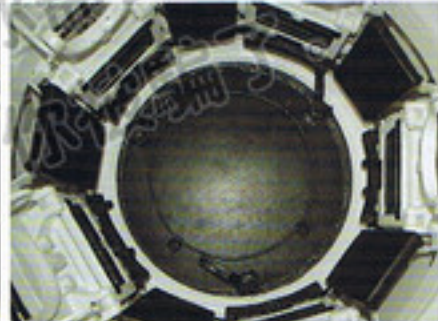
トランスミッションカバー。



トランスミッションカバーの上に設置された計器類。



操縦席後方の前部砲弾ラック。



車長用キューボラ内部を下から見たところ。



砲塔内部の前面。



砲塔前方の天板にはベンチレーターを設置。



砲塔内左前部。砲手用照準器は取り外されている。



砲塔内左前部の上方。



砲塔内左側。内部写真はすべてゴロッソ博物館展示車のもの。戦後もしばらくスペイン陸軍が使用していたため、状態は極めて良好。



砲塔右側に設置された主砲俯仰ハンドルと砲塔旋回ハンドル。



砲塔左側に配された砲手席。



砲塔後部に設置された車長席。



砲塔後壁に設けられた車長用ヘッドレスト。



1/72 AAV7A1 水陸両用戦車 (30型) ■インジェクションキット ■価格1575円 ■クレール、ウィンタなどを新規パーツで追加しAAV7の回収車高型を再現する。



1/72 Sd.Kfz.251/10 Ausf.C 3.7cm 対戦車自走砲 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■新規に開発した3.7cm PaKを追加し251/10を再現。砲塔はエッチング。



1/72 M4A3 シャーマン 105mm HVSS ■インジェクションキット ■価格1575円 ■フォーストエイドボックスを新規に追加しHVSSサスの105mm砲塔型M4A3を再現。



1/72 M4A3E8(76)W シャーマン ■インジェクションキット ■価格1575円 ■砲塔下部、HVSSサス、76mmHVSS砲塔などを新規開発し、シーダーエイトを完全再現。



1/72 SU-100 対戦車砲 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■1/35に続き1/72でもSU-100がラインナップ。各パッチが簡易塗装可能な内容も十分。



1/72 T-34/76 Mod.1943 ■インジェクションキット ■価格1575円 ■砲塔とエンジンボックスを新規追加し、6月版のMod.1943を再現する。



1/48 メッサーシュミットMe262 ■インジェクションキット ■価格3125円 ■ドイツライスター製品に計画に再現されたエンジンが特徴。デカールはカポグラフィ。



1/48 ユンカースJu88A-6 w/バルーンカッター ■インジェクションキット ■価格4350円 ■砲塔を排除用局のケーブルカッターを装備したタイプを再現。エッチングも付属。



1/144 USMC AV-8B ハリアーII (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1145円 ■アメリカ海兵隊のAV-8B ハリアーIIを再現。レドーム、パイロンなどを新規追加。



1/144 A-6E イントルーダー VMA(A) W/533ナイトローグVA-115イーグルス (2機セット) ■インジェクションキット ■価格1145円 ■1991年の湾岸戦争に参加したイントルーダーを再現するセット。



1/700 U.S.S. ボンホーム リチャード CV-31 コリアンウォー ■インジェクションキット ■価格4095円 ■朝鮮戦争時のエセックス級空母を再現。F9Fパンサーなどジェット戦闘機も付属。



1/144 EA-18G グローラー w/キャリアデッキ ■インジェクションキット ■価格1575円 ■新規パーツで電子戦機G型を再現するほか、空母甲板、牽引車、フィギュアなども付属。



1/72 A-6E イントルーダー ■インジェクションキット ■価格1145円 ■1991年の湾岸戦争に参加したイントルーダーを再現するセット。



1/700 U.S.S. ボンホーム リチャード CV-31 コリアンウォー ■インジェクションキット ■価格4095円 ■朝鮮戦争時のエセックス級空母を再現。F9Fパンサーなどジェット戦闘機も付属。



1/144 EA-18G グローラー w/キャリアデッキ ■インジェクションキット ■価格1575円 ■新規パーツで電子戦機G型を再現するほか、空母甲板、牽引車、フィギュアなども付属。

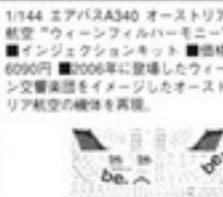


1/72 Sd.Kfz.165 パンzer (後期型) ■インジェクションキット ■価格2520円 ■15cm対戦車砲の181をIII号車に搭載。車体前部を拡張した後期型を再現。

■レベル ○ハセガワ



1/144 アブロRJ85 "ユーロウィング" ■インジェクションキット ■価格3150円 ■1992年にA340が開始した85人乗りの4発対空機ジェット機。デカールは2種類。



1/72 F-16 ファイティングファルコン ■インジェクションキット ■価格4830円



1/72 F-16 ファイティングファルコン ■インジェクションキット ■価格4830円



1/72 スピットファイア Mk.Vc "ジェン111" 79th スコードロン ■完成品 ■価格3990円

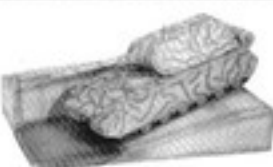
■ドラゴンウイングスウォーパズ ○ハセガワ



■ドラゴンアーモリー ○ハセガワ



1/72 T-34/76
Mod. 1942 鉄
道砲塔 レニン
グランド戦線
1943 ■完成品
■価格2079円



1/72 ドイツ
重戦車マウス
クマースドルフ
“進行実験” ■
完成品 ■価格
3570円



1/72 Sd.Kfz. 251
Ausf. D 鉄
甲工兵車 第19
装甲師団 “フル
シャフ”1944 ■
完成品 ■価格
2415円



1/72
M4A1(76)Wシ
ャーマン 第1
戦車師団 第2
戦車大隊 オランダ
1944 ■完成品
■価格2079円

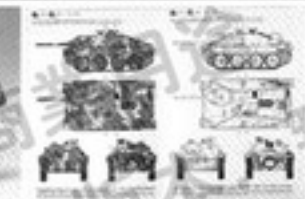


1/72 Sd.Kfz. 161
タイガー I ハ
イブリッド 第5
SS重戦車大隊
アルデンズ194
4 ■完成品 ■
価格2415円



1/72 Sd.Kfz. 251
Ausf. C 8cm
自走迫撃砲 (リ
ベットタイプ)
東部戦線1942
■完成品 ■価
格2415円

■タミヤ ○タミヤ



■トランペッター ○インター・ライト



1/100 ノースアメリカンF-100Dスーパーセイバー ■
インジェクションキット ■価格1万6800円 ■世界
初の実用超音速ジェット戦闘機。エンジン完全再
現。ドローも付属する。

1/32 P-47Dサンダーボルト “レーザーバック” ■
インジェクションキット ■価格1万2600円 ■ハセ
ガワに続いてラジエーターのP-47が登場。こち
らはレーザーバック型をモデル化。

1/48 MG-3 初期型 ■インジェクションキット ■価格
2940円 ■1/32でリリース済みのMG-3が1/48でも登場。
機銃装備の初期型をモデル化。8月予定。

1/72 ウェリントンMK.IC ■インジェクションキット ■
価格3780円 ■1/48で好評のウェリントンが1/72
になって最終の量産型MK.ICが新登場。8月予定。

1/35 USMAC LAV-600車両回収車 ■インジェク
ションキット ■価格3780円 ■実車同様のM1126スト
ライカーベースのバリエーションの車両回収車。8
月中旬予定。



1/72 F-100Dサンダーボルト ■インジェクションキ
ット ■価格2940円 ■1/32で好評のF-100D
“サット”が手ごろな1/72になってリリース。8月予定。

1/35 4号戦車搭載 “ブリュッセル” “ガーゴイル” ■イン
ジェクションキット ■価格6200円 ■次なるIV号特殊車両シリ
ーズ22号のみ生産の野戦架橋戦車。展開状態は展開式。

1/35 M1126ストライカー アップグレードバ
ージョン ■エッチングパーツ ■価格2620円 ■
同社ストライカーにスラット装甲や車体装備
のディテールを追加する純正エッチング。

1/35 アメリカ陸軍 CH-47Dクルー＆乗員
乗員セット ■イン
ジェクションキット ■
価格2730円 ■同社の
CH-47Dチヌークにピ
ッタリの5体入りフィ
ギュアセット。後継機
は パーツもセット。

1/72 ドイツ軍 ス
トームタイガー
初期型 ■イン
ジェクションキ
ット ■価格1575
円 ■38cmロケ
ット砲装備のシ
ュウルムティ
ュー突撃戦車。
戦線が初期
型。8月予定。





1/72 ソビエト軍 T-34/76 1943年型 ■インジェクションキット ■価格1680円 ■6角砲塔の1943年型。キューポラはないタイプ。後部には典型燃料タンクを装備。



1/72 ソビエト軍 T-34/85 1944年型 ■インジェクションキット ■価格1680円 ■85mm砲塔の砲塔側面の平らな部分がなくリブなしスタイルを装備したタイプ。



1/350 ロシア海軍スラヴァ級「フリヤージュ」 ■インジェクションキット ■価格7140円 ■90年代初期に太平洋艦隊に登場。スラヴァ級ミサイル巡洋艦の3番艦。8月予定。



1/72 アメリカ海軍 ストライカーII ■インジェクションキット ■価格1575円 ■1/36で100%再現の最新型。さらに1/72でも登場。次生軍用にも対応。8月予定。



1/350 アメリカ海軍艦載機 F-4B (D) スーパーホーク (6機入) ■インジェクションキット ■価格893円



1/350 アメリカ海軍艦載機 F-4B (D) スーパーホーク (6機入) ■インジェクションキット ■価格893円



1/350 アメリカ海軍艦載機 F-4B (D) スーパーホーク (6機入) ■インジェクションキット ■価格893円



1/350 アメリカ海軍艦載機 F-4B (D) スーパーホーク (6機入) ■インジェクションキット ■価格893円



1/350 アメリカ海軍艦載機 F-4B (D) スーパーホーク (6機入) ■インジェクションキット ■価格893円



1/350 アメリカ海軍艦載機 C-2 グレイハウンド ■インジェクションキット ■価格893円

ホビーマスター



1/48 F2Aバッファロー「USFロングアイランド群島」 ■完成品 ■価格5250円



1/72 F6F-5Nヘルキャット「ナイトファイター」 ■完成品 ■価格3990円



1/72 F6F-3ヘルキャット「A・ブラッシュ」 ■完成品 ■価格3990円



1/72 Ju87D-2 ストゥカ「リビア1942年」 ■完成品 ■価格2940円



1/72 MG-21MF エジプト空軍 ■完成品 ■価格3990円



1/72 A-10A「D-DAY 50周年記念塗装」 ■完成品 ■価格6090円



1/72 F-104N 高速試験飛行チェイス機「NASA」飛行隊所属機 ■完成品 ■価格4200円



1/72 F-104N 高速試験飛行チェイス機「NASA」 ■完成品 ■価格3990円



1/72 A-10Aサンダーボルト「ビーナツ」 ■完成品 ■価格6090円



1/72 A-4Mスカイライダー「ラストスカイコップ」 ■完成品 ■価格4515円



1/72 F-4EファントムII「ドイツ海軍」 ■完成品 ■価格3570円



1/72 アヴェンジャーA-10A「イギリス海軍」 ■完成品 ■価格5040円



1/48 M4シャーマン(P) 第503重戦車大隊「フランス1944年」 ■完成品 ■価格4515円



1/48 IS-2スターリン「ベルリン1945年」 ■完成品 ■価格4620円



1/48 IS-2スターリン「人民解放軍」 ■完成品 ■価格4620円



1/72 KV-2重戦車 ■完成品 ■価格2730円



1/72 KV-2重戦車「エクスプレス」 ■完成品 ■価格2730円



1/72 KV-2重戦車「エクスプレス」 ■完成品 ■価格2730円



1/72 クロムウェルMk.IV巡航戦車「第7機甲師団」 ■完成品 ■価格2730円



1/72 センターMk.IV巡航戦車「ノルマンディ」 ■完成品 ■価格2730円

■ イージーモデル ○ インターアライド



1/72 CH-46F "フライングタイガース" ■完成品 ■価格1890円



1/72 CH-46F "Too Cool" ■完成品 ■価格1890円



1/72 CH-46F "大統領専用機" 1970年 ■完成品 ■価格1890円



1/72 UH-60 "サンドホーク" ■完成品 ■価格1890円



1/72 UH-60 "ミッドナイトブルー" ■完成品 ■価格1890円



1/72 ロシア陸軍 T-34/76 1942年 ■完成品 ■価格1575円



1/72 ドイツ陸軍 T-34/76 1943年 ■完成品 ■価格1575円



1/72 KV-2 内行量産型 ■完成品 ■価格1575円



1/72 KV-2 車体型 ■完成品 ■価格1575円



1/72 KV-2 車体型 ■完成品 ■価格1575円



1/72 KV-2 56戦車大隊型 ■完成品 ■価格1575円



1/72 KV-2 56戦車大隊型 ■完成品 ■価格1575円

■ エデュアルド 1:48 スケール



1/48 Avia B-534 IV型 ■インジェクションキャスト ■価格4095円 ■チェコ空軍の優秀な戦闘機。オープントップのB-534型に続き、改良型のIV型が登場。



1/35 パンサー0型戦車後部 (ドラゴン用) ■BIG ED ■エッチングパーツ ■価格7087円 ■本セットには、転写マスク、コーティングも同梱。

BIG ED

- 132 BF109-G カラースセット (シセガワ用) ■エッチングパーツ ■価格11877円
- 148 Fw190A-5 (エデュアルド用) ■エッチングパーツ ■価格5832円
- 148 Fw190A-5 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格7587円

エッチング

- 135 USS 885-55 ノースカロライナ (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格7875円
- 135 センチュリオン Mk.52 105mm 砲搭載型 NATO仕様 (AFVクラブ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 135 キューベルワーゲン タイプ2 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格2782円
- 135 パンサーA型戦車 後部 フィールド (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格2362円
- 135 センチュリオン Mk.52 105mm 砲搭載型 NATO仕様 (AFVクラブ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 135 WWI ドイツ ロケットランチャー WGW40 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3937円
- 148 GAZ-67 トラック (シセガワ用) ■エッチングパーツ ■価格2362円
- 132 P-51D スタンピング機 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3937円
- 148 ウェリントン Mk.10 爆撃機 内装 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 148 ウェリントン Mk.10 爆撃機 外装 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 172 C-130A ハークリーズ 貨物機 (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 172 C-130A ハークリーズ シートベルト (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円

カラーエッチング

- 132 P-51D スタンピング機 内装 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3937円
- 132 P-51D スタンピング機 外装 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 148 AC4-A タンク 内装 (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3937円
- 148 ウェリントン Mk.10 爆撃機 内装 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 172 C-130A ハークリーズ 内装 (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 172 C-130A ハークリーズ 外装 (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 172 C-130A ハークリーズ シートベルト (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円

ミヤス

- 148 スター (スペシャルホビー用) ■エッチングパーツ ■価格3487円

カラーズ

- 148 AC4-A タンク 外装 (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3937円
- 148 ウェリントン Mk.10 爆撃機 外装 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 172 C-130A ハークリーズ 内装 (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 172 C-130A ハークリーズ 外装 (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円
- 172 C-130A ハークリーズ シートベルト (イタレリ用) ■エッチングパーツ ■価格3570円

■ ボイジャーモデル ○ サクセスモデルズ



1/35 WWII パンZER T-34/85 1944 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3570円



1/48 WWII 英軍 ウェリントン Mk.10 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格178375円



1/35 WWII ドイツ 自走砲 ディッカーマックス (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格5040円



1/35 WWII ソビエト SU-85M SU-100 自走砲 (ドラゴン用) ■エッチングパーツ ■価格3570円



1/35 WWII ドイツ タイガー I 戦車 砲台 (汎用) ■エッチングパーツ ■価格1680円



1/35 WWII ソビエト T-34 戦車 砲台 (汎用) ■エッチングパーツ ■価格2310円



1/35 WWIIドイツ 自走
砲ディッカーマックス
フェンダー・ランペッ
ター用 ■エッチング
パーツ ■価格2415円



1/35 WWIIソビエト
SU-85M SU-100用 フ
ェンダー (ドラゴン)
■エッチングパーツ ■
価格2310円



1/35 WWIIソビエト T-
34 85 JS-2 防弾グリル
仕様2 (汎用) ■エッ
チングパーツ ■価格
1680円



1/35 WWIIソビエト T-
34 85 JS-2 防弾グリル
仕様2 (汎用) ■エッ
チングパーツ ■価格
1680円



1/35 WWIIドイツ タイガーI エアークリー
ー後期型 (汎用) ■エッ
チングパーツ ■価格
1995円



1/35 WWIIドイツ タイガー
I 後期型 駆逐戦車 (ドラゴ
ン) ■エッチングパーツ
■価格1155円



1/35 WWIIソビエト 駆逐
戦車SU-85 (汎用) ■エ
ッチングパーツ ■価格
1470円



1/35 WWIIアメリカ M4
ハーフトラック 砲兵支援
(ドラゴン) ■エッチン
グパーツ ■価格1155円



1/35 WWIIアメリカ M4
ハーフトラック 砲兵支援
(ドラゴン) ■エッチン
グパーツ ■価格1155円



1/35 WWIIアメリカ M4
ハーフトラック 砲兵支援
(ドラゴン) ■エッチン
グパーツ ■価格1155円



1/35 WWIIアメリカ M4
ハーフトラック 砲兵支援
(ドラゴン) ■エッチン
グパーツ ■価格1155円

■ブロンズ ○バグマ

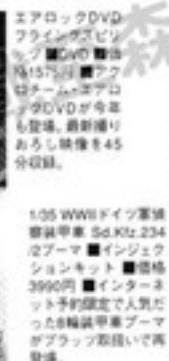


1/35 イギリス巡洋戦車 コメット用 可動キ
ャット ■インジェクション
■価格3675円 ■同社コメット用の純正履帯、PC
素材で履帯はめ込み式、予備の履帯もあり。

■ブラッズ ○ブラッ



1/144 局地戦闘機 零戦改 初期型 (2機セット) ■インジェク
ション ■価格1260円 ■機体安定性の面から広い初期型が登
場。豊野隊長はじめ有名マーキングをセット。



1/35 WWIIドイツ 重戦
車 虎 II (SU-85) 234
2 砲台 ■インジェク
ション ■価格3990円 ■イン
ターネット予約限定で人気
だった重戦車 虎 II が
ブラッズで再現して再
登場。

■ローデン ○バグマ



1/48 イギリスRAF製 B.E.2C 複葉機 偵察機 駆逐機
1916 ■インジェクション
■価格4095円 ■3200
機も量産されたWWII傑作複葉機。無骨な機体構造と
4枚プロペラが特徴。

■サイバーホビー ○ブラッ



1/35 WWIIドイツ 重戦
車 虎 II (SU-85) 234
2 砲台 ■インジェク
ション ■価格3990円 ■イン
ターネット予約限定で人気
だった重戦車 虎 II が
サイバーホビーで再現
して再登場。

1/16 大東亜戦争シリーズ第二弾 大日本帝国陸軍航空兵



※ 写真は完全彩色完成品です

1/16 大東亜戦争シリーズ第一弾 大日本帝国海軍搭乗員



- 組み立てキット 4,000円
- ブロンズ調完成品 15,000円
- 完全彩色完成品 19,800円

電話 0476-95-8077
FAX 0476-80-2727

Ishida Models

<http://www.abs-plaza.com/ishidamodel/>

■アイリス ○ビーパーコーポレーション

- 1/32 F-15Cイーグル コクピット後部 (タミヤ用) ■レジンキット ■価格3780円
- 1/48 スピットファイアF Mk.22 デテール (エアフィックス用) ■レジンキット ■価格5040円
- 1/48 F-104D スターファイター コクピット (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格2887円
- 1/48 B-58ハスター 排気ノズル (レベール/モノグラム用) ■レジンキット ■価格2887円
- 1/48 F-16C ファイティングファルコン コクピット (タミヤ用) ■レジンキット ■価格1627円
- 1/48 F-16C ファイティングファルコン レーダーアンテナ (タミヤ用) ■レジンキット ■価格1260円
- 1/72 Bf109G 操縦席 (ファインモールド用) ■レジンキット ■価格1050円
- 1/72 F-104S スターファイター 排気ノズル (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格1050円

■クイックブースト ○ビーパーコーポレーション

- 1/32 F4U コルセア 座席 (トランベッター用) ■レジンキット ■価格945円
- 1/32 F109H 機銃銃身 (ハセガワ/レベール用) ■レジンキット ■価格662円
- 1/48 Fw190A-7 上面翼スリットバタンク (エデュアルド用) ■レジンキット ■価格1260円
- 1/48 Fw190 機銃カバリー ■レジンキット ■価格662円
- 1/48 Bf109G 機銃銃身 ■レジンキット ■価格662円
- 1/48 Fw190A-8 機銃銃身 (タミヤ用) ■レジンキット ■価格662円
- 1/48 Bf109F 機銃銃身 (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格662円
- 1/48 ボーファイター 予備燃料タンク (タミヤ用) ■レジンキット ■価格662円
- 1/48 F4U-1 コルセア 機銃銃身 (タミヤ用) ■レジンキット ■価格945円
- 1/72 P-40M Nウォークマン 排気管 (アカデミー用) ■レジンキット ■価格525円
- 1/72 Bf109G 機銃銃身 ■レジンキット ■価格525円
- 1/72 Bf109G MG131 機銃銃身 ■レジンキット ■価格525円
- 1/72 P-48 プラックウード 機銃銃身 (ドラゴン用) ■レジンキット ■価格525円
- 1/72 F4U-1 コルセア エンジン (タミヤ/エデュアルド/レベール用) ■レジンキット ■価格945円
- 1/72 ボーファイター 機銃銃身 パート2 (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格525円
- 1/72 TBM-1A アヴェンジャー 排気ノズル (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格945円
- 1/72 P-47 サンダーボルト 翼カバリー (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格662円

■ウィング&ホイールパブリケーションズ ○ビーパーコーポレーション

- CH-47 チヌーク 機銃銃身 ■価格4357円 ■アメリカをはじめ日本を含む各国で採用される大型汎用ヘリのディテール
- 各機種の機銃銃身 ■価格9528円 ■英コスフォークランド諸島に駐留する陸軍機体のディテール写真を多数掲載

■スーパースケール ○ビーパーコーポレーション

- 1/48 F9Fパンサー ATU-206 (トランベッター用) ■デカール ■価格1260円
- 1/48 F1A-18C ホーネット VFA-192 CAG. 2007 (ハセガワ用) ■デカール ■価格1260円
- 1/48 F1A-18A/C ホーネット VFA-33 USS アメリカ 1983 (ハセガワ用) ■デカール ■価格1260円
- 1/48 F-14A トムキャット VF-33 USS アメリカ 1983 (ハセガワ用) ■デカール ■価格1260円
- 1/48 P-51D ムスタング 311th FS 525th FS 348th FG Coss (タミヤ用) ■デカール ■価格1260円
- 1/48 P-38L ライトニング 7th 49th FS 49th FG (ハセガワ用) ■デカール ■価格1260円
- 1/48 P-51B ムスタング 362nd FS 357th FG (タミヤ/アカデミー用) ■デカール ■価格1260円
- 1/48 Bf109G 6/JG26 8/JG53 6/JG52 バルボイブリッテン (タミヤ/ハセガワ用) ■デカール ■価格1260円

■トゥーボブス ○ビーパーコーポレーション

- 1/32 F-16C ファイティングファルコン クラウドス オールマイティ ヴァイパー (タミヤ/ハセガワ用) ■デカール ■価格1627円
- 1/48 A-4F スカイホーク グッド ガイズ コーンバッド (ハセガワ用) ■デカール ■価格1627円
- 1/48 F-15E ストライクイーグル トゥーゴール フォース スクールのマッドヘンズ (ハセガワ用) ■デカール ■価格1627円
- 1/48 F-16C ファイティングファルコン トゥーゴール フォース スクールのヴァイパーズ (タミヤ/ハセガワ用) ■デカール ■価格1627円
- 1/48 A-10A サンダーボルト トゥーゴール フォース スクールのウェストホブス (タミヤ/ハセガワ用) ■デカール ■価格1627円
- 1/48 F-16C ファイティングファルコン トゥーゴール フォース スクールのマッドヘンズ 60周年記念 (タミヤ/ハセガワ用) ■デカール ■価格1627円
- 1/48 F1A-18C ホーネット トゥーゴール フォース スクールのマッドヘンズ 60周年記念 (ハセガワ用) ■デカール ■価格1627円
- 1/72 F-117A ナイトホーク 25th シルバー アニバーサリー パンティッシュ (ハセガワ/イタレリ/アカデミー/エアフィックス用) ■デカール ■価格1627円

■CMK ○ビーパーコーポレーション

- 1/35 マーダー-III 自走砲 トランスミッション (タミヤ用) ■レジンキット ■価格1627円
- 1/72 パンサー-A/D 型戦車 エンジン (レベール用) ■レジンキット ■価格2310円
- 1/72 パンサー-A/D 型戦車 砲塔内装 (レベール用) ■レジンキット ■価格2310円
- 1/72 パンサー-A/D 型戦車 運転室内装 (レベール用) ■レジンキット ■価格1680円
- 1/72 パンサー-A/D 型戦車 サスペンションアーム (レベール用) ■レジンキット ■価格525円

JAS-39 Gripen



- 1/72 パンサー-A/D 型戦車 ホイール (レベール用) ■レジンキット ■価格997円
- 1/32 電機二重砲 (タミヤ用) ■レジンキット ■価格997円
- 1/48 KM 1 ミサイル クラッシュシート MG-21 (MG 20) ■レジンキット ■価格493円
- 1/48 マーチンP5M マーチンP5M イジェクシオンシート (3Aa ライトニング用) ■レジンキット ■価格493円
- 1/48 マーチンP5M マーチンP5M イジェクシオンシート (F-104用) ■レジンキット ■価格493円
- 1/35 ロシア軍ヘリコプター バイロット 3A-24 (用) ■レジンキット ■価格2572円

JAS-39C グリペン マルチロールファイター ■書籍 ■価格3150円 ■スウェーデン製最新鋭戦闘機の形式や使用国のマーキングなどを全て解説

■アヴィオニクス ○ビーパーコーポレーション



- 1/48 F-14B トムキャット コクピット (ハセガワ用) ■レジンキット ■価格4777円

■ジントラック ○ビーパーコーポレーション



- マーチンP5M マーチンP5M ■書籍 ■価格4882円 ■60年代の米海軍や沿岸警備隊で活動した対潜哨戒機飛行艇を解説

■スコードロン/シグナル ○ビーパーコーポレーション



- インアクション 日本海軍重巡洋艦 ■書籍 ■価格1575円 ■古戦型から利根型まで、太平洋戦争に参加した帝国海軍重巡洋艦をまとめた1冊。
- アメリカ海軍航空隊 第4戦闘航空隊 ■書籍 ■価格2100円 ■太平洋戦争の最前線「イグル スコードロン」から第8航空隊下までの活躍を解説。
- U.S. Nuclear Attack Subs ■書籍 ■価格1795円 ■ロサンゼルス級、シーフロッグ級、最新のヴァージニア級などを大断面すべてを解説。



- ウォークアラウンド スクオア Su-27 フランカー ■書籍 ■価格2310円 ■ロシア空軍用戦闘機の機体各部ディテール写真を多数掲載。



1/35 シュバルムタイガー インテリア内
部パーツセット ■価格3780円 ■ス
カイボー成製の車体とレジン
ヤンジェクションの内部パーツを
セットした内容。



1/35 Sd.Kfz.251/17 コマンドバージョン
■インジェクションキット ■価格3780
円 ■対空車両バージョンからFlak38を
取り取り直装甲車としたタイプを再現。
装甲車タイプが登場。8月下旬予定。



1/35 M113 ストライカーコマンドビー
ル ■インジェクションキット ■価格3990
円 ■ストライカーの派生型1種は民間経
理装甲車タイプが登場。8月下旬予定。



1/35 M1126 ICV ストライカー用 M151
リモートウェポンステーション ■イン
ジェクションキット ■価格1050円 ■ス
トライカー用のM151 RWSが別売。武器は
機銃とグレネードランチャーの選択式。



1/35 M5A1軽戦車 ■インジェクション
キット ■価格3780円 ■車体もM5A1の
に変更したアメリカ陸軍軽戦車。初期型を
再現。8月下旬予定。



1/35 西ドイツ陸軍 M41G軽戦車 ■イン
ジェクションキット ■価格3780円 ■ス
カイボー成製のM41にパーツを追加し西
ドイツ陸軍バージョンのG型を再現。



1/35 イスラエル陸軍 センチュリオンM50
日戦車ver. ■インジェクションキット ■
価格3990円 ■1967年式の中戦車として
採用したイスラエル陸軍戦車。8月下旬
予定。



1/35 AG35017 PHOTO ETCHED WESH FOR
TOMCAT PRO IAP 551100
■インジェクションキット ■価格1050
円 ■F-14の派生型として開発された
オランダの歩兵戦車M41GPR16A
キット用の純正エッチング。



1/100 MIG-25 ■インジェクションキット
■価格1050円 ■1970年代に開発され
30年以上が経過。このキットで当時
に思いを馳せよう。



1/100 F-14A ■インジェクションキット ■
価格1050円 ■“世界最強戦闘機”と謳わ
れたトムキャットも全機退役。戦闘機の栄光を
振り返ろう。

■ゴールドメダル ○G81クレオス



1/350 WWII 海軍 駆逐艦バグレイ
■エッチングパーツ ■価格4725円



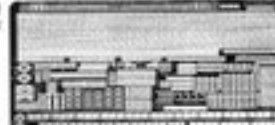
1/400 英海軍 駆逐艦ウィーンメリー2号
■エッチングパーツ ■価格175290円



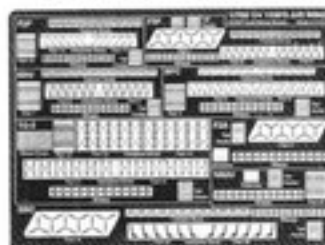
1/700 英海軍 駆逐艦
威風凛々 F-14, A-7, A-
6, S-3など ■エッチ
ングパーツ ■価格2625円



1/700 WWII 海軍 空母
サラトガ ■エッチングパ
ーツ ■価格3255円



1/700 英海軍 駆逐艦
威風凛々 F-14, A-7, A-
6, S-3など ■エッチ
ングパーツ ■価格4725円

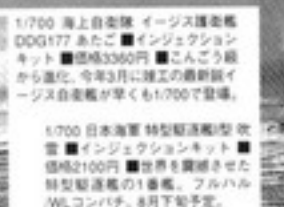


1/700 1930年
代米海軍 駆
逐艦 F2A,
F3F, BFC,
SBO, SBUな
ど ■エッチ
ングパーツ ■
価格1890円

■ビットロード ○ビットロード



1/700 海上自衛隊 イージス艦
DDG177 みたこ ■インジェクション
キット ■価格3360円 ■こんごう級
から進化。今年3月に竣工の最新鋭イ
ージス艦が早くも1/700で登場。



1/700 日本海軍 特型駆逐艦 改
造 ■インジェクションキット ■
価格2100円 ■世界を震撼させた
特型駆逐艦の1番艦。フルハル
JWLコンパチ。8月下旬予定。



Just like having a good friend in Tokyo!

Plastic models, toys, figures and more,
all shipped direct from Japan
to anywhere in the world!

Shop our online database of
16,000+ products and end all
that fruitless searching for hard-
to-find Japanese hobby items,
and paying inflated import
dealer prices! Your hobby life
will never be the same!

HobbyLink
Japan
www.hlj.com

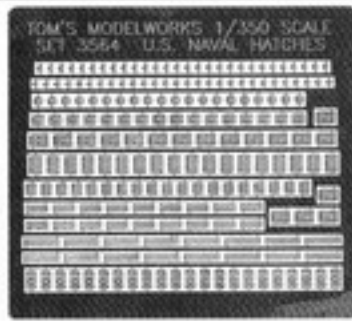
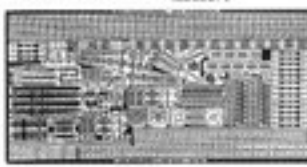
■トムモデル ○ビートルド



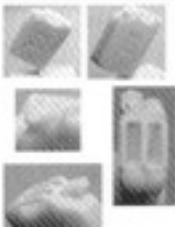
1/350 WWII米海軍
艦艇用ドアーハッチ
■エッチングパーツ ■価
格2625円

1/350 日本海軍駆逐艦
雪風(竣工/最終
時)用 ■エッチングパ
ーツ ■価格7140円

1/700 WWII米海軍
艦艇ノースカロライ
ナ/ワシントン用 ■エ
ッチングパーツ ■価
格3990円



■プラチモデル ○M.S.モデルズ



1/35 イタリア軍ジェリカニQ4用 ■レジンキット
■価格3360円



1/35 B1 bisメインローラー・リヤ用コンパ
ーゼン ■レジンキット ■価格1万9200円

■フリフルモデル ○M.S.モデルズ

●1/350 日本海軍駆逐艦雪風(竣工/最終時)用 ■レジンキット ■価格4095円

■アキュレイトアーマー ○M.S.モデルズ



1/35 54式潜水艦用120mm砲 ■レジンキ
ット ■価格2万1525円



1/35 ハンバー・キック・ヘビー・ロー・ディリ
ティ ■レジンキット ■価格1万9950円

■イーグルCZ ○M.S.モデルズ



1/35 ザウラー-RK-7(5d.Kz.254)11号戦車砲搭載型(東
部戦線現地改修車) ■レジンキット ■価格2万1000円

■カクナ ○M.S.モデルズ



1/35 98式広軌条牽引車 フルキット ■レジンキット
■価格1万4490円

■JPホビー ○M.S.モデルズ



1/35 ショコダP.A.2 "Turbo" チェコスロバキア装甲車
■レジンキット ■価格1万6800円



1/35 シーマン英軍仕様渡河スタックセット(ド
ラゴン用) ■レジンキット ■価格2363円

■タンクワークショップ ○M.S.モデルズ



1/35 M2/M3 フロントボディアップグレードセット
(タミヤ用) ■レジンキット ■価格2940円



1/35 M2/M2A1アップグレードセット(ドラゴン用)
■レジンキット ■価格1785円

■ダグズオリジナル ○M.S.モデルズ

- 1/35 D.A.K.戦車コマンダー ■レジンキット ■価格2258円
- 1/35 D.A.K.戦車クルー(左ハッチ) ■レジンキット ■価格2258円
- 1/35 D.A.K.戦車クルー(右ハッチ) ■レジンキット ■価格2258円
- 1/35 ドイツ戦車コマンダー ■レジンキット ■価格2258円
- 1/35 大戦初期防衛戦車クルー(左ハッチ) ■レジンキット ■価格2258円
- 1/35 大戦初期防衛戦車クルー(右ハッチ) ■レジンキット ■価格2258円
- 1/35 D.A.K.戦車クルーセット ■レジンキット ■価格6752円
- 1/35 大戦初期防衛戦車クルーセット ■レジンキット ■価格6752円

■ユーレカXXL ○M.S.モデルズ

●1/35 ヤマトパンター周車引ケーブルセット ■レジンキット ■価格1134円

■エフトイズ ○エフトイズ・コンフェクト



●1/144 ウイングキットコレクションVol.1
WWII日本海軍艦艇 ■塗装済 ■価格368円
■1/144の新シリーズ、塗装済組み立て
キットの日本海軍艦艇全9種+シークレット7種。除
道で200名様に電報二型が当たる。本誌が当たる
プレゼントも実施。東日本で8月中旬発売。



A.空母「龍」搭載 戦闘機二型



A.空母「龍」搭載 戦闘機二型



A.空母「龍」搭載 戦闘機二型



第302航空隊 潜水艦



第342航空隊 戦闘機407飛行隊 航空機



航空機

■アルバインミニチュア ○M.S.モデルズ



1/16 ヴァッフェンSS
弾兵ウィーキング組立 ■
レジンキット ■価格5513円



■ガイアノーツ ○ガイアノーツ

●151 ダークグリーン(4L)
152 ライトグリーン(2L) ■
塗料 ■価格2500円
■151ダークグリーン(4L)に
152ライトグリーン(2L)に
のグリーン系は、ズター
系にも使用できるような
色調。

■Yosci ○ミニチュアパーク



1/35 負傷したドイツ
戦車兵/自走砲兵
(スベアヘッド1個
付) ■レジンキ
ット ■価格未定

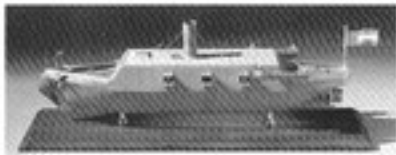


1/35 オートバイコ
ートを備えた武装
兵隊/自走砲兵 ■レ
ジンキット ■価格未定

■オールドスチームナビー ○ミニチュアパーク



1/32 (54mm) アメリカ南北戦争 南軍潜水艇 H. L.ハンリー ■レジンキット ■価格2万9925円



1/96 アメリカ南北戦争 南軍潜水艇 アンカーサス ■レジンキット ■価格4万4100円



1/96 アメリカ海軍 パセック船モーター (30mm) ウィーホーケン ■レジンキット ■価格4万7250円

■レジェンド ○ミニチュアパーク



●1/35 イスラエル陸軍 Nagmashot 装甲兵輸送車 改造キット (AFVクラブ センチュリオン用) ■レジンキット ■価格1万7000円
●1/35 イスラエル陸軍 Nagmashot 装甲兵輸送車 フルキット ■レジンキット ■価格2万5830円

■ヤングミニチュア ○ミニチュアパーク



●1/32 (54mm) イギリス軍 88戦車兵用銃 T-3476 1943年型 ■レジンキット ■価格1万7010円



●イーザーワーク グレイベル 200ml ■素材 ■価格1890円
●イーザーワーク サンド 200ml ■素材 ■価格1890円

■Dアースネル ○ミニチュアパーク



1/32 ドイツ軍 山岳兵 WW2 ■レジンキット ■価格1万1025円



1/32 ドイツ軍 戦車兵 WW2 ■レジンキット ■価格1万1025円



1/96 ドイツ軍 戦車兵 WW2 ■レジンキット ■価格8085円

■アダルベルトウス ○ミニチュアパーク



1/48 イギリス軍 戦車指揮官 ■レジンキット ■価格1365円



1/35 兵隊と砲 (ベース付) ■レジンキット ■価格3465円

■ウォーリア ○ミニチュアパーク



1/72 アメリカ海軍 ガトー級潜水艦 クラーク (レベラー M0384 ガトー級潜水艦用) ■レジンキット ■価格3150円

■エシュロンファインディテール ○ミニチュアパーク

- ドイツ軍 Pak40対戦車砲 スペシャルマーキング デカール (1/72, 1/48, 1/35, 1/16, 1/10) ■デカール ■価格1155円
- 1/35 現用カナダ軍 レオパルド2A1 MEXAS戦車 マーキング (独レベル レオパルド2A1用) ■デカール ■価格1785円
- 1/35 ドイツ軍 スタイヒと鉄道のフンメル ノルマンディー デカール ■デカール ■価格1365円
- 1/35 ドイツ軍 スタイヒと鉄道のヴェスパー ノルマンディー デカール ■デカール ■価格1365円
- 1/35 現用イギリス軍AS90用 バッテリーエンブレム ■デカール ■価格1155円
- 1/35 イスラエル軍マーキング (デジタルテンパー) ■デカール ■価格1785円
- 1/35 ISAFマーキング デカール ■デカール ■価格1155円
- 1/35 MEANジュリカシ マーキング ■デカール ■価格1155円



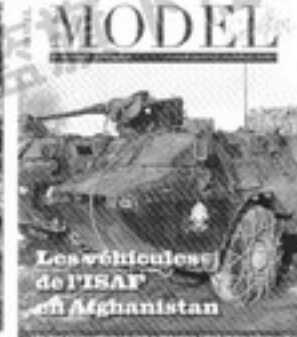
■アルマダコンセプト ○ミニチュアパーク



モデルセクション 16号 ■書籍 ■価格3465円 ■陸上自衛隊90式戦車, ラフリー 535T&GPFT 155mm砲, フランス1940 ジョラマなどを掲載。



モデルセクション 18号 ■書籍 ■価格3465円 ■フランス軍90式戦車, T-72M1, パルムの戦い, イスラエル軍メルカバ MkIVなどを掲載。



モデルセクション 17号 ■書籍 ■価格3465円 ■ティランALS, 121ヘフトラック&88mm Flak, マーダーなどを掲載。

問い合わせ先 (都道府県)

ハセガワ	054-628-8241 http://www.hasegawa-model.co.jp
タミヤ	(静岡) 054-283-0000 (東京) 03-0899-3110 http://www.tamiya.com
インターライド	045-549-3031 http://www.interlaid.co.jp/
ビーバー・インターナショナル	お近くの模型店にお問合せ下さい。
バウマン	03-3795-2666 http://www.baumann.co.jp/
サクセスモデルズ	075-757-3754 http://www.saku-retsu.com/
プラッツ	0543-45-2047 http://www.platz-hobby.com/
GSクリエイス	03-5211-1844 http://www.mr-hobby.com/
ピットロード	044-865-2460 http://www.5b.biglobe.ne.jp/~pitroad/
MSモデルズ	029-276-7858 http://www4.ocn.ne.jp/~msmodel/
ガイアノーツ	048-263-2030 http://www.gaianuts.com/
エフトイズ・コンフェクト	06-6636-6060 http://www.f-toys.net/
ミニチュアパーク	03-5607-8952 http://www.miniature-park.com/



■キット内容を探る

さて中身ですが、モールドはトランベッター1/24スタンダードで彫削りおよびリベットびっしりで、胴体後半部の羽布張り表現ともよくシンクロしています。エッチングやゴムタイヤなど、他のマテリアルも存在していますが、特筆すべきは前キット(24スケール)まで採用されていた、エッチングを使った動翼の可動ギミックが全て廃止されていることでしょう。以前の作例記事でも書きましたが、可動で組んだとしても自重で下がってしまいトイ的な仕上がりになるので、筆者は全て固定して製作していました。それが全て廃止されたのは、作り易さの面からもvery goodでしょう。欲を言えば昇降選択式ならbestですが、少し手を加えるだけで再現できそうです。

■スケルトンで攻める

それでは製作に移りましょう。久しぶりの1/24なので、K2スタンダード?のスケルトンにしちゃいましょう。

まず中身の具からですが、コクピット内部のディテールは秀逸で、ていねいに塗り分けるだけでも十分でしょう。シートベルトはエッチングパーツが付属しており、メインコンソールは計器類が印刷されたフィルムを挟み込むようになっているので、塗装作業が非常にラクチンです。

スケルトン仕様なので、ハンド線やソフトウェアなどで“適当にパイピング攻撃”です。マーリンエンジンは良くできているので基本的にはストレート組みで、これまた“適当にパイピング50本攻撃”です。翼内機関砲も塗装

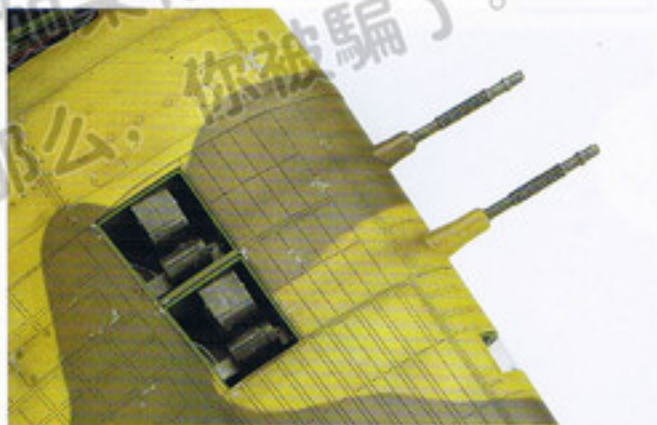
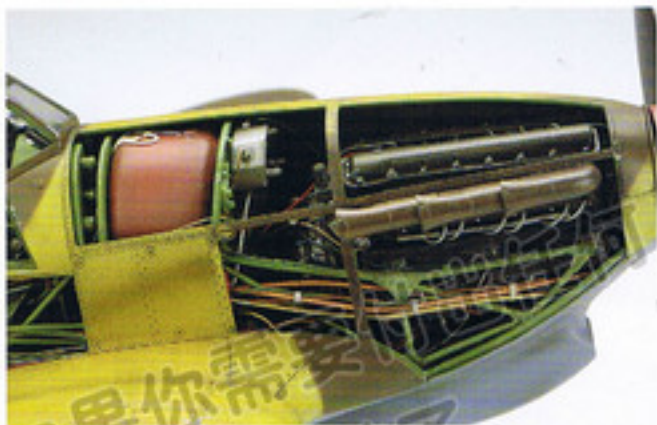
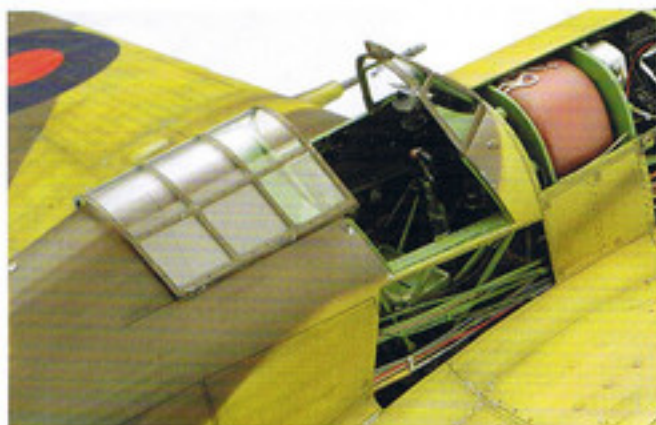
した後、パイピングを加えています。

いつものことですが、配線類は資料写真を眺めつつの“それなりのディテールアップ”であり、配線の位置や塗装色などは見た目を考慮したデタラメですので御留意ください。筆者には東欧モデラーのような“超絶完璧ディテールアップ”なんてできませんし、これくらいが身分相応で模型作りを楽しむことができるのだと思います。

■胴体を組む

とりあえず内部パーツと胴体側面パーツを組み合わせて、カッティングする場所を位置決めします。開ける場所を間違えると、見せたくない場所まで見えてしまうので慎重に作業します。ドリルでラフに穴を開けていき、カッター、金属ヤスリ、耐水ペーパーで形を整えていきま





ず。開口部は広すぎると強度が弱くなり、狭すぎると見た目が悪いので内部パーツと何度か合わせながら作業を進めます。

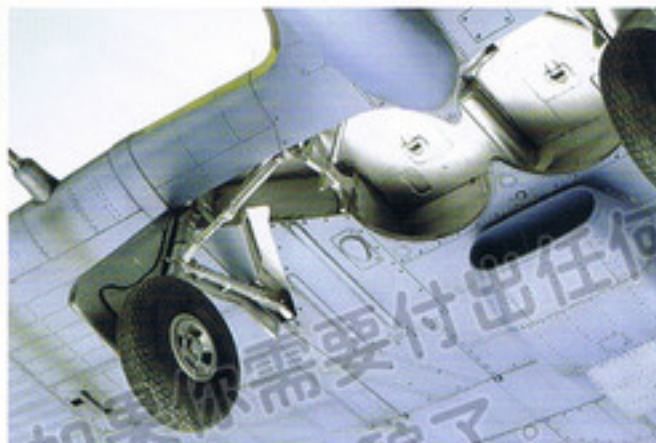
胴体内部の塗装を終えてから内部パーツを接着します。開口部から見える機体内部構造に思わずニンマリです。

胴体と主翼の合いは問題なく、接合部分に多少バテを使用するだけで済みました。ただ、V24スケールですので胴体内部および主翼内部にはプラ材やエポバテで補強を入れています。

大体形になってきたので細部パーツを組み立ていきます。脚類はモールドおよび合いも

goodで、ブレーキパイプを追加しただけです。また、同型はアンテナ線を張っていない機体が多かったので、垂直尾翼上のアンテナ用の突起物は削除しました。他アンテナ類や脚庫扉、尾脚、プロペラ類も組み立て、塗装およびスミ入れまで済ませておきます。





■ 塗る

今回はいつも以上に製作作業がスムーズに進んだので、塗装に凝ってみましょう。

まず開口部を慎重にマスキングしてから、1200番のサーフェイサーを吹きます。1000番ぐらいの耐水ペーパーで表面を平滑にして、下塗りのアズールブルーから塗り始めます。すばりの塗料が無いので、カラーチャートを参考に自分なりに調色しました。付属の塗装図にも調色指示が書かれていますが、その割合で調色すると青味がきつように思えます。

次に上面の茶系2色迷彩の薄い方を、GSIクレオスMr.カラーNo.21ミドルストーンを原色のまま吹きつけます。パネルラインおよびリベットラインにシャドーを入れて、原色に白を混

ぜた物で退色表現を施していきます。この時に、シャドーを消しつつも残すという感覚でメリハリを付けます。このあたりはフィーリングではないので、各自の好みで良いでしょう。再度白を混ぜてグラデーションを重ねていきます。このままだと機体が白っぽくなってボヤけるので、極薄のクリアイエローとクリアオレンジでフィルタリングしていきます。こうすれば微妙な艶が出るのでラジスケールでも間延びするのを避けることができます。

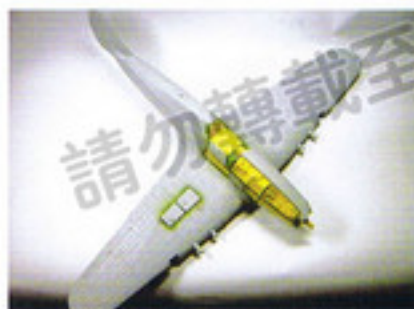
次に1.5mmのハンダ線に両面テープを巻き付けて塗り分けラインに貼り込んでいきます。ミドルストーンの部分にマスキングテープを貼って、Mr.カラーNo.22ダークアースを前色と同様にグラデーション塗装を施します。今度はクリアオレンジとクリアレッドでフィルタリ

ングすれば基本塗装は終了です。

2000番〜8000番の耐水ペーパーで塗装のザラつきを取り、エナメル塗料でスミ入れます。デカールを貼る部分にだけクリアを掛けてからデカールを貼っていきます。付属デカール自体は良質な物で、軟化剤を使用しなくても十分機体になじんでくれます。

1日乾燥させてから、油絵具のイエロー、オレンジ、ブラウン、ブラック、レッド、グリーンなどを適当にちりばめていきます。専用溶剤でウォッシング！だんだんイメージしていた汚れ具合に近くなってきたのでニンマリです。

排気の汚れやパネルラインにエアブラシでウェザリングをかけて、パステルやタミヤのウェザリングマスターでほこりっぽさを強調しました。最後に銀チョロを施し、フラットクリアー



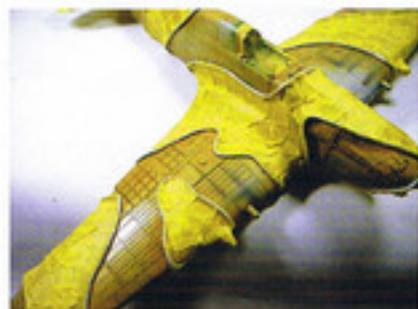
塗装前にサーフェイサーを吹き、スケルトン部分にマスキングを行う。



下面のアズールブルーを吹いた後、上面のミドルストーンを吹く。



パネルラインなどにシャドーを吹き、白を混ぜたミドルストーンで退色表現。



1.5mmハンダ線に両面テープを巻きつけたもので迷彩ラインをマスキング。



上面色のダークアースを塗装。その後シャドー、退色表現を同様に行う。



基本塗装を終えたら、クリアー色でフィニッシングを施す。



エナメル塗料をモールドにスミ入れ。



エナメル塗料を残し気味にウォッシングする。



貼る部分をサンディングレクリアーを吹いてからデカール貼り。



油絵の具数色を表面に遠慮に落とす。



ペトロール溶剤で油絵の具を落とす。



錆や汚れなどのアクセントを入れ、銀チョコを入れれば完成!

を吹いて完成です。

■最後に

いや〜。ハリケーンって思っていたよりかっ

ちよいい機体ですね。やっぱりMk.II C/Tropにしたのが筆者的には正解だったと思います。キット自体も何のトラブルもなく簡単にラージキットが組めるので「ハリケーンってなかなか

やるやん!」というのが製作後の印象です。

さて、次回は新製品のアレです。ヒエンヒエン走っていき! ヒエンヒエンどこまでも! (ブルーハーツのTrain-Trainの曲調で)





Sesquiplane Fighters of France & Germany

エデュアルド1/48

ニューポールNi-16&ファルツD.IIIa ウィークエンド

週末は“ウィークエンド”で複葉機やで!

- エデュアルド1/48 ニューポールNi-16 マックス ウィークエンド
- エデュアルド1/48 ファルツD.IIIa ウィークエンド
- 制作・文: 松本尚平
- Eduard 1/48 Nieuport Ni-16 Weekend Edition
- Eduard 1/48 Pfalz D.IIIa Weekend Edition
- Modeled & Text by SHUHEI MATSUMOTO

第一次大戦では、良好な上下視界を実現するため“1葉半”と称されるフランスのニューポール16、ドイツのファルツD.IIIなどの複葉戦闘機が登場。どちらもエデュアルドからエッチングなどを省略した“ウィークエンド・エディション”でリリースされています。組立ては簡単、出来の良さもすでに折り紙つき。工作よりも塗装に力をいれたい州平ちゃんにはもってこいのキットを、一挙に2機も完成!





■ウィークエンド・エディションはご存知？

皆さんは、エデュアルドの「ウィークエンドエディション」なるシリーズがリリースされていたのはご存知でしょうか。このシリーズ、パーツはプラのみで構成されており、(したがってエッチングパーツはなし)デカールも1種類のみ。塗装面もボックスアートが兼ねるもので、通常キットや「リミテッドエディション」より安い価格で流通している、いわば廉価バージョン。「ウィークエンドエディション」とは、なかなかのネーミングです。

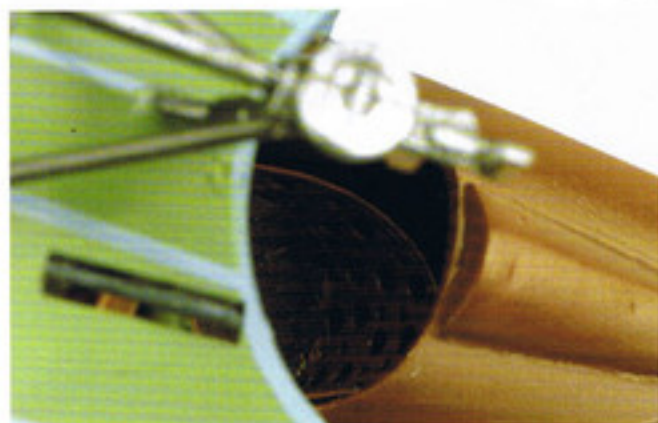
エデュアルドのヨンバチ第一次大戦機の一連のキットは、組み易さ、デカールの豊富さ、モールドのシャープさ、などにおいて他社をややリードしていると、以前より思っておりまして、さすがに土日の2日間での完成は無理そうですが、何よりもパーツの精度が良いので、ストレス無く組み上がる好キット。しかも大人の鑑賞に耐えうる完成度があると思うのです。

■まずはニューボールから

ニューボール16は、ニューボール11に搭載のル・ローヌ9C 80hpエンジンをル・ローヌ9J 110hpエンジンにパワーアップしたバ

ージョン。外見上の違いはエンジンカウル部などのみです。ギヌメル、ナンジェッセー(棺桶と風船のマーキングで有名)などのエースパイロットたちの搭乗機であるニューボールファミリーの中にあっても、特にNi-16は兵士たちに親しまれ「ベベ」(ベビー)と呼ばれていました。ファルツなどのドイツ機と並べるといかにも小柄で軽快に見えます。

良好な上下視界を実現する上翼と比べて下翼が小さい「一葉半」の翼構造、この設計は急降下時に主翼翼組のねじれる事故が発生しやすいものだったそうですが、ともあれ小さいながらも偉丈夫な、なかなかの男前であります。

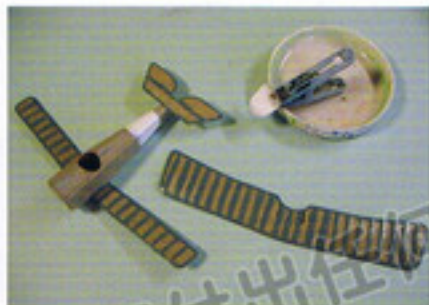




コクピットの製作。シートはエデュアルドの1/48 Seats WWI(品番48357)を使用。



1日の作業でここまで完了。
2日目には機体の塗装に入ります。



まず胴体と方向舵の本ワイドと、各翼リブテープのブルーグレーを筆で塗装。



リブテープと胴体等のマスキング。
GSレオスの細切りマスキングテープが便利。



2色塗料の塗装を行い、2日目の作業が完了。



あとは上下の主翼をつけて、各パーツを取り付けるだけ。
3日目で堂々完成やで!

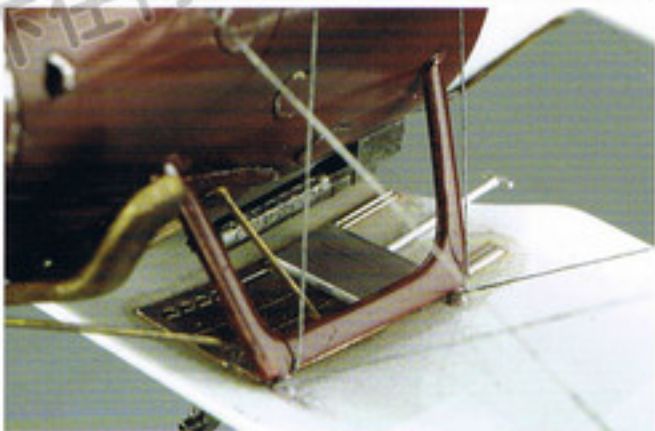
■制作について

今回はロケット弾を装備したタイプにしてみました。制作上、別に問題はなかったのですが、シートのみエデュアルドの別売エッチングパーツを使用しました。上下翼と支柱の接合は、支

柱取り付け角度が直角なので、先に支柱を上翼に接着しておくのと楽に組みます。しかしこの精度の良さは驚きです。各部の合いも良好で、ストレスなく組み上がります。その他注意点などはモデル吉に描いておきましたので、参考してください。

■塗装について

ボックスアートを参考に、ブラウンと黄緑に近いグリーン迷彩。カウル部および下面がシルバーです。翼上面のアクセントとしてブルーグレーのリブテープを施し、カウリングはメッ





キシルパーとしました。この迷彩は精密感を出しやすい塗装例で、以前よりニューポールで試したかったもので、組み立てが楽だった分、塗装に時間を費やすことができました。

■ファルツD.IIIaについて

ファルツD.IIIはニューポールに倣った1翼半の翼ですが、同国のアルバトロスD.IIIやD.Vの1翼半機とは異なり、下翼を2本桁に、支柱をU字にすることによって急降下時のねじれ事故の悪癖を克服しています。この結果重量はアルバトロスより約75kg増し、水平速度は165km/hとなり、アルバトロスと同型エンジン(メルセデスD.III 160hp)を搭載しながらも約20km/h遅くなりましたが、急降下速度はドイツ戦闘機中で最も速い機体となっています。

胴体は木製セミモノコック構造で、表面仕上げはとても美しいものです。機首周り、下翼基部のフィレット、尾翼の形状など、優美な曲線

のラインでまとめられた機体は、何度見ても飽きない魅力があります。映画「ブルーマックス」にも出演していますので、複製機マニアの方はご覧になってはいかがでしょうか。

■制作について

ファルツはボックス内のパーツのみ使用しました。ニューポール同様、ストレスなく組み上がります。翼支柱取り付け角度は、ニューポールのように直角ではなくやや面側ですが、内側支柱を上翼に接着してから胴体に接着。その後、外側支柱を上下翼に接着します。この手順だと組みやすいでしょう。その他、張線などはモデ吉のコーナーを参考にしてください。

■塗装について

ファルツD.IIIおよびD.IIIaの塗装例は、他のドイツ戦闘機のものとは異なり、ソリッドかつフラットなものが多く、モダンな機体の形状に

とてもマッチしているんですね。なかなかのセンスです。

ボックスアートの塗装例は派手すぎると思いついて、機体のフォルムの目立つ塗装を施しました。最後に薄く溶いたフラットブラックで、シャドウ部にエアブラシをいれていきました。

ファルツD.IIIには、カラフルな塗装例がまだまだいっぱいあります。あと2~3機は作ってみたいものです。

■で、制作日数は?

ストレスなく組めるとは言え、3~4日はかかります。しかし2日めには塗装段階に到達できるので“あと1日か2日(次週の土日)がんばろう!”なんて気になります。

ウィークエンドに、好きな音楽でも聴きながら複製機を作るのも、時間がゆっくり流れる気がして、なかなかいいものですよ。



数々のドイツWWI機に搭載されたメルセデスD.IIIエンジン。よう出衆とる。



機体内部は木製セミモノコック構造であることを意識して塗装。



1日目はここまで作業完了。胴体のバテが乾くまで塗装には入れず。



白塗り、マスキングまで終わった2日目。主翼や胴体はアルミホイルでマスク。



3日目は機首の真紅を塗り、デカールを貼る。



動翼のスジ彫りの張線や静気汚れなどを入れたら、いよいよ最終組立。



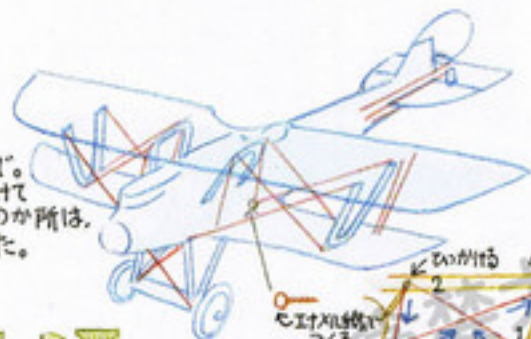
●ワイヤーの表現について。

糸を同様に
描き加えて



●Pfalz D IIIの支柱は、
基部の金属が露出する
構造になっているので。
そこにカタン糸をひっかけて
いきました。その他の箇所は、
穴を開け、通しました。

カタン糸



●木製プロペラの塗り方。



1 茶色、ライトイエロー、
ダークブラウンの
3色を塗る。
○ダークブラウンと
ライトイエローの境
界線は、特にシ
ェアに。

2 茶色とライトイエロー
の境をブレンド
してボカしてい
きます。



3 茶色、ライトイ
エロー、ダーク
ブラウンの3色
を使い、細い
線をいれて
いく。

4 ダークブラウン部に
薄く塗った黒と
オレンジで細子を
いれていきます。
○は上ナにクリアを
IPアプスしてもGood!

Pfalz D IIIa



●0.5mm真鍮線で
ラジエーター・パイプ追加



●ヒトが
を考案する
ように
ネ、ボクが
かもし...

通すだけ (ニガラスト)



●ニューボルト
同様、プラ
板1自作。

糸をひっかける



●ニューボルト同様
用超交柱と用同体
接合部に真鍮線
を使用しました。

●カタン糸にシロク
アール・パのフム
を表現。

西村祥治中将

訓練不足の旧式戦艦が中心のわずか7隻の艦隊、制空権を奪われた海域に待つ強大な敵艦隊、協同する味方艦隊の致命的な遅れ……それでもなお西村祥治司令官は、すべての不利を呑み込んだ上で予定通りにレイテ泊地への突入を決意した。それは水雷戦隊を率い華々しい戦果を挙げた「海の武将」としての決断だった。

■海で鍛えられた武将

西村祥治（最終階級は中将）は、昭和19（1944）年10月の捷一号作戦において、戦艦「山城」を旗艦とする第3部隊（西村部隊）の司令官としてレイテ泊地へ突入する途中、スリガオ海峡で米艦隊と戦い、横転沈没した山城とともに壮烈な最期をとげた。

西村中将は駆逐艦から戦艦までの艦長を歴任した、叩き上げの「海の武将」でした。太平洋戦争では第4水雷戦隊司令官、第7戦隊司令官を務め、駆逐艦や重巡洋艦を指揮し大きな戦果をあげています。

捷一号作戦はレイテ泊地へのいわば「殿入り」でしたが、制空権のない海域で優勢な敵艦隊を相手に、旧式戦艦を中心とした西村部隊での成功の可能性は低く、最初から無理な作戦であったといわれています。それでも西村中将が戦場に赴いたのは、彼が戦いを避けることのない「海の武将」であったからにほかなりません。

■水雷戦隊を指揮

西村祥治は秋田県男鹿市出身、海軍兵学校（39期）を卒業後は駆逐艦、巡洋艦、戦艦の各艦長を歴任し、現場での叩き上げの指揮官として成長していきます。

太平洋戦争直前の昭和15（1940）年11月、祥治は第4水雷戦隊司令官となります。旗艦の軽巡那珂と陽炎型駆逐艦などを中心とする4個駆逐隊から編成された第4水雷戦隊は、第2水雷戦隊とともに「夜戦部隊」第2艦隊の中心となる非常に重要な部隊でした。

太平洋戦争の開戦とともに第4水雷戦隊はフィリピンおよび南方方面の攻略で陸軍輸送船団の護衛などに従事します。「犬狼の仲」といわれていた陸海軍でしたが、祥治は陸軍の坂口静夫少将と協定を結び、任務をスムーズに行うことに成功します。

昭和17（1942）年1月23日のバタビヤ沖海戦では泊地投錨中に敵の奇襲を受けたため、輸送船3隻沈没、3隻損傷、哨戒艇1隻大破という損害を受けてしまいます。この敗北に闘志を燃やした祥治は、2月27日のスラバヤ沖海戦で本領を発揮します。

日本海軍の第5戦隊司令官・高木少将率いる18隻の艦隊と、米英海軍のドールマン少将率いる14隻の艦隊が衝突したこの海戦では、どちらも重巡2隻ずつと兵力が拮抗しているため2万mの遠距離砲撃戦に終始、こう着状態となります。

ここで祥治は第4水雷戦隊を率いて敵艦隊に突入を試み、距離7500mまで接近し魚雷を発射、敵艦隊を混乱に陥れます。特に配下の第9駆逐隊の朝雲および峯雲は6000mまで接近し、雷撃後は敵艦に集中砲火を浴びせ、駆逐艦1隻を撃沈します。発射した九三式魚雷43本中10数本が航行中に自爆するトラブルに見舞われたためこれ以上の戦果は挙げられなかったものの、第4水雷戦隊の活躍により戦況は一気に日本側に有利となり、終わってみれば合計9隻を撃沈する大戦果を挙げ、味方は朝雲が損傷を受けただけでした。

この後祥治は鈴谷型重巡4隻からなる第7戦隊司令官となり、ソロモン方面で活動します。11月13日には、ガダルカナル島のヘンダーソン飛行場の夜間砲撃支援のため、重巡鈴谷、摩耶、軽巡天龍、駆逐艦夕雲、巻雲、風雲を率いて出動、砲撃を成功させます。

■戦艦戦隊司令官へ

約半年間の海軍軍令部の陸上勤務を終えた祥治は、昭和19（1944）年9月、山城、扶桑からなる戦艦部隊・第2戦隊の司令官に任命されます。

旗艦となる戦艦山城は大正元（1912）年に同型艦扶桑に続いて建造に着手された戦艦で、主砲には36cm砲12門を装備、建造当時は文字通り世界最強の「超弩級」戦艦でしたが、



山城と運命をともにした“海の武将”

第一次大戦中のジウトランド海戦の戦訓により防衛面の不備が露呈、また砲塔配置も斉射時の煙風が強すぎるなど不都合があり、太平洋戦争においては2級級の戦力とみなされていました。

ミッドウェー海戦後、連合艦隊が空母を主力とした編成替えを行なうと、山城は扶桑とともに練習任務に回されます。しかしマリアナ沖海戦に敗退し空母戦力を喪失すると、この2戦艦は来るべき捷号作戦のため、再び前線に戻されることになったのです。

戦艦としての訓練を1度行っただけで10月4日にリンガ泊地に進出。栗田健男中将が指揮する本隊と合同します。この作戦では、西村部隊は山城および扶桑が低速であるため、第1部隊(大和、武蔵などが中心)および第2部隊(金剛、榛名などが中心)とは別の短いルートをとる第3部隊として、10月25日に同時にレイテ泊地に突入する計画でしたが、この部隊編成も出撃前日に決定され、最後まで統一訓練の機会はありませんでした。また西村部隊の編成も戦艦2隻に加え駆逐艦上、駆逐艦4隻のわずか7隻に過ぎませんでした。

■出撃と壊滅

10月22日、ブルネイを出撃した西村部隊は平穩に進撃を続け、24日黎明に最上の水偵でレイテ湾の偵察を行います。この日の午前中、西村部隊は1度空襲を受けますが被害は軽く、夕方には予定通りにミンダナオ湾に入ります。

この頃西村部隊は、本隊の栗田艦隊が空襲で大幅に遅れていることを知りましたが、これに対応する命令が来ないため、洋泊は単独で予定時刻にレイテ泊地に突入することを決意します。敵魚雷艇が追従する中、西村部隊は翌25日午前2時、スリガオ海峡を通過しレイテ泊地に突入を開始します。

待ち受ける米海軍の兵力は非常に強力なものでした。旧式艦ながらレーダーなど最新の機器を備えたミシシッピー、メリーランドなど戦艦6隻、重巡4隻を中心とした計42隻の艦船と39隻の魚雷艇が配備されていました。米軍の夜間レーダー射撃はすでに完成の域に達し、満足なレーダーを持たない日本艦は目隠しをしたまま多数の敵と闘うようなものでした。

スリガオ海峡を抜けると魚雷艇群、ついで駆逐艦群の攻撃を受けます。この駆逐艦からの魚雷で扶桑が被雷し落伍、まもなく大爆発を起して沈没します。

続いて午前3時、再び駆逐艦群の魚雷攻撃を受け、最上と時雨以外のすべての艦が被雷します。山城も左舷後部に魚雷2本が命中しましたが速力の低下はなく、そのまま3隻で進撃を続けます。

3時50分過ぎから敵戦艦部隊の本格的な砲撃が始まります。このとき西村部隊は敵戦艦

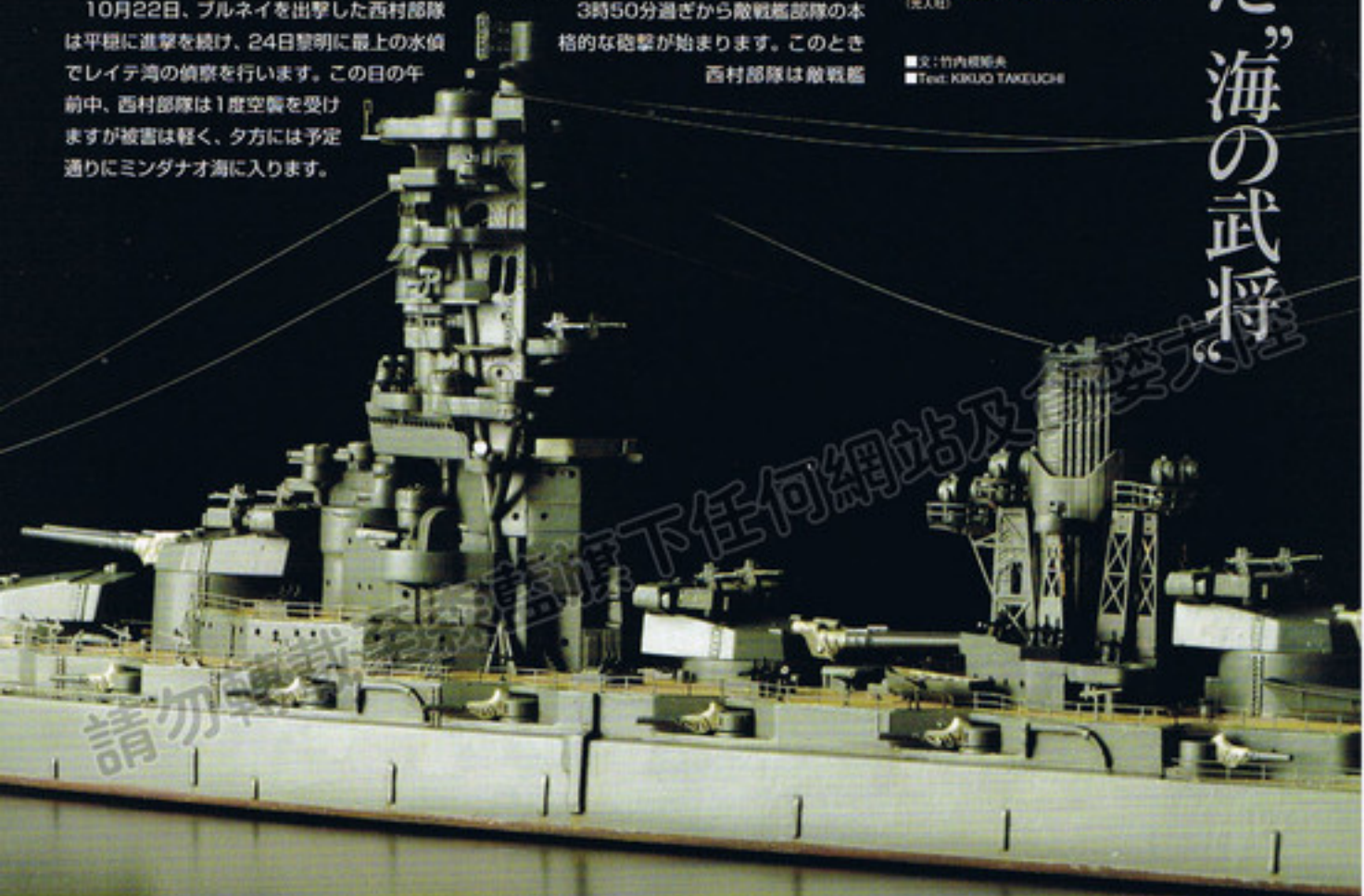
に対しT字型となって敵からの砲撃を最も受けやすい態勢となっており、山城には多数の砲弾が命中、艦橋に火災を生じます。前方の1、2番砲のみで反撃しましたが再び駆逐艦群の襲撃を受け、魚雷が右舷機械室付近に命中し速力が低下、さらにもう1発が右舷に命中した時点で、浸水により艦の傾斜が始まります。

駆逐艦が命じられた2分後に山城は転倒、艦尾から沈んでいきます。洋泊は山城と運命をともにし、海中に投げ出された山城乗組員は米軍の救助を拒み多数が自決、近くの島に泳ぎ着いた乗組員も原住民に殺害され、生存者はわずか10名にすぎませんでした。

■参考文献

- 『太平洋戦争海軍史 海軍人30人の生涯』
- 新編第二巻(光人社)
- 『戦史叢書 海軍陸戦隊の活躍』(光人社)
- 『戦史叢書 海軍陸戦隊の活躍』(光人社)
- 『戦史叢書 太平洋戦争史シリーズ30 戦艦大和』(光人社)
- 『日本海軍艦艇写真集2 戦艦大和・山城・伊勢・日向』(光人社)

■文：竹内規矩夫
■Text: KIKUO TAKEUCHI





日本戦艦 山城1944

アオシマ1/700

アオシマの扶桑型2戦艦をもって、ウォーターラインシリーズの日本海軍12隻の戦艦リニューアルが完結。竣工から約30年にわたり日本海軍で活動した両艦とも、出来は期待に違わぬものとなっている。今回は山城の最後の戦いとなった昭和19(1944)年10月の捷一号作戦時の状態に近づけ、さらにエッチングなどを使用しハイディテールの作品に仕上げる。

■キットについて

今年初め、アオシマの「扶桑」「山城」が新金型で再登場。両社の長門型が素晴らしい出来でしたが、このキットも非常に良いキット。扶桑と山城の船名の相違もそつなくとめ、特徴ある艦影が再現されています。そのまま製作しても、十分に満足いく仕上がりとなるでしょう。

今回はビートルドから発売されている「1/700 日本海軍戦艦 山城用 1944 エッチングパーツ」(品番PE-179)その他を使用し、できる限りディテールアップを試みます。

参考資料は「歴史群像太平洋戦史シリーズ 30 扶桑型戦艦」(学研)と「日本海軍艦艇写真集 2 戦艦扶桑・山城・伊勢・日向」(光人社)を用意しました。特に前者は写真や図版が豊富で、製作に非常に役立ちます。

■船体の製作

まずは船体から。インストの指示通り甲板に穴あけをしてから、前後の甲板と艦底を貼り合わせ、すき間を新発売のタミヤホワイトパテバ

テで埋めます。従来のものよりきめ細かい感じ

です。次に資料の図面を見ながら、バラベーン的位置や後部甲板の2列の階段など、比較的「扶桑」寄りの作りの船体ディテールの修正と追加を行います。

舷窓は0.7mm径のピンバイスで開け直し、大戦末期に閉塞された舷窓を再現するため0.5mmプラ棒で埋めています。汚水捨て管などは0.3mmプラパンの細切りで追加。

甲板の塗装はタミヤアクリルのXF-78木甲板色とXF-79リノリウム甲板色で筆塗り。木甲板の部分は赤みをつけるため、水で溶いたGSIクレオスのウェザリングパステル ダークブラウンを綿棒で擦るように塗り重ねてみました。

船体部分はMr.カラーC32軍艦色(2)で塗り分け。甲板の構造物は前後左右から眺めて、塗り残しがないかよく確認しましょう。船体を塗装したら、0.5mmプラパンを貼ったナイフの刃を舷側に沿わせて乾水線をつけ、タミヤアクリルのXF-9ハルレッドで艦底を塗装します。

■上部構造物の工作

上部構造物の工作ではエッチングパーツを使うので、どの部分をエッチングに書き換えるのかを事前に確認しておきます。

艦橋はパーツを仮組みして構造や位置関係などを記

掘してから、1段ごとに修正とディテールアップを行っていきます。1944年時とするため、パーツ96の横の22号レーダー用張り出し形状とパーツ89の主砲射撃所の形状を修正。パーツ79は不要で、全体の高さも3.5mm低くなります。またマストは真横の角断面のものをのぞき0.3mm真ちゅう線に置き換えました。またディテールアップとして窓モールドはすべてエッチングのメッシュに変更しています。メッシュはタミヤのバンサー用とタイガー1型用エッチンググリルセットを使い分けています。

煙突は探照灯台をエッチングに変更、後部マストは支柱を0.3mm真ちゅう線に置き換えたほか、各部をディテールアップしています。

■兵装パーツの工作

6基の主砲塔は良い出来なので、砲口を0.7mmピンバイスで開口したり、防水ブーツ



■アオシマ1/700 日本戦艦 山城1944
■製作・文：竹内雄雄夫
■Aoshima 1/700 Japanese Battleship Yamashiro 1944
■Modeled & Text: KIKUO TAKAGUCHI





を溶きパテで表現したりという程度。なおキットのポリキャップは硬くてはまらないので使用しませんでした。

3連装および連装25mm機銃はエッチングに用意されています。小さなパーツを切り出して折り畳んで作るのですが、でき上がると驚くほど精密感があり、超オススメ。カタパルトやクレーン、飛行機台も同様にエッチング。なお捷一号作戦時、山城の水偵は陸上基地に派遣されていたとのことなので搭載していません。

増設された3連装機銃座の土のうパーツは心情的に納得いかなかったもので、エッチングに用意されているブルワークを使用しました。

甲板上に多数装備されていた単装機銃は、ハセガワのエッチングパーツ「25mm単装機銃セット」(品番98-39)を使用しました。13mm連装機銃と単装機銃は入手できなかったため、25mm機銃の銃身を短くするなどして使っています。

艦載機やカタッカーの配置はインストに従いましたが、内火艇および内火ランチはビットロード「日本海軍 艦船装備セット(III)」に入っている14m特型運貨船3隻に置き換えました。

■手すりと張り線の取り付け

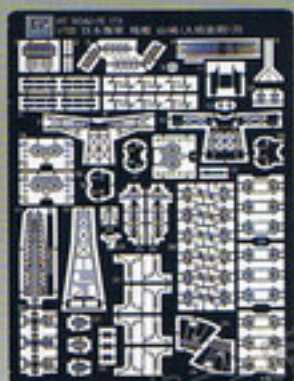
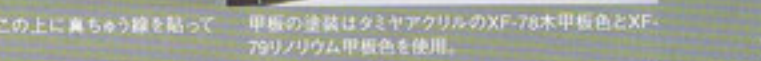
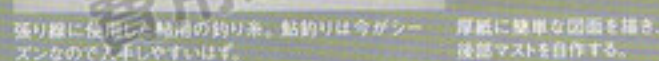
上部構造物や各種兵装の取り付け後、手すりを取り付けます。手すりは手持ちのビットロード「1/700 日本海軍戦艦(II) 伊勢・扶桑・長門用」(品番PE-84)を流用しました。このエッチングはトムズモデル製で非常に繊細、取扱いは注意が必要です。取り付けは瞬間接着剤のゼリー状と通常のサラサラのものを併用。

張り線は貼用の釣り糸「メタルフレックス ブラック 0.125号」を使用します。各マスト間の長さを測って糸を切り出し、ステー側にゼリー状瞬間接着剤を付け、両端をほぼ同時に接着します。なお艦橋の信号桁や後部マスト基部は、船体に取り付ける前に張り線を行っておきます。

■完成して

今回の山城の製作では、個人的には手すりや張り線がヤマ場と思っていましたが、作業自体はそれほど難しくなく、慣れと時間と忍耐力さえあれば誰にでもできるはず。艦船模型の製作は「小さな努力の積み重ね」だと感じました。皆さんもチャレンジしてみてください。

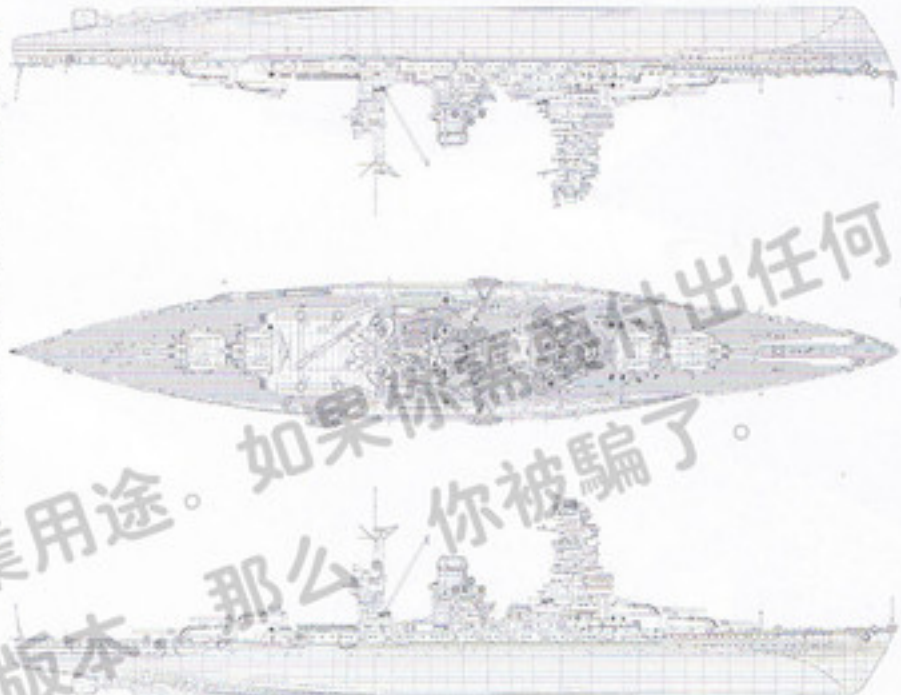




日本海軍の戦艦「長門」は、同型艦「陸奥」とともに「日本の誇り」と謳われるほどに国民に親しまれた名戦艦である。世界最強の艦隊「八八艦隊計画」の第1号艦として計画され、大正9（1920）年に竣工。当時世界最大の16インチ（41cm）砲8門を装備、防御力、速力にも優れ、その力を恐れたアメリカおよびイギリスはワシントン条約による主力艦保有制限を余儀なくされた。太平洋戦争の激戦を戦い抜いた「長門」は戦後アメリカ海軍に接収、水爆実験に供され昭和21（1946）年にビキニ環礁に沈没している。

このたび1年5ヶ月の開発期間を経て発表されたハセガワの1/350「戦艦 長門」は、「時間をかけてじっくり作る喜び」を楽しんでほしい製品」というコンセプトで開発され、再現度を限界まで追求、部品点数は約850点、発売は11月9日、実艦の長門の進水式の日を予定。価格は2万円前後を目指しているとのこと。

現在発表されているパーツはまだ一部のテストショットのみだが、艦橋ディテールやハルシ底部の舷柱目段まで再現された船体や、艦橋まで忠実に再現された九五水偵を見るだけでも完成度の高さが伺える。艦船モデラーの夢がまた一つ実現、発売がひたすら待ち遠しい！



緊急特報!

艦船モデラーの夢がまた一つ実現!

2005年の戦艦「三笠」を皮切りに、駆逐艦「雪風」、南極観測船「宗谷」と1/350艦船モデルを着実にリリースしてきたハセガワが、「日本に昂ぶ 最終章」として世界7大戦艦の1つ「戦艦 長門」の開発を、満を持して発表!

- ハセガワ1/350 戦艦 長門
- インジェクションキット
- 価格未定
- 11月発売予定 ©ハセガワ

ハセガワ、1/350 「戦艦 長門」 開発中!



▲リアルに再現された九五水偵。



▲船体には外板舷柱目までモールド。



▲艦橋もハイディテールな仕上がりとなっている。



■ドラゴンモデル1/48 メッサーシュミットMe262B-1a/U-1夜間戦闘機
 ■製作・文：佐藤太一
 ■Dragon Models 1/48 Messerschmitt Me262B-1a/U-1 Nachjäger
 ■Modeled & Text by TAICHI SATO



ジオラマ野郎
 佐藤太一の
Diorama Life

Jet Nachtjäger with Nose Radar

ドラゴンモデル1/48 メッサーシュミットMe262B-1a/U-1夜間戦闘機

WWII末期のドイツ空軍は、イギリスのモスキート夜間戦闘機に対抗するため複座練習機Me262Bの機首にレーダーを装備した高速夜間戦闘機を開発した。ドイツ機も大好物のジオラマ野郎が世界初のジェット夜間戦闘機を1/48で製作。





久しぶりにドイツ機、しかもメジャーなMe262B-1a/U1を作っています。普段ならこんなジオラマをというのを考えて、それに沿って機体や小物を考えるのですが、今回はどうしても復讐のMe262を作りたくて、ドラゴンモデル(旧トライマスター)の1/48を選びました。

さてドラゴンモデルのキットですが、エッチングパーツが付属し、細部再現の表現など気合が入っていますが、反面、機体表面のモールドなどはちょっとお疲れ気味かなと思います。ただ、一直線にカクカクと塗り分けののならシャキシャキしたモールドで良いと思いますが、今回の

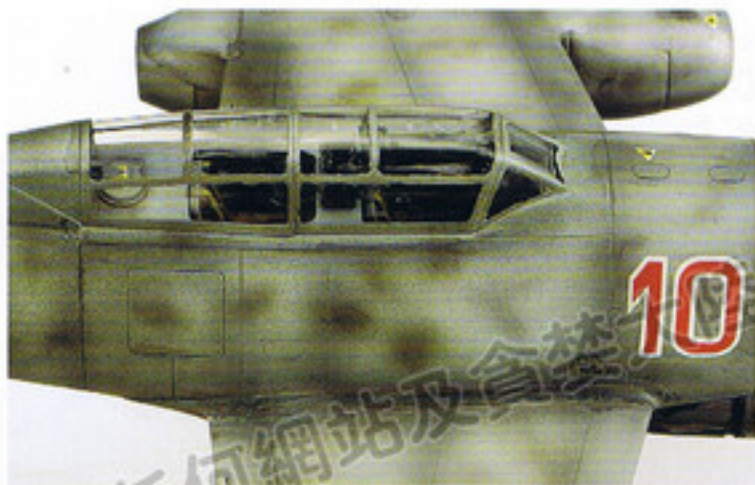
ようにメロメロな塗りをするのなら、このモールドもバランスが良いような気がします。

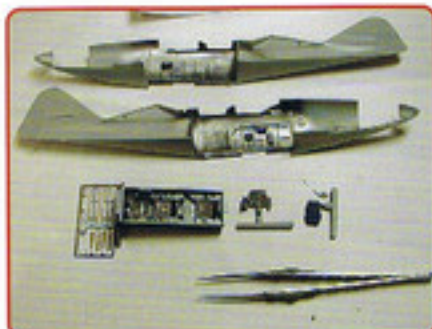
組立てについては、周りから「どうなの？ 合い悪くないの？」と聞かれますが、パチッ！ピタッ！の国産メーカーのようにには行かないけど、基本工作が面倒くさいところまでは行かず、「これがプラモだよな」と思えるくらい、わかる人にはわかる微妙な線。主翼と胴体の接ぎ目には段と隙間ができるけど、パテで処理できる範囲……。あっエンジンポッドと主翼のつなぎ目に線が。上手く消したつもりだったのに……。こりゃアップで写されると目立つな(汗)。実機写真と見比べると「あれ、違うじゃん」というと

ころも出てきますが、箱絵を参考にどんどん組み立てちゃいましょう。

■ 足の長さは穴掘って調整？

どのメーカーでもいえることですが、脚の長いのが多いんですね。たいがい自重で沈んだ状態じゃなくて、実機の設計図のデータの長さで作ってある。特にMe262の場合、腰高になってカッコ悪いので、主翼は2mmくらい短くした方が良いでしょう。ただ、単に短くカットして金属線でつなぎ直しただけでは強度が不足します。さてどうしましょう。ここはひとつ、ジオラマ野郎らしく地面に穴掘って調整しましょう。





▲内装はこんな感じ。シートベルトは胴体張りあわせ後に取り付け。



▲主翼と胴体の隙間をパテ埋め。この後エンジンポッドの取り付け部分も整形する。



▲通してしまったエンジンポッドのエアスクープを三角のプラバンで再生しておく。

ベースの板に粘土を盛り付けて主脚の位置に穴を掘った後、前脚の位置の盛りを調整してカッコイイ角度にしてやります。ホラ簡単でしょ。あ、でも注意点がひとつ。穴を掘って主脚を落としておむということ、重心が後ろに行くということなので、機首のオモリは普段より多めに入れておいたほうが良いでしょう。

タイヤは昔流行したゴムタイヤ、ハセガワ1/32のキットなんてあこがれたな。タミヤの1/48はプラですごくモールドなんですけど、ドラゴンのもこれはこれで良い味だします。

■塗装はいつもの通り

本物の色ではなく自分の好きな色。機体全

体をまずシルバーで下塗り。パネルラインを影付けした後、青味を押えた明るいライトグレーを吹きつけ、グレーグリーンで迷彩を。下面はジャーマングレーで塗装。

この段階でデカールを貼り付け2日間乾燥後、ガイアカラーのクリアーを薄く3回ほど吹きつけ1日乾燥。クリアーブラック、クリアーブルーおよびクリアーオレンジを薄く吹きつけ雰囲気を出す。この雰囲気ってのはすごい微妙。「色が付いてるのがわかったらやり過ぎ」くらいの感じでパネルラインや迷彩に重ねていく。薄い色を重ねていって、最終的に自分の思ってる色が出たら、軽くスミ入れしハンプロールのサテンコート吹き付けて完成です。でも47号

の零戦がデカールに写ってたので、ツヤ消しにした方が良いかな。とりあえず今回はまたサテンフィニッシュで行ってみよう。

ベースに草を付け、タミヤの電源車とジャガーモデルのフィギュアを添えてほんとに完成です。電源車のような後方支援車両はハゲチョロはしない方がいいと思うので、ウェザリングは控えめ。

えっ、普段のネター発のジオラマと違って……。たまには普通の飛行機も作りたかったというか、はやく複座の新製品が出て欲しいというおまじないというか。ほら、よくあるじゃないですか、在庫の旧キットを作り出すと、すげー出来の良い新キットが出たりする事が……。

ジオラマ野郎 Diorama Life

Jet Nachtjäger with Nose Radar



▲シルバーで下塗り、ついでにキズなどをチェックする。



▲さあ一気に塗装。まずはパネルラインを影付け。



▲上面には青味を押えた明るいライトグレーを吹き付け。



▲グレーグリーンでメロメロ迷彩。軽いモールドとのバランスが良い。



▲下面のブラックはジャーマングレーで塗装。モールドをつぶさないように輕めに。



▲デカールを貼ってからエナメルで軽くスミ入れ。あとはサテンコートを吹き付けて完成。



▲横から見ると、ほーら、
脚が長くてケツがビヨンと跳ね上がっている。



▲ベース作り。主車輪の位置に穴を掘って
機体の高さを2mmほど低く調整。



▲機体をベースにセットしてみる。
はー落ちた姿勢になった。





■ハセガワ1/72
中島 百式重爆撃機 呑龍 II 型甲
■制作・文：前島敏彦
■Hasegawa 1/72
Nakajima Ki-49-II Koh Type
100 Heavy Bomber Donryu (Helen)
■Modeled & Text by
TOSHIO KOKO MAEJIMA
■制作日数：約1.5ヶ月

Hasegawa 1/72

Nakajima Ki-49-II Koh Type 100 Heavy Bomber Donryu (Helen)



ハセガワ1/72

中島 百式重爆撃機

呑龍 II 型甲

前島敏彦の ヒコーキモケイ ススX

三菱の九七重爆、四式重爆“飛龍”とともに日本陸軍重爆トリオの一角を担った中島キ-49百式重爆“呑龍”。中島の工場がある群馬県太田の名寺にちなんで命名されたといわれる“呑龍”は、戦闘機の護衛を必要としない重武装の高速爆撃機として期待されたが、性能的には九七重爆とあまり変わらなかったため華々しい活躍はできず、南方で奮闘しつつ最後には菊水特攻作戦などで消耗していった。





個性的なデザインの再現

この機体には独特な個性が見られる。まずは、燃料搭載スペースを確保するため、主翼中央(エンジンナセル内側)が大きく前方に張り出した主翼デザイン。

もう一つは、何に有効なのかがいまひとつわからない、ゼブラパターンの迷彩。銀地が明灰色の上から濃緑色を斜線状に吹き付けたもの。手許の資料写真からも「呑龍」にしか見られない珍しいパターン。このビデオ映像(「銀翼のレクイエム」)を偶然入手したことで、その再現欲に火がついた。

コクピットは1/72なりのワリキリで

シートのエッジをリューターで薄く削る。これはサイズに関係なく必須の作業。シートベルトはマスキングテープの細切りに着色、留め金具は適当なエッチングのジャンクパーツを流用。

キャンビー枠、地獄のマスキング

呑龍の特徴の一つである尾部銃座の蛇腹キャンビーのマスキング。笑っちゃうくらい面倒。でも休み休み半日もやればOK。その他の枠も同様に、細切りした粘着カラーシートを枠の外側に沿って貼っていく。ま、少しずつでもやっていけば3日もあれば解放される。

マスキングが終わったら、枠の塗装部にプライマーを薄めに塗り、塗料の喰い付きをよくし

ておくこと。

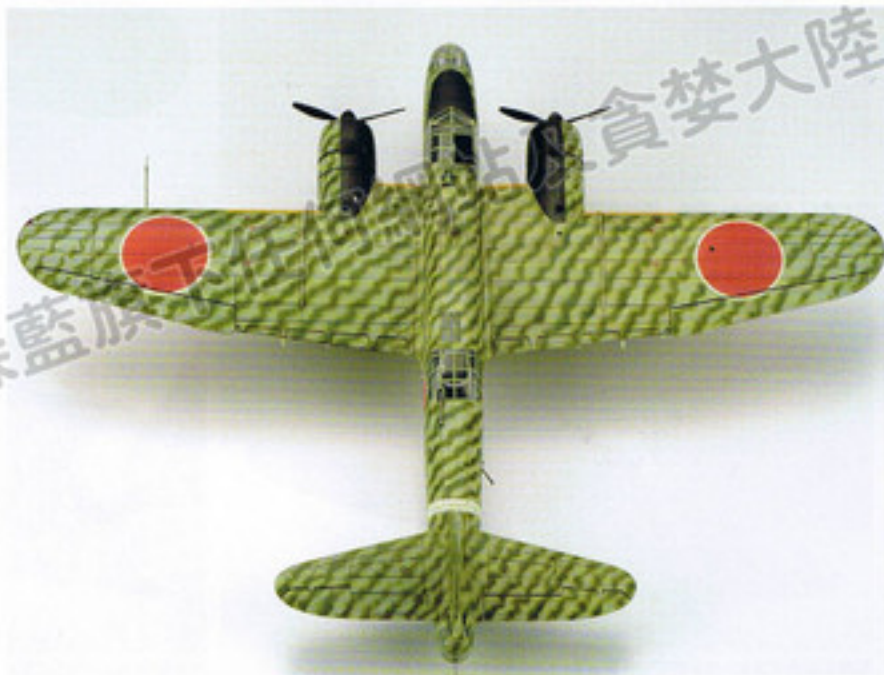
マーキングと迷彩塗装

資料から、昭和18年末ニューギニアで奮戦していた飛行第61戦隊所属のシマシマ迷彩機を選択。

コクピットや銃座内はキットの指定色とちょっとイメージが違ったので、暗青灰色: GSIクレオスのMr.カラーからホワイト約60%+ブラック約25%+No.65インディブルー約

15%+No.57青竹色約5~10%。

シマシマ迷彩はNo.129濃緑色(川崎系)にNo.122 RLM82ライトグリーンを若干プラス。エアの圧力を下げ、ノズルを機体へ1cmくらいに近づけて吹く。こうすればシマシマの間への飛沫はあまりないはずだが、気になるならエナメルシンナーを綿棒につけて軽く擦ればOK。それを考慮し地色のNo.128灰緑色にはクリアーを多めに入れ、地色の剥がれを防止しておく。





国籍マークの日の丸は退色をイメージしてNo.114RLM23レッドにNo.3レッドを微量加えて薄めに吹く。その他味方識別帯や胴体の白帯もエアブラシ。

機首上面とカウリング部の反射防止塗装はNo.116-RLM66ブラックグレーにNo.333エクストラダークシーグレーとブラックを若干加える。

全体塗装終了後、茶・グレー系のエナメルでスミ入れ。今回最後のクリアーコートは4分ツ

やに調整。

1/72でもそれなりのディテールアップ

機体上部のループアンテナは細い金属線でシャープに。ピトー管の先端は極細金属線に。主翼上面4箇所の機隊灯は、ウェーブの「H・アイズ3ミニ」を使って着色。

キャノピー上部をオープンにするため、キットのキャノピーをベースに、塩ビ板をヒートブ

レス。その後キャノピー上部を開口、塩ビ板をその部分の大きさにカットしオープン状態に。これはアクセントとなり効果大。

メーカーの皆様へ、ヘビーユーザーの声を

九七重爆、百式重爆、四式重爆、銀河の1/48が欲しい。1万円以下なら絶対購入！の声は以前から多いです。メーカーサイドの事情も承知の上で、ぜひご検討を。



日本機らしく幹の多い風防。操縦席の上部は塩ビ板をヒートプレスし開状態に。



本機独特のシマシマ迷彩。エア圧を下げノズルを機体へ1cmくらいに近づけて吹く。



尾部銃座のマスキングは細切り粘着カラーシートを枠の外側に沿って貼っていく。



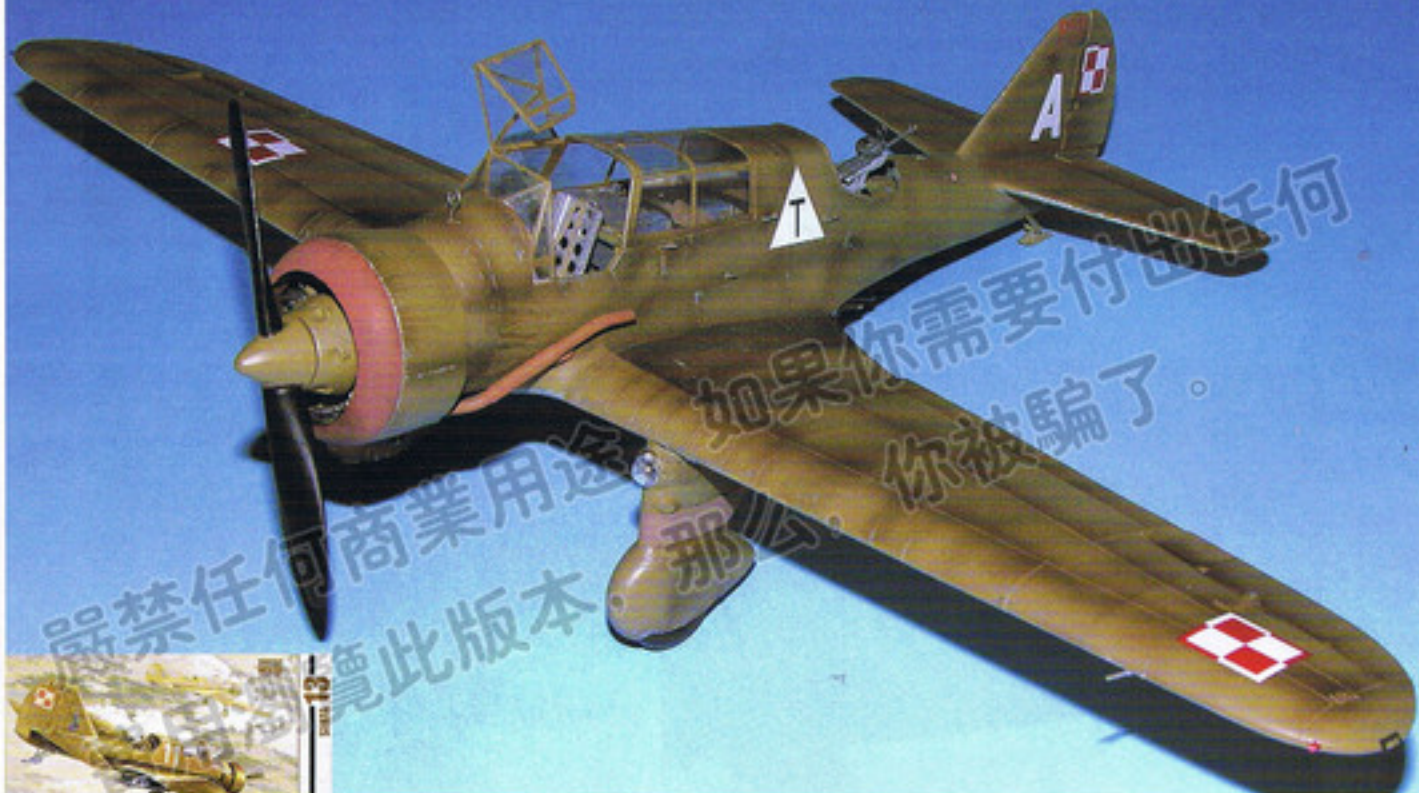
胴体背部および側面の銃座。背面銃座には20mm機関砲を装備する重武装だった。



■参考資料

- 『モデルアート増刊・日本陸軍機の塗装とマーキング/爆撃機編』(モデルアート社)
- 『銀翼のレクイエム「日本軍用機集」』(日本映画新社)
- 『WING MASTERS』No.31
- 『日本軍用機航空戦全史 第2巻 南方作戦の銀翼たち』秋本実(グリーンアロー出版)

前編のカラーページ



■ミラージュホビー1/48 PZL P.23Aカラス爆撃機 初期型
 ■製作・文：ブルジュミス・スクルスキ
 ■Mirage Hobby 1/48 PZL P.23A Karas
 ■Modeled & Text by Przemyslaw Skulski

ポーリッシュ・モデラーが作る自国空軍機!

POLISH LIGHT BOMBER PZL P.23A

ミラージュホビー1/48

PZL P.23Aカラス爆撃機 初期型

ポーランド国立航空廠(PZL)で開発、1935年に採用された軽爆撃機/偵察機P.23。失速防止の前縁スラットを備えた主翼を持ち、エンジンはシュコダ製のプリストル ベガス II M2(670ps)を搭載、最大速度は319km/h、爆弾搭載量は700kgと要求値以上の性能を発揮。最初の量産型A型と改良型のB型を含め約250機が生産される成功作となり、1939年9月のドイツ侵攻時最前線で闘っている。ポーランドのミラージュホビーがリリースしたキットを、ポーリッシュ・モデラーのスクルスキ氏が誇りを持って製作!

■実機について

PZL P.23 "カラス" (ポーランド語で魚の「フナ」のこと)は1930年代のポーランド機で最も一般的な軍用機で、軽爆撃機および偵察機として1939年9月のドイツのポーランド侵攻まで使用されています。PZL P.23は非常に興味深い機体構造を持ち、モデラーにとっても魅力的なテーマです。

PZL P.23A型はカラスの最初の量産型で、その後エンジンを強化するなど小改良が行われたB型にスイッチされました。1939年9月の時点では、ポーランド空軍のほとんどのP.23Aはさまざまな訓練部隊に配備されていましたが、そのうちのいくつかの部隊は実戦に参加しています。

■キットの製作

この1/48スケールのキットはポーランドの模型会社「ミラージュホビー」が最近リリースしたもので、PZL P.23A型(品番481303)をモデル化しています。

第一印象は悪くありません。パネルラインは凹モールドで、ディテールはシャープ、クリアパーツも透明度が高く、デカールもきれいに印刷されています。プラパーツに加えてエッチングやレジンパーツも用意されています。

機体主要部、すなわち胴体、主翼、尾翼などは正しく構成されていますが、マッシュルームから出版されている「PZL P.23 KARAS」に掲載されている図面や実機写真を見て確認したところ、主翼のパネルラインがやや間違ってい

るようです。パテを使って不要なパネルラインを埋めた後、不鮮明なラインも含めて改めて彫り直しています。この作業ではハセガワの「モデリングスクライバー けがき針」が非常に有効なツールです。なお胴体のスジ彫りは正確なのでこの作業は必要ありません。

工作は「朝めし前」というわけにはいかず、ディテールをいくつか修正しなければなりません。胴体は方向舵の厚みにあわせて薄く削ります。P.23Aは機首右側に機銃1挺のみ装備のため、エンジンカウリング(正確にはタウネンドリング)左側の機銃ポートはパテ埋めします。またいくつかの部分でやや難しい作業を強いられます。最大の難関は胴体下の爆撃手ゴンドラと主翼スラットです。

もちろんこのキットには、機体内部および兵



装ディテール(ヴィッカーズK機同銃など)、プリストル ベガスⅡ M2エンジン、きれいに成型されたキャンビーなど、欠点を補って余りある“強み”があります。やや時間と労力をかける必要はありますが、中級以上のモデラーなら製作可能なレベルだと思います。

■塗装

カラスの機体内部塗装にはさまざまな説があります。資料では内部色はポーリッシュカーキとされていますが、キットの説明書のようにライトブルーとする説もあります。実機写真を見ると後者が正しいように思えます。

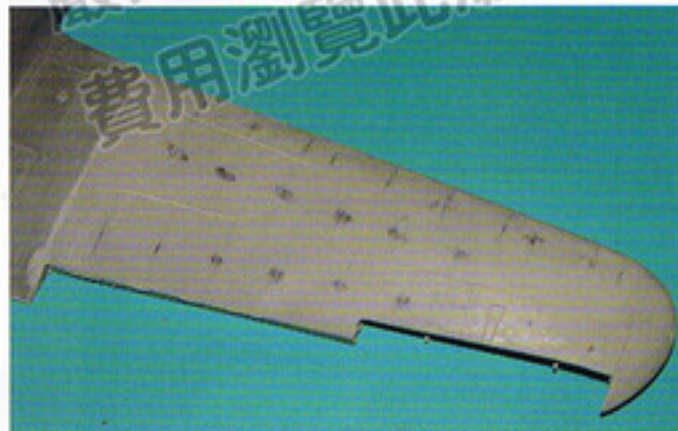
これに比べるとカラスの外装塗装は非常に明快です。マーキングは標準的なポーランド空軍機を選択し、上面はポーリッシュカーキ、下面はライトブルーで塗装。塗料はそれぞれバクトラのアクリル塗料A32およびA85です。表面はウェザリング効果としてチッピング、スミ入れ、影つけなどを行っています。

デカールはテクモッド製で質が良く、何の問題もなく貼ることができましたが、非常に薄いので取扱いは十分注意してください。今回のマーキングは1938年ヴァルソフの練習航空隊第1飛行連隊の機体としています。





▲胴体と主翼翼を取り付け。基本的な会合は良好だがパテが必要な箇所もある。



▲右主翼のパネルラインを修正。パテ埋めした後、ハセガワの付がき針で彫り直し。



▲胴体下部の砲撃手ゴンドラ。クリアパーツも含め工作は慎重に行うこと。



▲工作と塗装が完了した機体内部。カラスの複雑なコクピットは非常に魅力的。



▲ヴィッカーズK型旋回機銃。シャープなブルーパーツにエッチングの調子図が付く。



▼機体下部、砲撃手ゴンドラは別に塗装し、全体塗装の後に取り付ける。

POLISH LIGHT BOMBER **PZL P.23A** ミラージュホビー1/48 PZL P.23Aカラス爆撃機 初原型



上面はポリッシュカーキ、下面はライトブルー。コクピットはスポンジでマスキング。



▲今回の製作で使用したMushroom Model Publicationsの「PZL 23 Karas」。本機の唯一のモノグラフ本であり、英文解説、実機ディテール写真、カラープロファイルが満載。問い合わせ：西山洋書 03-3981-6301

■レベルモノグラム1/85 ノーチラス号
■製作・文：山口眞二郎
■Revel Model 1/85 Nautilus Submarine
■Model & Text by SHINJIRO HIGUCHI



Legend初のサブマリンです

おっとその前にかなりのごぶさたです。いつも行ってるモケイ店のお兄さんは「最近、Legendはどないなってるんですか？ 女でも出来たんですか？」とか、静岡のホビーショーで会った古い友人は「もうネタ切れかいな？」とか「誰も作らぬチンケなキットの完成品を、ワシは見たいんじゃ」とか、いろいろ言われて、おまけに編集部からは「意外にLegendは人気があるんですよ」とか（失礼しました……／編集部）。私って、自分が思ってる以上に世間の皆様の関心が高かったり

6ヶ月振りの登場でござす！

レベルモノグラム “海底2万マイル”ノーチラス号

41号の007オートジャイロ以来となる“The Legend”がついに復活！ 絶版キットを作り直すこのコーナー、今回は映画「海底2万マイル」に登場した潜水艦ノーチラス号。ディズニー版とは違うモダンなデザインを再現したレベルモノグラム製のこのキット、塗料が付いたり、艦内が再現されたり、ジオラマ背景が付いていたり夢のある内容。読者の皆様の期待と声援に応え、樋口のおっちゃんも熱く燃え上がる！

して、うれしい限りです。代官さま。

さて、ノーチラスなのです

オープン the ボックスとしゃれ込みますと、何とバカバカキットです。パーツは少なく、モールドはおおらかで、ランナーは太いです。J.ヴェルヌの人気小説「海底2万哩」（1870年発表）の1997年テレビ映画化に際しての模型化です。我が国のマルサン初のプラモデルは、私の記憶では、このノーチラス号ではなかったかと思いますが、間違っていたらゴメンナサイ。映画はディズニーが以前1度やっているはずですが、ストーリーそ

の殆どの興味のある方のみ原作をお読み下さい。ちなみに“ノーチラス”はラテン語で「オウム貝」の意味です。作った人は、もちろん小説の中での話なのですが、元インドの王子ネモ船長になっとります。

内部構成はどうなっているのか理解できませんし、動力源もイマイチ不明です。でも何となく本物のサブマリンっぽく見えてしまうのは、映画化に関わったスタッフのセンスでしょう。前面ビューはなかなかひょうきんで何となく魚の「ダツ」に似ております。ノーズの三角のシロモノは衝突時のショックアブソーバーだということです。

Vingt mille lieues sous les mers...





■でキットの方ですが

パーツ数はクリアーパーツを含め全23点しかござりませぬ。「オッ、これはラクチンパターンか?」と思ったりもしたのですが、このコーナーはLegendコーナーだということを、下を忘れたしてござりまして、組み始めると、何とどこもかしこも合いません。おまけにプラの材質が妙にネバっこく、ヤスリおよびサンドペーパーもあまり効きませぬ。私の全17作のLegend作品の中で悪い出しますと、グンゼレベル1/32のハリケーンの材質ととても良く似ております。

いろいろグチをたれていてもキットは完成するワケもないので、まずパーツを中性洗剤に漬け洗います。私は最近、中性洗剤に漬けた後入浴剤のバブを2コ入れ、CO²のシャワーにして洗っております。マイベットも少々混入します。読者の皆様、一度お試しを。

まず、ウィンドウ部をクリアーパーツでセットするわけですが、穴の一方は四角なのにパーツは丸なので、セット出来ませぬ。モノグラム様、大丈夫でしょうか? 先が思いやられます。ますます明日が不安になります。無理矢理セットしても、胴体パーツとの間にどえらいスキ間が生じます。スキ間をパーツの裏より瞬間接着剤で固めつつセットして行きます。

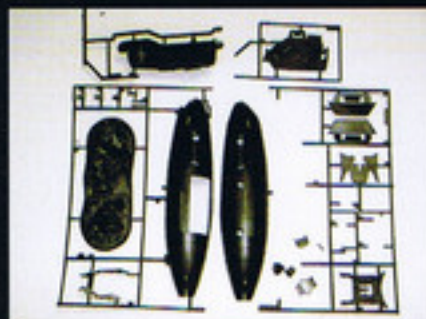
映画ではやたら部屋の中のシーンが出てきてサブマリンの中らしくないのですが、本キットはそれをも再現してあります。テーブルとイスのセット、本棚、オルガン、ORB POWER UNIT、島の置き物、テーブルクロス、ジュタンなど、いたれり尽くせりの内容となっております。私はこのキットを作っていて、このサブマリンに乗り、このテーブルで模型を作りたいと本気で思いました。今の世の中のオッチャンの99.99%が夢のない日常を送ってるわけですが、このキ

ットには夢が感じられます。“夢”とは私に言わせると楽しさ一杯の100%のフィクションです。

原作のノーチラス号についての記述なのですが、縦横比1:10で、最大胴体半径は8mとなっておりますのでありますが(これも私のアテにならない友人に聞いたので、間違っていたらゴメンナサイ)ちと本キットとはイメージが異なります。しかし、何となくハートウォーミングな形と感じるのは、私だけではないでしょう。モケイが本来持っている楽しさの原点のような気がします。上反角が若干不足しているのだ、機首のカーブが実際のイメージとそぐわないのだ、尾翼のパネルラインが違うのだ、そんなことはどうでもよくなりますよ、このノーチラス号を作っている時は。

■カラーリングとマーキングは

まったくの自由なので楽しい、楽しいです。ま



パーツです。全23点、ラクチンパターンと思いきや……。



全箇所、すき間だらけ。あわんぞっ!



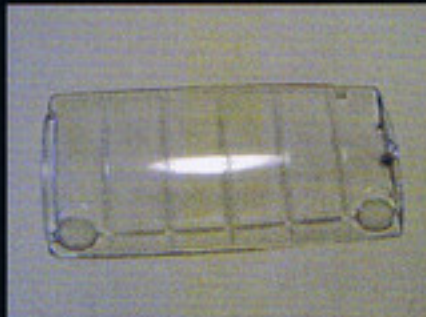
セットされている塗料と筆。
これだけで作れるものなら作ってみやがれ!



インテリア再現用などのシール。



オシャレなテーブルと椅子のセットなど、
良くできたインテリア。グッドです。



“カット内部見せませ”のクリアーパーツ。
作例では塗装しました。



ず、ねばりにねばり付くスチロールを番手を上げながらサンディングします。凸モールドなので、消してしまわぬよう注意して作業を続けます。上下で合ませめ故、上部でピッタリ面一にして、ズレ切った下面をヤスッて板紙を合わせます。

その後1200番のサフを吹き、4000番の布ペーパーで表面を整えて、やっと下地が完成します。その後シルバーを全面に吹き、ウェザリングとして黒鉄色、カウリング色、パーントアイアン、茶色などで味付けしてあげると完成です。

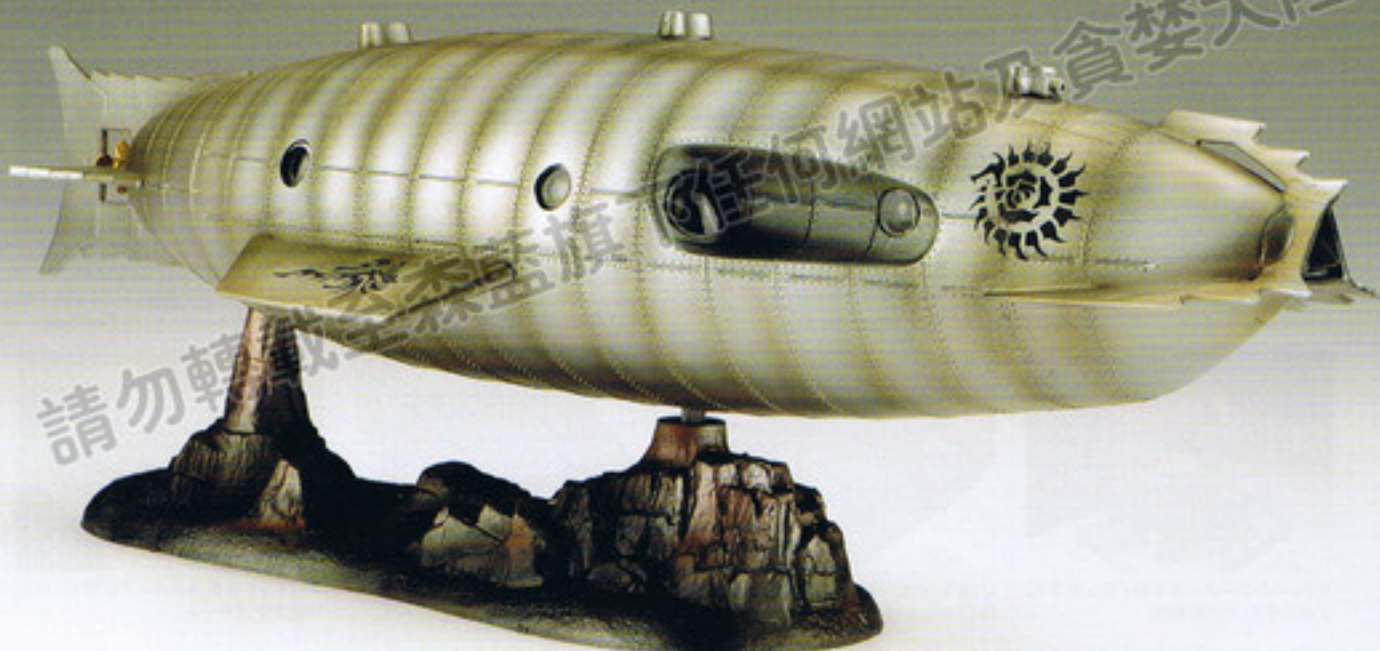
マーキングはノーチラスにちなみ、オウム貝をディフォルメした物に、安定板には何となくそれっぽいロゴをあしらってみました。それが割とオシャレに決まっております。コードNo.および製造コードはないと想像できるので、オミットしておきました。ガンダムシールのロゴを使おうかと思ったのですが、自分の感性に反するので却下いたしました。

本キットのボックスはジオラマ仕立てになっており、破線の白線通りに切り欠いていくと、

ジオラマベースになります。これはなかなかグッドアイデアで、1/32のF3Fでも使用されていた手法です。これは他のメーカー様も見習うべきだと思います。

不思議なフォルムで、オッチャンは久しぶりに御機嫌で、とても気に入っております。さて読者の皆様はいかがでございましょうか。

さて次回なのですが、決しておさぼりいたしませんので楽しみに。明日の心だ〜！ ということで、ではまた。



ラッキーベイフォート

モケイラッキー東神奈川店・ラッキーステーション・ラッキーサン・ラッキーMK-IVが合体したお店です。

スケールモデル(飛行機・戦車・船)に鉄道模型にフィギュア・キャラクターミニカー

TEL.045-252-2557

<http://www.mokey-lucky.com>
bayfort@mokey-lucky.com

〒231-0033 横浜市中区長者町9丁目175番地
第10吉田興産ビル4F

営業時間 平日 12:00~21:00 土日祝 10:00~20:00

駐車場あり



京浜東北線「長者町」駅より徒歩2分 JR「東神奈川」駅より徒歩12分
地下鉄「東神奈川」駅より徒歩5分 JR「磯子」駅より徒歩12分

完成品も充実!!てな訳で今回は21stトイズ!!!他アイテムもお気軽にお問い合わせ下さい

8/6(月)~8/19(日)の
14日間
飛行機用エッチング、
レジンパーツ
店頭価格より
10%OFF

※1 デカールは別売です。
※2 本キャンペーンは店舗のみの対応とさせていただきます。



国内、海外メーカープラ
レジンキット充実



エッチング、レジン、
デカールも常時入荷

第1回
ラッキーベイフォート
スケールモデルコンテスト
開催決定!
応募締め切り
8/26(日)
詳しくは当店スタッフまで。

注) 直輸入海外アイテムは入荷時期により価格が変動します。ご了承下さい。

通信販売大歓迎

この広告価格は全て税込みです

銀行振込みが出来る
ようになりました。

Eメールでも通信販売申し込みOK! bayfort@mokey-lucky.com FAXでもご注文できます。FAX 045-252-0404 までお願いします。
●必ず電話で在庫及び送料・手数料の確認をしてから申し込みください。●EメールやFAXで申し込みのお客様は郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号・商品名・数量を必ず明記の上、当店までお送り下さい。(FAXは24時間) ●商品によっては多少遅れる場合がございます。●お客様の都合による返品・交換の場合は送料はお客様の負担となります。
通信販売 振込先 口座 1.代金引換 2.現金書留 3.郵便振替 4.銀行振込
1.郵便振込 2.銀行振込 3.郵便振込 4.銀行振込
口座番号 00280-7-39082
口座名 株式会社モケイラッキー
口座名 株式会社モケイラッキー(振込用紙) 1130484
スビーダーズ 1.代金引換が 便利!



ベルリン戦1945

BERLIN 1945



BERLIN 1945

T-34/85 vs PANTHERTURN III

- ドラゴンモデル1/35 T-34/85 1944年型
- MIGプロダクション1/35
- パンター砲塔固定砲座・ベルリン戦ジオラマ
- 製作・文芸・パトリック・フランコ
- フィギュア製作：フェルナンド・サンズ
- Dragon Models 1/35 T-34/85 Mod.1944
- MIG Productions 1/35 Panther Pill Box Berlin Diorama
- Modeled & Text by Javier Franco
- Figures made by Fernando Sanz

ヨーロッパでの戦いの終焉となったベルリン戦。ソ連軍の先鋒となり、市街地に突入したソ連戦車部隊は予想もしなかった強敵に遭遇する。視界が開けた通りの一角に据え付けられたパンター戦車の砲塔から放たれた7.5cm弾に多くの僚友を失っていく。多大な犠牲を強いられながらもT-34/85「k235」は敵砲座の死角となる5時方向から攻撃を加え、ついにその砲座を沈黙させた……。スペイン人モデラー、J.フランコ氏はベッドスプリングアーマー装着のT-34/85とパンター砲塔砲座という組み合わせでベルリン戦の1シーンを再現した。

■はじめに

市街地のジオラマは私のお気に入りの一つです。車両と道路、建物そして街灯や道路標識

などとの組み合わせは実に魅力的といえます。

今回の作品は、知人が終戦記念60周年を記念した作品を企画しているという話を聞いたのが製作のきっかけです。ちょうど私はMIGプロ

ダクションの「Panther Pill Box (パンター砲塔固定砲座)」のベルリン戦ジオラマベース付き限定版「Berlin Diorama」を持っていたので、それを使用することを思いつきました。このパンター砲座と白い識別ラインを砲塔に描き、さらに対パンツァーファースト用にベッドスプリングを装着したT-34/85とを組み合わせることにしました。

■ベース

まず最初にベースの大きさを決めます。ベースは3cm厚のポリフォームをカットして作製。地面はMIGプロダクションの砲座パーツに入っているレジン製地面パーツをそのまま使用することとし、さらにそれにモールドの雰囲気などがよく似たバーリンデン製の路面ベースをアレンジして組み合わせています。街灯はスペインのメーカー、モデルメタル社のパーツを使用、木製の壁はバルサ材を切って作りました。





さて塗装ですが、まずタミヤアクリルのアースを全体に吹き付け、それからバフを加えた色をハイライト部に吹いています。舗装の敷石はハンプロールのグレー敷色を使ってドライブラシの要領で塗装。さらに、ヴァレホ・アクリルカラーの色調が異なったグレーやブラウン敷色を希釈し、敷石のモールドのひとつひとつをフィルタリングして色調に変化を付けていきました。その際、同じ色味が並ばないように気を付けて行っています。

その後、油彩やハンプロールのシンナーで薄めたMIGピグメントなどでウォッシング。さらにMIGピグメントを直接筆に取り、ドライブラッシングしていきました。

街灯はタミヤのバンツァーグレーにブラックを少量混ぜて全体を塗装。ヴァレホのブラックとレッドを混ぜた色で小さなチッピングを描き入れ、油彩のオーカー・トランスベアレントゴールドでウォッシングしています。

バンツァー砲塔は、通常の戦車型同様にタミヤのダークイエローを基本色として塗装。基本色にバフを加えハイライト部に塗りました。油彩のオーカーやダークカラーでウォッシングし、またサビ色を使って、表面の一部や被弾跡周囲にサビ垂れを表現。

被弾部の凹部はブラックのピグメントを使っています。さらに油彩のパーントアンバーやMIGプロダクションのピグメントを使用し、汚

しを施しました。

■T-34/85

T-34/85はドラゴンモデルの「T-34/85 Mod.1944」(新作の「w/BEDSPRING ARMOR」ではない)を使用。ベルリン戦で有名な対バンツァーファースト用ベッドスプリングを砲塔/車体側面に装着した車両に改造しました。

ドラゴンのキットは出来が良いので、基本的にはそのまま組んでいけば問題ありません。作例は、ロイヤルモデルのレジン製エンジンパーツ「T-34/85 Mod.1944 Part 2」を使用するために、エンジン室上面や車体後面の点検ハッチを開けた状態にしています。

ベルリン戦といえば、この変わったスタイルのT-34/85。ドイツ軍のバンツァーファーストの攻撃から砲塔/車体側面を守るためにベッドスプリング状のフレームを支持架に固定して装着。現地部隊による小銃改造車両だが、AFVファンの間では有名だ。



作例のT-34/85はドラゴンの通常型にアベールのエッチング製ヘッドスプリングを装着した。

履帯はフリウルモデルのメタル製造結式に交換している。



▼この兵士2体は、バーリンデンの「Red Army Officers 1944」。コートの兵士はヘッドを他パーツに交換している。



ロイヤルモデルのエンジンを組み立てる際は、ドラゴンの車体にフィットするようにパーツの合いを調整しましょう。

エンジンが組み上がった後車体パーツに接着する前にエンジンを塗装します。車体下部エンジン室内はツヤ消しブラックで塗装し、油彩のブラックとオキサイドでウォッシング。エンジン本体はメタリックグレイやマットアルミニウムで、エアフィルターはダークグレイで塗装しました。アクセントを出すためにブラックでウォッシング、スミ入れ、さらに油彩のオーカーやオキサイドでウォッシングしました。仕

上げにタミヤのメタリックグレイ・マーカーでドライブラシをして金属感を出しています。排気管はヴァレホのチョコレートブラウンで塗装、乾燥後、エナメルシンナーで湿らせたMIGピグメントのルスト(サビ色)を塗り付けました。

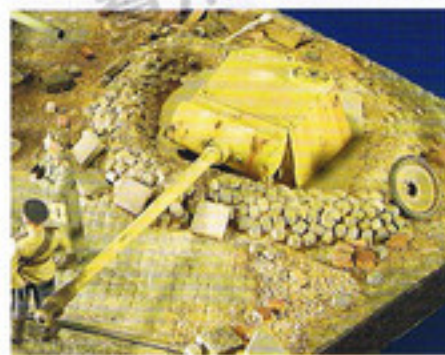
エンジンの塗装完了後にエンジンユニットを車体下部に組み込み、車体上下を接着。車体側面の外部燃料タンクは、ダメージ表現がリアルに再現されているMIGプロダクションのレジン製一体成形パーツ「CYLINDRIC Fuel drums for T34/85&76」(品番MP35-052)を使用。主砲砲身はジョルディ・ルビオのアルミ製に交

換しています。さらにエンジンリールや排気口内のスリット、工具止め、ライトガード、雪上走行用滑り止めのアイス・クリートなどの細部はアベールのエッチング製パーツでディテールアップ。またヘッドライトはNVプロダクツ社のクリアパーツを使用しました。

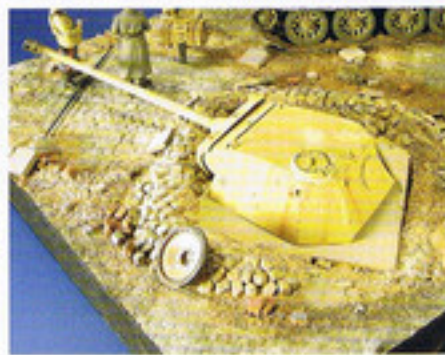
また、履帯はフリウルモデルのメタル製造結式可動式「T-34/85用」(品番ATL-09)に交換。砲塔と車体側面に付くヘッドスプリングアーマーはアベールの「Anti-Panzerfaust shields for T-34 & IS-2」(品番35A50)を使って再現していますが、砲塔・車体への装飾は塗装後に行っています。

車体の塗装は、ロシアングリーン単色の。砲塔には終戦期間に使用された白い識別帯が描かれています。まず、タミヤアクリルのXF-27グリーンブラックとXF-58オリーブグリーンを7:3で混ぜて作製した基本色を全体に塗装。その後、この基本色にオリーブグリーンを多めに加えて明度を上げた色を希釈し明るくしたい部分に塗り、さらにバフを加えた色をハイライト部に吹き付けていきました。

砲塔ナンバーはバーリンデンのドライデカーを使用。またナンバー横の文字「K」と白帯はツヤ消しホワイトで手描きしています。



▲パンター砲塔の固定砲座は、MIGプロダクション1/35の「Panther Pill Box Berlin Diorama」を使用。



▲このパンター砲座のキットには、非常に出来のよいジオラマ地図が付いているので、それとよく似たバーリンデンの路面パターンを組み合わせている。



基本色の塗装が終わったら、ウェザリングです。最初に油彩のローシェンナ、バートシェンナ、ブラック、イエローオーカーでフィルタリングを行っています。

フィルタリングの次はチッピング。ヴァレホモデルカラーのブラックとレッドを混ぜた色を細筆を使ってエッジ部分やハッチ、フェンダー、燃料タンクの窪んだ周囲などにチッピングを入れました。チッピング作業完了後に再度、油彩のイエローオーカー、イエローオーカーライト、アースグリーン、バートシェンナ、ホワイトでウォッシング。燃料タンクやエンジンデッキにはアスファルト(色)で油染みを表現しています。

ベッドスプリングはタミヤアクリルのブラウンで塗装し、その上にシンナーで希釈したMIGピグメントのスタンダードルストでウェザリング。車体の予備履帯や雪上用アイス・クリートにも同様にウェザリングを施しています。

ベッドスプリングを砲塔・車体に装着後、仕上げにピグメントのライトルストでサビ汚れを表現しました。

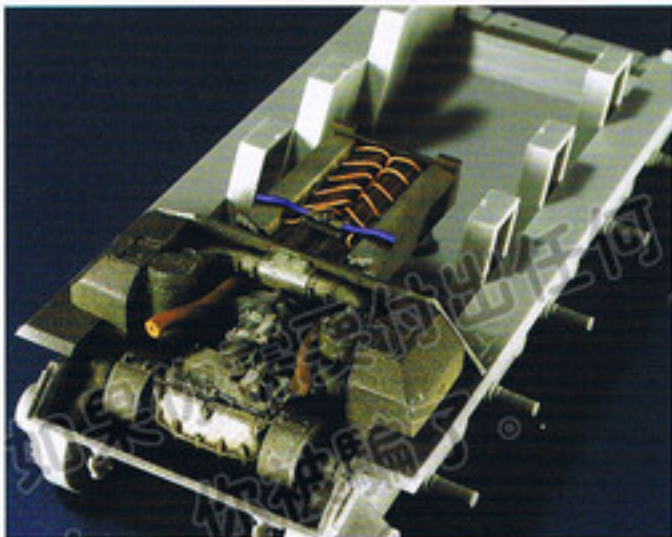
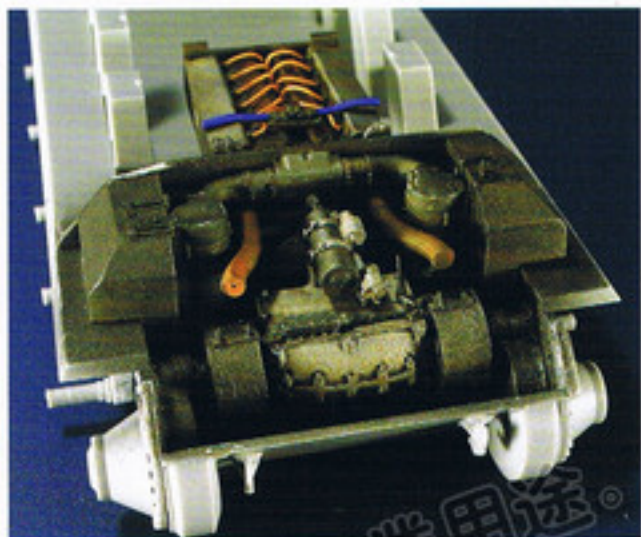
■フィギュア

ソ連兵はバーリンデンのレジン製フィギュアなどを使用。ヘッドやポージングを若干変更しています。塗装は、WWIIソ連軍の軍服、装備品の色に準じて自分なりに調色したカラーで塗りました。

フィギュアの塗装でもっとも重要なのは、肌の塗装です。顔と手はまずヴァレホカラーの876サンドブラウンで全体を塗り、ハイライト部は815ベシックスキントーンで、シャドウ部は814バートカドミウムレッドでリタッチしました。

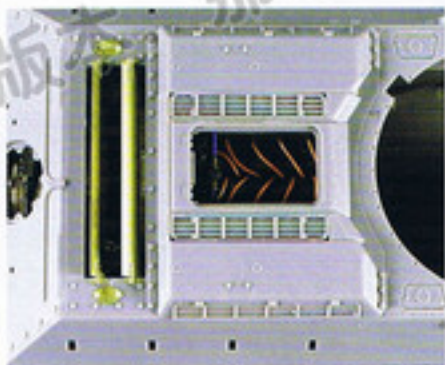
次に第1段階として876を4滴と水を4滴混ぜたもの、第2段階は876を3滴+815を1滴、

水を4滴混ぜ、第3段階は876を2滴+815を2滴+水6滴、第4段階は876を1滴+815を3滴+水6滴、第5段階は876を3滴+814を1滴+水6滴、そして最後の第6段階では876を1滴+814を1滴+水5または6滴混ぜた色を細筆に取り、肌の色調を調整していきました。この作業では、筆運びを慎重に、また色の層が厚くならないように注意しながら行うことが重要です。



▲エンジンおよび機械類はロイヤルモデルの
「T-34/85 Mod 1944 Part 2」のレジン製パーツを使用。

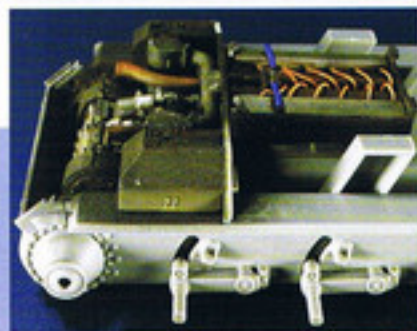
▲エンジンパーツをシャーシに取り付ける前にエンジンと
車体側のコンパートメント内部を塗装。



▲アベールのエッチングを使用してディテールアップ。



▲完成後にエンジン等が見えるようにエンジンデッキと
後面の点検ハッチは開けた状態に。





昨日の敵は今日の友 T-34/76 ドイツ軍捕獲仕様 Pz.Kpfw.747(r)

BEUTE T-34

2.SS Pz.Div. "Das Reich", Russia, summer 1943

本誌ユーロモデラーのコーナーでは、すっかりお馴染みとなったスペイン人モデラーのA.M.テロ氏もT-34を製作。今回は「ジャパニーズモデラーのM号戦車長砲身型 vs スパニッシュモデラーのT-34」と巻頭&巻末でライバル戦車対決となった。A.M.テロ氏の作品は相変わらず超絶テクニック炸裂! ペインティング、とくにフィルタリングやウェザリングは見事としか言いようがありません!!

01. 車体前面左側にドイツ軍用のメテックライトが追加されている。
02. 平坦な車体側面の塗装は単調になりがちだが、この作品はウェザリング、汚しが秀逸な仕上がり。
03. 砲塔上面のキューボラは使用不能になったII号またはIV号戦車から移設したもの。
04. 装填手ハッチは、左側を一部カットして開閉可能に。こうした処理はいかにドイツ人らしい。



01



02



03



04





05



06



07



05. 車体右側には大型鋸
具箱を追加。荷物が
いっぱい積み込めな
いドイツ乗員は困る
もんね。
06. オイル給油の跡がめ
ちゃくちゃリアル。
07. 左車体からの誤射/誤
爆を避けるため捕獲
戦車に対する識別旗は
必需品。

大戦中、ドイツ軍は多くの外国製車両を捕獲し、それらを有効に使用しています。それら捕獲車両の中でもっとも重宝されたのはソ連のT-34戦車でした。

T-34戦車を使用したドイツ軍部隊の一つにSS第2装甲師団「ダス・ライヒ」があります。同師団は1943年3月のハリコフでの戦闘において数十両ものT-34を捕獲します。ハリコフ郊外のトラクター工場も接収した同師団はそこで、ドイツ軍規格の無線機へ換装、ノックライトや雑具箱、キューボラ、サイドスカートを追加など、T-34を「ドイツ軍仕様」へ改修しました。これら改修車両は同師団装甲連隊内で編成された第3大隊の第9/第10中隊に配備されました。

1943年7月からのクルスク戦では27両のT-34改修型が戦闘に参加し善戦しています。「ダス・ライヒ」の戦車エース、エミール・ジーボルト大尉もT-34で活躍した一人です。T-34改修型は、戦闘で失われたり、予備部品を使い切るまで使用されました。

■T-34ドイツ軍仕様への改造

製作には、MIGプロダクションから発売されているレジン製改造パーツセット「German T-34-Pz.Kpf.Wg.747(f)-1」(品番MP35-136)とベースキットとして指定されているタミヤのT-34/76 1943年型を使用しました。

MIGプロダクションのキットには、キューボラ、砲塔上面、ドイツ仕様の雑具箱、後部燃料タンクなどの大きなパーツからノックライトやランプ、牽引ロープ固定具といった小パーツが

セットされています。いずれのパーツも高品質で、タミヤのキットにもピッタリとフィットしました。キューボラは内部のペリスコープや取り付け部なども再現されています。非常に小さく細いパーツがあるので、取り扱いには注意しましょう。

ベースとなるタミヤのT-34はかなり発売年が古い製品ですが、非常に良くできており、少し手を加えるだけで素晴らしいになります。

さて製作ですが、まずタミヤのキットのシャシー底面にあるモーターライズ対応の開口部と車体上部左右スポンソン裏側をプラバンで塞ぎます。タミヤの説明書に従って車体・砲塔を組み立ていくのと併行しMIGのパーツを組み込んでいきました。

機関室後部のグリルメッシュはアベールのエッチングパーツ「T-34 grille cover」(品番35G08)を使用。また砲身はジョルディ・ルビオのメタル製T-34/76用砲身(品番TG-07)、履帯はモデルカステンのプラ製履帯(品番SK34)に交換しています。排気管の開口部の周囲を薄く削り奥行きを深くし、さらに溶接跡も追加しました。

砲塔と排気管カバーの鋳造肌を再現するため流し込み接着剤を塗り付けて表現。また車体左右上端の溶接跡を追加しています。砲塔の手すりには真ちゅう線で作製、転輪のいくつかはタミヤのT-34/85のフラット・ゴムタイヤ付き転輪に交換しました。





01. 白っぽいパーツがMGプロダクションのレジンパーツ。
02. 操縦手ハッチの直下に銃弾板を追加。機銃は金属パイプで作製。
03. 砲塔の構造筋を線画を塗りつけて表現。
04. 砲塔側面の手すりも金属製で作製。アンテナ基部はタミヤのIV号戦車のパーツを使用。
05. エンジngrillのメッシュはアベールのエッチングで再現した。
06. 点検ハッチの取っ手を自作。排気管には溶接跡を追加している。

■塗装

基本色のダークイエローはタミヤアクリルのXF60ダークイエロー+XF57パフ+XF3イエローを混ぜて作製。エアブラシを使って全体をこの基本色で塗装した後、基本色にXF2ホワイトを少量加え、ハイライト部に吹き付けています。迷彩はXF58オリーブグリーンとXF64レッドブラウンにそれぞれXF59とXF3を加えた2色で行いました。

基本塗装が完了したら、次はマーキングです。砲塔側面の大きなバルケンクロイツはマスキングしてエアブラシを吹いて描いています。砲塔ナンバーはタミヤのドイツ戦車のデカールを流用。デカールを使用する際は、まず最初にデカール表面にタミヤのX22グロスパーニッシュ

を吹き付け、それから余白をカッターで切り取ります。模型に貼る際は、マイクロセットやマイクロソルを使って表裏に定着させ、デカールが乾いた後にGSIクレオスのアクリル・マッパニッシュでデカールとその周囲の色調を整えています。

さらに迷彩とマーキングをより違和感なく溶け込ませるためにXF60ダークイエロー+XF15マッパフレッシュを混ぜた色をエアブラシを使って全体にかなり薄めに吹きます。その後、ブラックとブラウンを混ぜ、かなり希釈した塗料をエアブラシでエッジや主なラインに沿って吹いて行きました。

次はハンプロールエナメルクリームやフレッシュを95%くらいまで希釈し、全体にフィルタリングを施します。その後、今度はヴァレホ

のアクリルカラーを水で薄めて、マッピング(色を点描)し、チョコレートブラウン、レッドハル、オレンジブラウン、イングリッシュユニフォーム、フレッシュ、ゴールドブラウン、カーキ……などのカラーを使用し、装甲板表面やハッチ、雑具箱……、場所によって色を使い分けています。

そしてチッピングとスクラッチ。まず浅い引っ掻き傷は基本色より明るめのカラーで、また深いキズや塗料剥がれ等はブラックとチャコールブラウンを混ぜた色を細筆で描いていきました。明るい色(浅い傷)の中にブラック+チャコールブラウンを付けるとより傷の深さを表現することができます。

また、作例の場合はグリーンカラーでもチッピングを行い、下地色のソ連軍カラーが露出した状態を表現、またドイツ軍オリジナルパーツ

であるキューボラにはレッドプライマーのチップングを入れ、III/V号戦車の旧パーツを流用している感じを演出してみました。

ドライブラシは効果が異なる2つの方法で行っています。まず、チョコレートブラウンとブラックを混ぜた色でエッジや表面のあちこちや外部燃料タンクの取り付け部などにドライブラシを施し金属感を出し、また、車体前面の操縦手ハッチ下方や砲塔上面など乗員が乗降する際に擦れるような箇所には、下地のソ連軍カラーが見えている感じを表現するためグリーンカラーでドライブラシしました。

油彩のレッドオキサイド、バートシェンナ、ローアンバーとハンプロールのエナメルシンナーを使って、模型の水平面に汚れ、自然なサビ汚れなどを表現。これら油彩は油分を少なくするために吸収性の紙に15〜30分くらい置いた後に使っています。

ディテールにハイライトやポリウムを付けるため、タミヤエナメルのブラックをハンプロールのシンナーで希釈してディテールや突起物の周囲をウォッシング、ハンプロールエナメルのクリームでドライブラシしました。

ここで塗装は一時休止して対空識別用の旗を作製しました。味方地上攻撃機からの誤爆を防ぐためのものですが、とくに捕獲戦車には必要でした。砲塔上面に大きくバルケンクロイツやスワスティカを描いた車両を良く目にしますが、作例の車両はキューボラが付いているため、平坦な後部燃料タンクに付けています。

旗は薄いシートの表面にエポキシパテを塗り、スプレー缶をローラー代わりにしてシート上にパテを薄く均一に伸ばしていきます。シートとスプレー缶に化粧用パウダーを振りかけてパテの付着を防止。半乾きのパテをカッターで任意のサイズにカット、それを燃料タンクに押し付けて形を整え、糸で絞り付けました。

対空識別旗の作製方法

- ① A+B混合タイプのエポキシパテを使用。シートの表面にエポキシパテを塗る。
- ② スプレー缶をローラー代わりにしてシート上にパテを薄く均一に伸ばしていく。シートとスプレー缶に化粧用パウダーを振りかけてパテの付着を防止。
- ③ 半乾き状態のパテをカッターで任意のサイズにカット。
- ④ 燃料タンクに押し付けて形を整える。先の丸い棒で押し付けると形付けしやすい。
- ⑤ 糸を絞り付けて完了。完全に乾いた後に塗装する。



BEUTE T-34
2.SS Pz.Div. "Das Reich",
Russja, summer 1943

旗はヴァレホアクリル塗料で塗装。最初にホワイトを吹き付け、マスキングした後、ブラックを吹いてスワスティカを描き、さらに円状にマスキングシールドを塗布。その後、ドライブラシ、ウェザリングを施しています。

次は泥汚れ。夏のロシア平原で使用された感じを表現しました。MIGビグメントのヨーロッパダスト、ブリックダスト、ビーチサンド、ライトダストなどをハンプロールのマットバーニッシュで溶いたり、ハンプロールシンナーで固めたり、時にはピンから直接取って車体下部に付けていきました。筆は使い古したものを使用し、泥付けは単調にならないようにポリウムを変えたり、乾き方に変化を付けています。

転輪も車体同様にウェザリングなどを行った後に泥汚れを付けていきますが、汚れ方がすべて同じにならないように心掛けています。いくつかの転輪は、「泥まみれで激しい汚れ」とするためにマットバーニッシュにビグメントを混ぜさらにポリウムを付けたり、他の転輪は乾いたビグメントを直接付着させ「乾いた泥」や「こびり付いた砂」を表現しました。

転輪ホイールハブのグリース汚れはハンプロー

ルのエナメル・グロスバーニッシュと油彩のブラックを混ぜ、エナメルシンナーで希釈して再現。

履帯はまずタミヤアクリルのXF1フラットブラックで塗装。そしてビグメントのヨーロッパダストとスタンダードダストを水で希釈し、全体をウォッシング。乾いた後、今度は違った色のビグメントでウォッシングしました。履帯内側に転輪ゴムと擦れた跡をビグメントのブラックスモークを使って表現。さらにセンターガイドなど転輪と擦れる部分にエナメルのブラックとシルバーを混ぜた色でドライブラシを、さらに鉛筆の黒鉛を履帯表面のモールドやエッジに擦り付けて金属の質感を出しています。

転輪、履帯を車体に装着後、車体下部の乾いた泥を再現するためにマットバーニッシュとビグメントを混ぜ塗布。また車体後部には履帯が跳ね上げた泥や砂汚れは、刷毛を使ってビグメントを付着させて表現しました。

さらにリアルに見えるように仕上げを行います。ハンプロールエナメルのグロスバーニッシュとビチューメンオイルを混ぜた色を希釈しオイル染みを再現したり、テンソクロムのバートブラウンで縦方向の汚れを表現しました。



テロ氏のHow To Painting!



01 タミヤアクリルのXF60ダークイエロー+XF57バフ+XF3イエローを混ぜた基本色を塗布。



02 XF58オリーブグリーンとXF64レッドブラウンにそれぞれXF60とXF3を加えた2色で塗り分ける。



03 バルケンクロイツは手書き、砲塔No.はデカール。マイクロセットやマイクロソルで定着させた後、アクリルマットスーニッシュを塗布。



04 迷彩とマーキングを消すためにXF60ダークイエロー+XF15マッドフレッシュの混色を薄く吹く。



05 ブラック+ブラウンの混色をかなり希釈しエアブラシでエッジや主なラインに沿って吹いていく。



06 ハンプロールのクリームやフレッシュでフィルタリングした後、ヴァレホアクリルカラー各色を水で薄めて、色を乗せていく。



07 基本色より明るめのカラーで浅い引っ掻き傷(スクラッチ)を入れていく。



08 塗料が剥がれた深いキズ等(チッピング)はブラック+チャコールブラウンの混色で表現。



09 チョコレートブラウン+ブラックの混色でエッジや表面の一部にドライブラシを施し金属感を出す。



10 乗員が乗降して擦れる箇所は、グリーンカラーでドライブラシし下地のソ連軍カラーが見えている感じを出す。



11 卑劣性の面では油分を少なくした油彩をハンプロールのシンナーを使って、水平面の汚れやサビ汚れなどを表現。



12 レッドオキサイド、パントシェンナ、ローアンバーなどの油彩を使用しウェザリングを施した状態。



13 タミヤエナメルブラックをシンナーで希釈しディテールや突起物の周囲をウォッシング。



14 ハンプロールエナメルクリームを使ってドライブラシを施す。



15 旗はヴァレホアクリル塗料で塗装した後、ドライブラシ、ウェザリングを施した。



16 ビグメントをマットバーニッシュで溶いたり、シンナーで固めたり、さらにピンから直接取って車体下部に付着。



17 転輪も車体同様にフィルタリング、ウェザリングなどを行っておく。



18 激しい泥汚れを再現するためにマットバーニッシュにビグメントを混ぜよりボリュームを付ける。



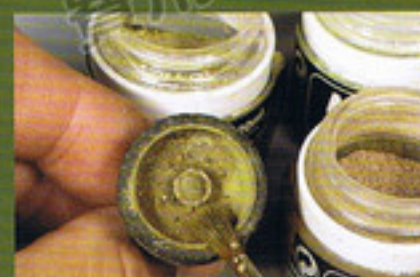
19 軽い泥汚れは乾いたビグメントを直接付着させて表現し。



20 "乾いた泥"や"こびり付いた砂"を表現する際は、まずビグメントをたっぷり増量させる。



21 ビグメントにシンナーをたっぷり染み込ませていく。



22 ビグメントが乾いて固まったら、再び細筆を使ってビグメントを付けてリタッチする。



23 履帯はタミヤアクリルのフラットブラックで塗装した後、ビグメントのヨーロッパダスト+スタンダードダストを水で希釈しウォッシング。



24 転輪ゴムが擦れた跡をビグメントのブラックスモークで表現。さらに転輪と擦れる部分にエナメルブラック+シルバーでドライブラシ。



25 鉛筆の黒鉛を履帯表面やエッジに擦り付けて金属の質感を出す。



26 エナメルハブのグリス汚れはエナメルグロスバーニッシュと油彩のブラックを混ぜ、シンナーで希釈して再現。



27 車体下部の乾いた泥を再現するためにマットバーニッシュとビグメントを混ぜ塗布。



28 履帯によって跳ね上げられた泥や砂は、刷毛を使ってビグメントを付着させていく。



29 ハンブロールエナメルグロスバーニッシュ+ピチューメンオイルの混色を希釈してオイル染みを再現。



30 テンソクロムのバートブラウンを使って縦方向の汚れ量れも表現していく。

SWIATOWID MODELING MEETING 2007

ヨーロッパ各国のモデラーが集うポーランドの模型イベント

前号に続きポーランドのヴロツワフ市で開催された「SWIATOWID MODELING MEETING 2007」をレポート。今回はAFV作品をメインにフィギュア、艦船部門の優秀作品を紹介しよう。

■2007年5月19～20日開催
ポーランド/ヴロツワフ
■リポート・写真：ブルジェミスラウ・スクルスキ
■Photos & Text by Przemysław Skulski

Part 2
AFV作品編

Ⅲ号戦車J型 1/16

Jacek Szafranski 氏製作

このⅢ号戦車は1/16スケール、今回AFV展示作品の中ではもっとも大きな完成品である。珍しい塗装は、ポーランドが捕獲し、使用した車両を再現。



SPA CL39トラック 1/72

Marek Zietek 氏製作

WWIIイタリア軍が多用した軍用トラックのレジン製キットを制作。1/72 AFV部門の最優秀作品で、キャビン内部やブレイク機銃など細部はかなりの手が加えられている。





ISU-152 1/72

Marek Zietek 氏製作

1/72という小スケールながら、丁寧に仕上げられており、この作品も泥・砂汚れの表現が秀逸。



Ⅲ号戦車L型 1/72

Mateusz Mathea 氏製作

1/72という小スケールを感じさせないほど塗装の仕上がりが良い。



RSO トラクター& PaK40 1/72

Marek Zietek 氏製作

東部戦線のRSOと7.5cm PaK40を再現したミニセット。東欧モデラーの間では1/72 AFVキットの人気は1/35並みに高く、1/72であってもディテールアップは常識となっている。



Sd.Kfz.234/ 4 1/35

Michal Tofil 氏製作

イタリアのSd.Kfz.234/4をディテールアップ。戦闘室のみならず、操縦室や機具箱の中も丁寧に作り込んでいる。



M4A1シャーマン 1/35

Krzysztof Wisniewski 氏製作

この作品は、ポーランド第2軍団所属の車両
"ACROMA"を再現。米英軍仕様でないところ
は東欧モデラーならではの。

SWIATOWID
MODELING
MEETING 2007
Part 1
AFV作品

U.S.S.アーケイブ 1/350

Rafal Handerek 氏製作

1/350スケールの大型作品らしく、細部まで
手が加えられている。波の表現もなかなか。



PS-289W
プロコンBOY
WA 0.3mm
プラチナver.2
木製収納ケース入り
¥17,000/
¥17,850(税込)

セット内容: ■プロコンBOY WA 0.3mm
■プラチナver.2 ■ドレン&ダストキャッチャー
■エアホース ■木製ケース



プロコンBOYシリーズ中の最高峰



プロコンBOYシリーズ中の最高級仕様型プラチナver.2を木製ケースに収納してお届けします。エアブラシ本体に加え、ドレン&ダストキャッチャー、エアホースも付属した、豪華な内容となっています。ケースには、椅子などの家具に用いられる「ビーチ材」を使用。高級感漂う仕上がりとなっています。

AFV CLUB
FVクラブ

FV35117
1/35スケール
Sd.Kfz.251/17
コマンドバージョン
¥3,600/
¥3,780(税込)



LIGHT TANK M5 LIGHT TANK
EARLY PRODUCTION



FV35105
1/35スケール
M5A1 軽戦車
¥3,600/
¥3,780(税込)

FV35S41
1/35スケール
ドイツ陸軍
M41G 軽戦車
¥3,600/
¥3,780(税込)



IDF CENTURION
SHOT MK.5 1960
SHOT MK.5.T 1967



FV35159
1/35スケール
イスラエル陸軍
センチリオン
Mk.5
<6日戦争
バージョン>
¥3,800/
¥3,990(税込)

FV35S40
1/35スケール
シュツルム
タイガー
インテリア内部
パーツセット
¥5,200/
¥5,460(税込)



FV35130 1/35スケール M1130 ストライカーコマンドビークル
¥3,800/¥3,990(税込)

最新情報はこちらで

<http://www.mr-hobby.com/>



詳細に再現されたエンジン、キャノピー開閉機構、エッチングパーツ、カルトグラフィックデカール。他。

5512 メッサーシュミット Me262 B-1a w/エンジン ¥3,675 (本体価格¥1,300)



NAS EPU トラクター、ユーティリティカート、給油/回収カート付。
 ノーズ新金型。ミニディオラマベース付。カルトグラフィックデカール。他多数。

4604 F-5E タイガーII & F-5F タイガーII (2機セット) ¥1,145 (本体価格¥1,000)



テレスコープ付クレーン、リカバリーウィンチ新金型。
 Ds素材キャタピラ、エッチングパーツ、カルトグラフィックデカール

7319 AAV7A-1 水陸両用装甲車 (回収型) ¥1,575 (本体価格¥1,500)



塗装済み完成品。ウェザリング塗装済み。プラ製展示ケース入。

60214 T-34/76 Mod.1942 戦車
 レニングラード戦線1943 ¥2,079 (本体価格¥1,800)



塗装済み完成品。ウェザリング塗装済み。プラ製展示ケース入。

60325 ドイツ超重量戦車 マウス
 クマースドルフ“走行実験” ¥3,570 (本体価格¥3,400)



5513 ユンカース Ju88A-6 w/バルーンカッター ¥4,358 (本体価格¥4,100)



ALQ-99、ALQ-218(V)2 新金型。キャリアデッキ、牽引車、デッキクルー付。
 エッチングパーツ、カルトグラフィックデカール。その他多数。

4598 EA-18G グローラー w/キャリアデッキ ¥1,575 (本体価格¥1,500)

●価格は、標準小売価格です。
 ●ドラゴンの製品は、輸入品のため発売時期が変更となる場合がございます。

(輸入販売元) 株式会社ハセガワ 〒425-8711 静岡県 焼津市 八幡 3-1-2 TEL(054) 628-8241 FAX(054) 627-8046

